

2024年7月26日

藤沢市教育委員会教育長

藤沢市教科用図書採択審議委員会
委員長 亀山 憲生

令和7年度使用藤沢市教科用図書に関する審議結果について（答申）

藤沢市教科用図書採択審議委員会（以下審議委員会という）では、令和7年度使用中学校用教科用図書、令和7年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書について、教育委員会の諮問に基づき、審議方針を定め、その方針の「基本的な考え方」にそって、3回にわたり審議してきました。

その結果を以下のとおり答申いたします。

1 令和7年度使用中学校用教科用図書についての審議結果について

別表のとおり

2 令和7年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書についての審議結果について

このことについては、「子どもの実態や発達段階に応じて幅広く一般図書の採択が可能となるように、昨年度まで採択されている一般図書は発行者による供給が困難となった図書を除いて、引き続き使用できること」「今回審議を行った教科用図書として使用したいと考えている新規図書や複数種目で希望がある一般図書はいずれも適切であること」と、考える。

なお、参考資料として、審議方針と第1回、第2回、第3回審議委員会の会議録及び中学校用（令和7・8・9・10年度用）『調査資料』を添付いたします。

別表

第2回令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会

議案第1号

令和7年度使用中学校用教科用図書について

審議のまとめ

令和6年7月

藤沢市教科用図書採択審議委員会

第2回令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会
議案第1号「令和7年度使用中学校用教科用図書について」
観点別審議のまとめ

◇国語

発行者	観点① 編修の趣旨と工夫、学習指導要領との関連、内容・構成、「国語」に係る観点
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 「話す・聞く」「書く」「読む」ことの3領域において、学習の見通しと振り返りの過程を重視し、生徒の目線でその観点を示している。扉部分の「未来への扉」では、社会や自分の課題に向き合うことを学習のゴールとして意識させ、言葉の力で自分や社会の未来を開く、生徒の主体的な学びを実現するための仕組みがある。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> 各教材の冒頭に示した学習目標によって見通しをもち、最後に振り返ることによって次の学びへの意欲が得られるように構成されている。「読むこと」の教材に設けられた「学びの道しるべ」では、学習のプロセスが簡潔に提示され、生徒の主体的な学びを促す構成になっている。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> 小・中・高の学びの連続性を意識した教材が配置され、読み取りから考えの形成への流れを示した手引きが単元ごとに設定されている。生徒が学習の目標を明確にもって教材の読みを深め、最後に学びを振り返り、主体的に学ぶことができる構成になっている。また、教材の末尾に学びを生かす項目が設けられ、教科横断的に国語の学びを生活に生かす工夫がある。
光村図書	<ul style="list-style-type: none"> 全領域において、単元の学習の見通しから振り返りまでの流れと、学習のポイントを「学びのカギ」に明確に示し、主体的・対話的で深い学びを実現する紙面構成となっている。資料編「学びのカギ」一覧やデジタル資料「学びの地図」では、各領域の3年間で身に付けたい力の系統を把握することもできる。また、主体的に学習に取り組む態度の育成を重視し、各単元の「振り返り」では、自分の言葉で学びを価値づける場を設ける工夫が見られる。
共通	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に則り、言葉による見方・考え方を重視し、主体的・対話的で深い学びとなる学習を進められるよう工夫がされている。
発行者	観点② 分量・装丁・表記等
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> 巻末の100ページに及ぶ資料編が、読書、社会生活、参考資料の3点に分けて掲載され、幅広い国語に関する知識を身に付けられると考える。また、挿絵や写真が程よいサイズと配色で大変見やすく、生徒が視覚的に資料の内容を理解しやすいと思う。 後半の資料編には、著作権の引用や話し合いの形式を選ぶなど、将来にもつながることが掲載されていたり、「辞典を活用する」や「手紙・はがき・メールの書き方」なども掲載されていたり、本文以外にも、しっかり学べると思う。
光村図書	<ul style="list-style-type: none"> 図表はあまり彩色・色合いに頼ることなく、優しい色合いや濃淡、形や線の種類で識別しやすく工夫されており、色覚特性への配慮がある。また、巻末の資料編には、古典や日本文学等が分かりやすい図版の資料とともに掲載され、生徒の豊かな言語感覚を養い、表現力を高めるための優れた作品に3年間で多く触れることができると考える。 巻末資料に綴じこまれた「語彙ブック」を活用し、各学年の「語彙を豊かに」の教材において、3年間で系統的に言語感覚を高め、語彙を増やすことができる。さらに、各学年それぞれ2か所、各3ページにわたって「読書案内」が掲載され、多種多様な作品に触れることで読書への関心を広げ、生涯にわたる読書生活の基盤となるのではないかとと思う。
発行者	観点③ 本市の生徒の実態や地域等の特性との関連
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> グループディスカッションやプレゼンテーション、相手を意識して書く手紙・メールや投稿文などの言語活動が充実しており、本市の生徒が社会で生きる力を育むことができると思う。
光村図書	<ul style="list-style-type: none"> SDGsと関連した教材において得た知識を活用し、情報活用能力を高める「情報整理のレッスン」を特設している。さらに、「話す・聞く」の領域に「合意形成に向けて話し合おう」、「書く」の領域に「多角的に分析して批評文を書く」などの言語活動が設定されており、他者と協働して課題解決に向かうための思考力や判断力を高める工夫があると感じる。

第2回令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会
議案第1号「令和7年度使用中学校用教科用図書について」
観点別審議のまとめ

◇書写

発行者	観点① 編修の趣旨と工夫、学習指導要領との関連、内容・構成、「書写」に係る観点
東京書籍	・ 生徒目線で手書きの文字の意義を感じられるよう、「文字を「書く」ってなんだろう」のページを巻頭に設け、生徒の文字を書くことへの意欲を高める工夫が感じられる。
三省堂	・ 資料編に「日常の書式」として職場体験を題材に設定するなどしている。また、「書写の広場」では、文字の歴史や文化に触れ、手書きの味わいが感じられるように工夫されている。
光村図書	・ 行書学習の初めに苦手意識を持たせないようキャラクターを活用し、「行書スイッチ」のページをイラストと動画で示し、書体の特徴を確認しながら、生徒が分かりやすく書字練習に取り組めるよう工夫している。また、「日常に役立つ書式」では、学校生活や日常生活を多く題材に取り入れることで、総合的な学習の時間等の教科横断的な学びを実現する可能性も高く、より生徒が主体的に取り組み、学びを深める工夫がある。
共通	・ 学習指導要領との関連において、書写での毛筆学習を日常の硬筆へと生かし、文字を書く力が身に付くよう工夫された編修内容となっている。
発行者	観点② 分量・装丁・表記等
東京書籍	・ 文字を書くときの姿勢と構え方から入り、字形の整え方、筆使い、文字の大きさと配列などが分かりやすく説明されており、大変よかったと思う。日常の書式として、はがきや封筒の書き方、送付状、のし袋、願書、原稿用紙の書き方の説明もあり、日常の学習や生活に役立てる態度を育てるための工夫と配慮がされている。
三省堂	・ 文字を書くときの姿勢と構え方から入り、字形の整え方、筆使い、文字の大きさと配列などが分かりやすく説明されており、大変よかったと思う。日常の書式として、はがきや封筒の書き方、送付状、のし袋、願書、原稿用紙の書き方の説明もあり、日常の学習や生活に役立てる態度を育てるための工夫と配慮がされている。
教育出版	・ ポスターづくりや文字の歴史、フォントや手書きのよさに触れるなど、スマホやタブレットの普及により文字を書くことが少なくなった今の生徒たちには、大切な内容が詰まっている。 ・ 正方形に近いAB版サイズで、生徒が机の上で開きやすく、毛筆のお手本として、半紙に対する文字の大きさや太さをイメージしやすくなっている。また、硬筆の書字の際にも書き込みやすくなるという工夫を感じる。
光村図書	・ ポスターづくりやマップづくり、文字の歴史やフォント、手書きのよさに漫画で触れるなど、スマホやタブレットの普及により文字を書くことが少なくなった今の生徒たちには、大切な内容が詰まっている。 ・ 別冊の「書写ブック」が綴じこまれており、生徒が教科書で文字の書き方を確認しながら硬筆の練習ができる。
発行者	観点③ 本市の生徒の実態や地域等の特性との関連
光村図書	・ 各動画に解説のアナウンスがあり、さらに、上部だけでなく斜め左の角度からの動画により、筆圧の強弱、運筆の微細が見て取れるようになっている。デジタル参考資料も豊富で、手書きとデジタル機器のそれぞれのよさや字を書く楽しさが感じられる。
共通	・ 紙面に二次元コードが掲載されており、毛筆の課題1つにつき1分程度の動画で生徒を視覚的に支援する工夫があり、1人1台端末を活用した個別最適な学びの実現を可能としている。

第2回令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会
議案第1号「令和7年度使用中学校用教科用図書について」
観点別審議のまとめ

◇社会(地理的分野)

発行者	観点① 編修の趣旨と工夫、学習指導要領との関連、内容・構成、「社会(地理的分野)」に係る観点
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 「みんなでチャレンジ」のコーナーで、まず自分の考えをもつ所から始め、その後発展的に小グループで話し合う活動を促しており、対話的な活動を通じて他者の考えを知り、多面的・多角的な考察ができるよう配慮されている。 冒頭の見開きに、世界の国々の食べ物がカラー写真で紹介されており、身近な食べ物と外国との繋がりを生徒に意識付けさせ、楽しみながら学ぶきっかけとなると思う。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> カリキュラムマネジメントが意識されており、小学校との学習の繋がりや、社会科の他の分野、歴史や公民との関連がわかりやすく記載されていて、多面的に見たり考えたりすることができる構成になっている。
帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ○節の問いが各ページに必ず記され、常に学習の目標を意識することができるようになっている。同様に末尾に学習のまとめとして「○節の問い」があり、章の学習を一貫して学びを深め、多面的・多角的に考察し、表現する工夫がある。 「未来に向けて」のコーナーでは、様々な現代的な課題を未来志向で考える工夫がされており、生徒が社会科を学ぶ意義を捉えることができる。 二次元コードを読み取ることにより、学習内容とリンクした「見通しスライド」、「図解アニメーション」や「学習を振り返ろう」「アクティブ地理」などのワークシートを活用することができ、学習の定着を図ることや学びを深めることに繋がる。
日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> 各節の末に「まとめとふり返し」があり、フィッシュボーンや座標軸などの様々なシンキングツール、いわゆる思考を深めるツールを使って、学習内容について生徒が多面的・多角的に考察する工夫がなされている。
発行者	観点② 分量・装丁・表記等
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> 配色は淡い色を多く使っていて目に優しいと感じる一方、全体的に文字数が多い。
帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭の「教科書を活用した学び方」は、わかりやすく項立てしている他、マークや絵を用いた枠の中に説明文が書いてあり、マークや絵を手がかりに、生徒がどのように学びをすすめる、どのような視点で考察すればよいのかがわかりやすく示されている。
発行者	観点③ 本市の生徒の実態や地域等の特性との関連
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードについて、単元の学習の予習に使える「導入クリップ」、学習を振り返る「チェック&トライ」、映像資料「D-MOVE」「なるほど！スキル・アップ」など充実している。教科書の見開き2ページを1時間の授業で使うとすると、毎時間二次元コードを使用することができる。
帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> 単元の学習の冒頭で利用できる「見通しスライド」や単元等の終わりで利用できる「ワークシート」などが用意されており、効果的に二次元コードを利用する場面を絞っている。 自分たちが行ったことのない世界各地についてを学ぶことが多い地理の授業においては、これまでも写真や動画を授業の中で教員がスクリーンに見せるなどしていたが、生徒が1人1台端末を授業に利用している今日、非常に有効であると思う。
共通	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードについて、本市では、1人1台端末を使うようになっているため、二次元コードからコンテンツにつながるということは、非常に有用ではないかと思う。

第2回令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会
議案第1号「令和7年度使用中学校用教科用図書について」
観点別審議のまとめ

◇社会(歴史的分野)

発行者	観点① 編修の趣旨と工夫、学習指導要領との関連、内容・構成、「社会(歴史的分野)」に係る観点
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> • 全ての見開きページの右側に年表が配置されており、現在、どの時代を学習しているのかが認識しやすくなっている。 • 導入部に小学校で学んだ内容を用語や写真で振り返るページを設けており、小中の学習の結びつきを意識していると感じる。 • 単元のまとめにおいて、くらげチャートやくま手チャートなどの思考ツールを使い、歴史的な事象を比較したり、相互の関連性を持たせて考えさせたりすることで、より深く多面的な視点で理解を促す工夫があると思う。 • 「みんなでチャレンジ」は、話し合い活動を促し、多様な意見に触れながら歴史的な事象を考察できるように組み立てられていると思う。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> • 巻頭に「歴史ゲームで遊ぼう」のコーナーが設けられ、小学校で学んだことを楽しみながら思い出し、興味を持って中学校の歴史学習に取り組めるよう工夫されていると思う。 • 見開き2ページの見出しが学習内容を端的に象徴する表現になっているため、歴史的な事象を生徒たちの目線で印象づけることができると感じた。
帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> • 章の導入に「タイムトラベル」を設け、その時代の特色を象徴したイラストを使って、導入学習として生徒の興味・関心を引き出しやすい。また、視覚的に時代をイメージしやすく、歴史的な見方・考え方を働かせる活動を通じて生徒同士の対話が生まれ、もっと探究したいというような気持ちを芽生えさせ、主体的に学びに向かう力の育成につながることを期待できる。 • 章末の「タイムトラベルを活用して振り返ろう」では、その章全体を通じて様々な発見を促して、歴史的な事象を多面的に捉える活動につながると思う。 • 「タイムトラベル」が印象に残った。各時代の特徴をイラストの中から探す質問があったり、グループの中で対話ができるテーマがあったりと、イラストを使って主体的・対話的で深い学びができる題材だと思う。 • 今学習している内容の時期や時代がすぐに分かる年表が各ページに配置されているのが特徴である。 • 「タイムトラベル」を章の初めに設け、資料となる絵からそれぞれの時代の特徴を生徒に眺めさせ、読み取らせることを一貫して行っており、生徒が絵から何を気づくことができるのか、教える方もワクワクしてくるようなつくりになっている。 • 「世界とのつながりを考えよう」は、地図やイラストから日本と世界を一緒に考えることができ、非常に有効であると思う。
山川出版社	<ul style="list-style-type: none"> • 「○世紀の世界」という見開き2ページのコーナーがあり、地図・イラスト等が掲載され、その時代の世界の様子を視覚的に捉えることができ、学びが広がると感じた。
日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> • コラムの「先人に学ぶ」では、先人がどのような課題と対面し、その解決に向けてどのような取組をしてきたのかということを知ることができ、道徳教育との関連を意識した工夫がされていると感じた。 • 各編に、「どんな学習をするのかな？」から始まり、「学習課題」の欄で何を学んでいくのかという学習の見通しを持たせ、最後に「確認」「表現」で振り返りをし、しっかり考えて学習できる構成になっていると思う。
自由社	<ul style="list-style-type: none"> • 各単元にコラムが置かれ、歴史的な事象の関連や背景に深く踏み込むことができると思う。また、多面的・多角的に考察できるように工夫されていると感じた。
育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> • 各章の導入部分において、小学校の振り返りをしながら、これから学ぶことをイラストを使って分かりやすく図示してある「鳥の目で見る(歴史絵巻)」が目を開く。 • 「虫の目で見る」を使い、その時代の特徴を考察することができるように工夫されている。
発行者	観点② 分量・装丁・表記等
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> • 分量、書体も適切で、各ページとも2/3程度がイラスト、写真で構成され、ユニバーサルの視点にも配慮されており、生徒が読みやすく理解しやすい構成になっている。
帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> • 分量、書体も適切で、各ページとも2/3程度がイラスト、写真で構成され、ユニバーサルの視点にも配慮されており、生徒が読みやすく理解しやすい構成になっている。
日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> • 1見開きごとに二次元コードがある。
学び舎	<ul style="list-style-type: none"> • A4版を採用しており資料や記述が豊富に盛り込まれていると感じた。各章の最初には北極を中心とした世界地図が描かれており、その時代その時代の世界各地の様子を表す写真や絵が配置されており面白い工夫であると思う。

◇社会(歴史的分野)

発行者	観点③ 本市の生徒の実態や地域等の特性との関連
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一遍聖絵や後醍醐天皇の肖像画の所蔵場所が神奈川県清浄光寺と記載され、歴史を身近に感じることができると思う。 ・ 「地域の歴史を調べよう」では、地域から見た歴史を捉える学習が可能で、歴史を様々な角度から考察する工夫があると思う。特に本市の生徒が3年時に修学旅行で広島を訪れることがあり、見開き2ページで広島は原爆という従来の学びから一歩進めて、被爆建物をどう保存し継承していくかという切り口で、これからの生きる生徒に考えさせる題材になっていると思う。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「福岡の市」に「『一遍上人絵伝』清浄光寺[遊行寺]蔵」と明記され、歴史を身近に感じることができる。 ・ 同時代の資料を見比べる活動を通じて、資料を用いて当時の産業や経済発展の様子を類推・考察することの歴史的意味を学ぶことができると思う。
帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在学習している単元が、小学校ではこの単元と、他の分野ではこの単元と関わりがある部分がページの下に示されており、以前に学習したことを振り返ることができたり、他分野とも関連して多面的・多角的に捉えたりする機会となるよう工夫されている。 ・ 一遍上人絵伝や後醍醐天皇の肖像画の所蔵場所として神奈川県藤沢市と記載され、歴史を身近に感じることができる。 ・ 本市の生徒が校外学習で訪れる機会が非常に多い鎌倉市、横浜市の特集ページがあり、歴史的分野を学ぶことの意義から考えると、実際に歴史の舞台に立って考えたり、感じたりする学びを実現できると思う。 ・ 抽象的な概念形成が未熟な生徒が多い中で、「世界とのつながりを考えよう」や「歴史を探ろう」は視覚的な資料が多く用いられており、具体的なイメージを持って学びを深める学習が可能と考える。
令和書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な内容の学習にとどまらず、より高い知的な探究を手助けする構成となっていると思う。 ・ 巻末の資料はカラー刷りで見やすく、特に各時代の歴史地図は、歴史の流れを地理的な観点から理解するために大変効果的であると思う。

第2回令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会
議案第1号「令和7年度使用中学校用教科用図書について」
観点別審議のまとめ

◇社会(公民的分野)

発行者	観点① 編修の趣旨と工夫、学習指導要領との関連、内容・構成、「社会(公民的分野)」に係る観点
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 「18歳へのステップ」というコーナーを設けている。特に主権者意識を高めることや、主体的に社会に参画する態度を養うことは、公民に課せられた学習であり、非常に意識づけることができていると思った。中学校3年生は義務教育最後の年であることから、このコーナーを充実させることは、非常に好印象が持てる。 二次元コードについて、得られる情報に大変工夫があり、多様なコンテンツは、1人1台端末を活用できる学習活動によって日々の授業をサポートすることができ、さらに家庭においての学びの広がりを期待することができる。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> 「教科書の使い方」のページに生徒たちをこの教科書に導いてくれるような6人のキャラクターが描いてある。男子、女子、車椅子に座っている子、名前が片仮名で書かれている子、眼鏡をかけている子など、人権を尊重し、多様性を認め合うことが求められる今の時代に、こういったキャラクターについては非常に意識があると思う。 二次元コードについて、得られる情報に大変工夫があり、多様なコンテンツは、1人1台端末を活用できる学習活動によって日々の授業をサポートすることができ、さらに家庭においての学びの広がりを期待することができる。
帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> 「アクティブ公民」、「図解アニメーション」が示されており、学習内容の定着や学びの深まりに活用できる動画などがとても分かりやすい。「パン屋さんをつくらう」は、出店する計画の立案、出店地の選択、従業員募集など、生徒が興味・関心をもって取り組むことができる内容となっており、やがて社会に出て、その形成者になるために必要な公民的資質を体験的に学ぶことができる。 各単元の学習の冒頭に「学習の前に」という大判のイラストがある。社会の仕組みや制度、または現実の生活を結びつけて考えたり、発見させたりしようとする意図が感じられる。公民の授業が苦手だという生徒でも、イラストから学習内容を考えることができ、意欲の喚起にもつながるものである。実際に授業で使ってみよう。 二次元コードについて、得られる情報に大変工夫があり、多様なコンテンツは、1人1台端末を活用できる学習活動によって日々の授業をサポートすることができ、さらに家庭においての学びの広がりを期待することができる。
日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードについて、得られる情報に大変工夫があり、多様なコンテンツは、1人1台端末を活用できる学習活動によって日々の授業をサポートすることができ、さらに家庭においての学びの広がりを期待することができる。
育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードについて、得られる情報に大変工夫があり、多様なコンテンツは、1人1台端末を活用できる学習活動によって日々の授業をサポートすることができ、さらに家庭においての学びの広がりを期待することができる。
共通	<ul style="list-style-type: none"> 中学校卒業後に公民として生きる生徒たちを意識して、現代社会の見方・考え方を養い、現在の予測困難な未来を生きるための思考力や判断力、表現力を育成するための配慮がなされている。また、社会的事象について、生徒が多面的・多角的に考察し、意見や考えを表現できる力を育むための工夫がされている。例えば、ディベートやロールプレイ、シミュレーション等の活動は、他の人との対話を重ねていく過程で、生徒が自ら積極的に社会に参画していく意識を育むために大変効果的である。 SDGsについては、現在、世界的な取り組みとなっていることから、大変工夫のある切り口で扱われている。
発行者	観点② 分量・装丁・表記等
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 使用されているグラフや地図などの資料が色覚的にも配慮されている。イラストなども伝えたい内容がシンプルに表現されており、生徒が理解しやすい工夫がされている。また、二次元コードを利用して、学習内容に関連する他の教科の教科書などが簡単に参照できるように配慮されている。
帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> 重要語句を示すゴシック体の太さやルビを工夫するなどの配慮があり、配色についても、色覚に配慮した識別しやすい色使いとなるように工夫がされている。イラストや写真なども見やすく、興味を引くものが多く、資料も具体的で分かりやすいと思う。
自由社	<ul style="list-style-type: none"> 索引が6ページにわたり項目が細かく掲載されており、生徒が復習する際、非常に利用しやすくなっていると感じた。
育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> 振り仮名にゴシック体を用い、読みやすくなるような工夫がある。資料やグラフについて、テーマごとに分けられており、見やすくなっていると思う。また、章の初めに掲載されている二次元コードを利用することにより、学習内容に関連する動画に簡単にアクセスできるように配慮されていると感じた。
共通	<ul style="list-style-type: none"> 1授業時間で扱う内容が見開き2ページにまとめられており、学習計画が立てやすくなるよう工夫されている。
発行者	観点③ 本市の生徒の実態や地域等の特性との関連
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 全てのページに二次元コードが掲載されている。生徒が持っている1人1台端末で読み取ることができ、必要に応じて授業で活用したり、探究学習に活用したりすることができ、より幅の広い学びが可能になると思う。
帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> 扉の写真に江ノ電が載っており、本市の生徒は素直に嬉しく感じると思う。また、国際教室で学ぶ外国籍の子どもたちや、選択できる学校制服というような写真が大きく使われており、本市でも身近に接することの多い話題を丁寧に取り上げ、多文化共生や多様性の尊重などの課題について自分事として考え、社会とのつながりを意識できる。
日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> 藤沢市の片瀬海岸清掃の写真が掲載されており、より身近な課題として取り組むことができ、生徒が実際に行動を起こすきっかけになることも期待できる。点字が施されるなど、バリアフリー等についても実感を持って学ぶことができる工夫がされている。

第2回令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会
議案第1号「令和7年度使用中学校用教科用図書について」
観点別審議のまとめ

◇地図

発行者	観点① 編修の趣旨と工夫、学習指導要領との関連、内容・構成、「地図」に係る観点
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 1つのページで多くの情報に触れることができ、地図帳を開いただけで、学びの連鎖が生まれやすいと思う。さらに、巻末の統計資料は、日本の都道府県別統計が活用しやすく、産業別人口の比率や人口構成の割合がグラフ化されており、地域の特色や課題を考察しやすく、社会的な見方や考え方を働かせる学習においても活用できると思う。
帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> 主題図が豊富に掲載されており、主食や気候の関わり、工業生産と人口集中なども関連させて考察することができる構成となっている。また、「世界の州」では、ページによっては日本との結びつきについてまとめている主題図があり、世界と日本との関連を読み取ることができる工夫がある。一般図においての色の違いは、土地利用や高低差をイメージしやすく工夫されている。また、地理的分野の学習だけではなく、歴史的分野や公民的分野の学習にも利用できる資料や写真が豊富で、中学校3年間を通じて活用できる工夫がある。特に、SDGsについては、巻頭7ページで集中して扱っており、環境、脱炭素、食料、紛争など社会科の様々な観点からの学習に活用できるようになっている。
共通	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を最新のデータで扱っている。
発行者	観点② 分量・装丁・表記等
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 断面図を掲載している地点が線で示されており、生徒が地理的な位置関係を理解しやすいよう工夫されている。また、写真資料では新旧の比較をしながら考察する学習が進めやすい構成になっている。
帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> 地図から得られる情報が精選されており、必要な情報を見つけやすくできていると思う。また、主題図と併設した鳥瞰図があり、生徒の興味・関心を高めるだけでなく、地理的な見方・考え方を身に付けられるような工夫が見られる。また、見やすさなどから、現場の先生方からの評判も良いと聞いている。
共通	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの産地や産業などのイラストがしっかり事細かく描いてあり、見ていて楽しい。また、それぞれ有名な建物などもしっかり描かれており、地図帳ではあるが、色々な視点から学ぶことができる。
発行者	観点③ 本市の生徒の実態や地域等の特性との関連
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 京都市東山区が載っている。
帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> 奈良県明日香村や斑鳩町辺りも載っており、手が行き届いていると感じる。 「地図で発見」というコーナーがあり、修学旅行に関連して京都や奈良に加え大阪、兵庫、滋賀といった関西方面の主な歴史・文化・観光地が示されたページを見ながら観光地めぐりの計画を立てられる作りになっている。奈良で班別行動をしながら京都に戻る、あるいは京都で班別行動で回った後、滋賀県の大津市の宿に戻るといった行動を行うことも最近多く見られるので、本市の修学旅行では利用できるのではないかなと思う。 日本の地震と火山の分布の資料や富士山の降灰予想、南海トラフ地震の資料もあり、本市の防災教育でも利用できる。
共通	<ul style="list-style-type: none"> 京都市、奈良市、広島市については5万分の1の地図があり、主要な神社仏閣についてはイラストが表示されており、非常に見やすいと感じた。 防災については、自然災害や防災に関するページがしっかりあるほか、地方のページにも各所に防災に関する資料が組み込まれている。本市は、相模湾に面し富士山を仰ぎ見ることができる場所にあるが、それだけ地震・津波・火山の噴火といった災害に備えなければならないと思う。

第2回令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会
議案第1号「令和7年度使用中学校用教科用図書について」
観点別審議のまとめ

◇数学

発行者	観点① 編修の趣旨と工夫、学習指導要領との関連、内容・構成、「数学」に係る観点
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 単元を貫く題材の設定が多く、ストーリー性のある題材構成で学ぶ意欲を高め、導入の題材を本文の中で解決したり、さらに深めたりできるような内容になっている。 子どもたちが学びやすいように問題を発見し、見通しを立て、解決までの過程を振り返ることができるよう構成されている。「深い学び」のページでは、日常生活や社会の事象に関わる問題発見・解決の過程に沿った活動が多く、数学と生活の密接な関係を学ぶことができるようになっている。 問題発見・解決の過程を意図した「深い学び」のページがほぼ全ての章に設けられ、論理的に考察し、考えを表現する機会が多く設けられている。また、巻末の「学びのマップ」では、3年間の内容のつながりを確認しながら、振り返りができるようにしている。さらに「学びのベース」では、問題を解いたり、フラッシュカードで反復練習ができるようになっており、生徒が学びやすい構成になっている。
大日本図書	<ul style="list-style-type: none"> 問題発見から解決までの流れが示され、その過程を振り返ることができるような構成になっている。 章や節の導入では、問題発見・解決の流れを意識させることで、自然と論理的に考察する力と考えを表現する力が身につくようになっている。
学校図書	<ul style="list-style-type: none"> 常に話し合い活動を取り入れ、その話し合いから学習の目標を立てることで、対話的な学びが実現できるように工夫されている。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> 問いを持って学習が進められるようになっている。
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> 全ての節の先頭にある「節とびら」では、その節の学習を進めれば解決できる身のまわりの問題を取り上げているため、学ぶ楽しさや意義を実感できるようになっている。 単元末の「章のあしあと」では、わかったこと、できるようになったこと、さらに学んでみたいことをまとめる場面があり、生徒が自らの学びの深さを確認し、次の学びに進むことができるようになっている。
数研出版	<ul style="list-style-type: none"> 対話形式で掲載される題材が多く、「同じように考える」や「具体的な数で考える」という考え方を何度も示すことで、自然とその見方・考え方が身につくようになっている。
日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> 巻末の「SDGsと数学」、「数学を仕事に生かす」、「数学研究室」、「プログラムと数学」など、数学が活用されていることを知ることができる構成になっている。
共通	<ul style="list-style-type: none"> 数学的活動を通して単元ごとに主体的・対話的で深い学びについて実現できるように工夫されている。
発行者	観点② 分量・装丁・表記等
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 節ごとに「基本の問題」があり、「補充の問題」では少し難しい問題も扱い、段階的に身につくような配置になっている。また、吹き出しや補助発問に「同じように考えると」や「それなら」という文言がついており、学びのつながりを生徒が自覚できるようになっている。さらに装丁・表記については、色使いを整えて色覚特性に適應できるカラーユニバーサルデザインや、ルビなどの小さな文字には、見やすくするためにユニバーサル デザイン フォントを使っている。
学校図書	<ul style="list-style-type: none"> 適切な内容・分量の問題であり、「計算力を高めよう」では家庭学習や計算練習で活用できる。
数研出版	<ul style="list-style-type: none"> グラフや図をかく問題は、教科書中に書き込みやすくするため、本の外側に図を配置している。
日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> 節末に「基本の問題」、章末には基礎から標準的な問題である「章の問題」、難易度の高い「とりくんでみよう」を設け、多彩な問題を出題している。
共通	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードが配置されており、予習・復習や反復練習など生徒が自分で学習できるように配慮されている。
発行者	観点③ 本市の生徒の実態や地域等の特性との関連
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> デジタルコンテンツの中に、「対話シート」があり、生徒一人ひとりが主体的に自分の考えを表し、ペア学習やグループ学習、教室全体での意見共有がしやすいよう工夫されている。 学習状況調査の結果で表れている課題について改善することができる。
学校図書	<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりの生活の中から課題を発見し、その発見した課題を数学の問題におきかえて、生徒同士の話し合いを行うページが設定されている。 学習状況調査の結果で表れている課題について改善することができる。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> 協働的な学びの場面として、各章の始まりには「Let's Try」という導入問題・課題があり、活用の場面には「学びのプロセスページ」で生徒の生活に身近な題材で、対話的な学びを促している。 学習状況調査の結果で表れている課題について改善することができる。

第2回令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会
議案第1号「令和7年度使用中学校用教科用図書について」
観点別審議のまとめ

◇理科

発行者	観点① 編修の趣旨と工夫、学習指導要領との関連、内容・構成、「理科」に係る観点
大日本図書	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会に関連する事柄を多く掲載し、生徒が科学を身近に感じることができるように配慮されている。また、教材を基礎となることから配置して、後続の学習内容の理解がしやすくなるように配慮されている。例えば、生徒が小学校で扱った豆電球を利用して回路の学習をしてから電流と電圧の関係、電流と磁界の関係、最後に電子・放射線について理解する流れとなっている。
学校図書	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の真理を追究する態度を育成することに重きがおかれ、生徒が科学的に思考する、課題を科学的に解決するために必要な知識・技能が詳しく解説されている。例えば、誤差や有効数字の説明が丁寧に、生徒がデータを計算機やパソコンで計算する際、小数点以下の数字を有効数字として意識しながら適切に処理できるように丁寧に解説されている。 学習内容を生徒に身近なもの、基礎となることから配置して、後続の学習内容の理解がしやすくなるように配慮されている。例えば、植物の学習では、まず植物の器官・組織のつくりをしっかりと観察してから、光合成の仕組みを探究する流れとなっていて、光合成を、よりからだのつくりをイメージしながら理解ができるように配慮されている。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を生徒に身近なもの、基礎となることから配置して、後続の学習内容の理解がしやすくなるように配慮されている。例えば、植物の学習では、まず植物の器官・組織のつくりをしっかりと観察してから、光合成の仕組みを探究する流れとなっていて、光合成をよりからだのつくりをイメージしながら理解ができるように配慮されている。 使用されているマークがとてもしっかりやすく、課題の解決に向けて話し合ったり、考えたり調べたりする場面がよいタイミングで出てきて、より深く興味や関心を持ち、生徒が学習できるようになっている。他の教科で学習する内容との関連があるものには、その表示がしっかりと示されており、学ぶということのつながりや探究する力の育成が図られている。
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容をより深く理解できるよう、内容に関連する事柄を多く掲載し、日常生活・社会、他教科との関連に触れやすくなっている。また、生徒が主体的に、科学的に探究することを意識した構成となっている。 観察と実験の目的、方法、結果、考察までの工程が一目でまとめてわかるように記載されており、子どもたちが実際に観察や実験をした際にスムーズに取り組むことができると思う。 「考えてみよう」、「ためしてみよう」、「なるほど」そして「つながる学び」というコーナーが各単元で出てくる。「ためしてみよう」では、ほとんどの実験が身の回りや日常生活の中の身近にある材料で、やりたいと思ったらすぐその場でできるものが多く、自らの力で知識を獲得し、理解を深められる工夫や配慮がされていると思う。また、使用されている写真が美しくダイナミックなものが多い。
共通	<ul style="list-style-type: none"> すべての観点において十分に配慮がされている。特に、3年間を通して、科学的に探究する力の育成が図られていること、情報活用能力の育成やICTに対応した工夫がされていること、安全に実験・観察するための注意事項や基本操作が図入りで丁寧に説明されていること、日常生活や社会との関連等が掲載されていて、理科の有用性や自然科学への興味・関心を高めるための配慮がされていることなど、理科の教科書としてなくてはならない観点に対して工夫と配慮がされている。また、実感をともなった理解をしやすくするための工夫や、より深く学びたい生徒にとっての補充資料として、適切に発展的な内容が掲載されている。
発行者	観点② 分量・装丁・表記等
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 美しい自然科学に関する画像を多く掲載し、生徒の興味を高める工夫がされている。国際単位系にも触れ、生徒が納得して学習できるように配慮されている。また本文の説明が、生徒にとって丁寧に理解しやすくなっている。例としては、先に日本の天気の特徴づける気団の性質を丁寧に記述したうえで、移動性高気圧の発生場所が中国大陸の南部であることに触れて、春・秋の天気の特徴を考察しやすくなっている。
大日本図書	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の随所に生徒に考えさせるような吹き出しのイラストを入れたり、「話し合おう」という項目が設定されており、生徒が科学的に説明したり、生徒間で考えを交流したりする活動を進めやすく配慮されている。
学校図書	<ul style="list-style-type: none"> すべてのページの決まった場所に二次元コードが配置されており、いつでも簡単に関連する資料にアクセスできるように配慮されていて、とてもよいと感じた。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の随所に生徒に考えさせるような吹き出しのイラストを入れたり、「話し合おう」という項目が設定されており、生徒が科学的に説明したり、生徒間で考えを交流したりする活動が進めやすくなるよう配慮されている。
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> 実験の手順や結果の整理の図や写真がカラーで大きく見やすくなっている。また、生徒が理解しにくい内容についての説明が丁寧である。例えば、力を記述する場合は、何が、何に、どちらの向きに、どのくらいのかきで加えている力を記述することが重要であるかということをわかりやすく説明している。
発行者	観点③ 本市の生徒の実態や地域等の特性との関連
学校図書	<ul style="list-style-type: none"> 藤沢の子どもたちは、科学少年団等で小学生から自然科学に親しんでいる生徒が多い。また身近に海があり、箱根には火山、相模原にはJAXAがあるなど、科学的に探究する力を身につけることで、生徒はより主体的に学ぶことができる環境にあるため、科学的に学習することを意識し編修されているので、適していると考えられる。
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> 探究の過程がわかりやすく配慮されていて、実験・観察の説明の図や写真がわかりやすい。重要な箇所の本文の説明がわかりやすく、発展的な内容も適切に掲載されているため、本市の生徒に適していると考えられる。

第2回令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会
議案第1号「令和7年度使用中学校用教科用図書について」
観点別審議のまとめ

◇音楽(一般)

発行者	観点① 編修の趣旨と工夫、学習指導要領との関連、内容・構成、「音楽(一般)」に係る観点
教育芸術社	・学習のねらいや共通事項との関わり、教材で考えさせたいポイントなどの説明が丁寧になされている。さらに、具体的な例示も多く、音楽科で育成する資質・能力が確実に養われる授業づくりに有効であると考えられる。教材によっては、主体的・協働的に音楽の良さを味わう学習展開が図られるような「学びのコンパス」というワークシートも提示されており、段階的に学習できるつくりとなっている。
共通	・演奏や鑑賞、創作活動の場面で他者と意見を交換しながら発表したり、グループで表現方法を考えたりするなどの課題を提示するつくりとなっており、主体的で対話的な学習展開のもと、思考力・判断力・表現力の育成が図られるよう工夫されている。
発行者	観点② 分量・装丁・表記等
教育出版	・歌唱、鑑賞、創作教材のカテゴリーにそれぞれ基調となる配色があり、歌唱教材の風景写真などが美しく配され、曲の叙情を豊かに想像させると感じた。
教育芸術社	・親しみやすいキャラクターが音楽活動を楽しむ様子が描かれ、生徒の関心を引く工夫がされていると思う。
共通	・歌詞などの文字が読みやすいユニバーサルデザインに配慮された紙面になっている。
発行者	観点③ 本市の生徒の実態や地域等の特性との関連
教育芸術社	・音楽をより深く学びたいという生徒の学びに対応できるように、豊富な情報量と詳細な説明が掲載されていると思う。1年生の「浜辺の歌」は、作詞者のゆかりの地である辻堂海岸の風景写真に江の島も写っており、目を引く。生徒が歌を通して本市の美しい自然に対する思いを高めることができると思う。また、「学びのコンパス」を活用し、1年生の段階で、本市に関わりの深い楽曲を学び、それを通して音楽に対する感性、音楽に親しむ態度を育むことができる構成は大変効果的であると思う。

第2回令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会
議案第1号「令和7年度使用中学校用教科用図書について」
観点別審議のまとめ

◇音楽(器楽合奏)

発行者	観点① 編修の趣旨と工夫、学習指導要領との関連、内容・構成、「音楽(器楽合奏)」に係る観点
教育出版	・ギターについては奏法に合わせて練習曲があり、生徒がスムーズに取り組めるようになっている。また、太鼓については打ち方と構え方の説明が詳しくされており、図も多くとても分かりやすくなっている。
教育芸術社	・演奏についての説明が丁寧で、写真が大きくて分かりやすくなっている。それぞれの楽器について、詳しい奏法の二次元コードがついており、生徒が無理なく取り組めると思う。
共通	・生徒が主体的に取り組む、学びを深めていけるよう工夫されている。また、専門家のアドバイスを生かしながら、様々な楽器に触れる機会を提供している。
発行者	観点② 分量・装丁・表記等
教育芸術社	・五線の太さや音符の大きさ、段やページの区切りが見やすいと感じた。ギターのダイアグラムの表記が奏者側からの視点となっており、子どもたちにとって分かりやすいと感じた。
共通	・構成については、各楽器のページで基礎的なことを学習し、巻末の楽曲において難度があがるものに取り組めるようになっており、学習を積み重ねながら技能を習得できるように工夫されている。
発行者	観点③ 本市の生徒の実態や地域等の特性との関連
教育芸術社	・様々なジャンルの音楽を取り入れており、クラシックだけでなく、幼少時に耳にするような楽曲や現代のゲーム音楽など、親しみやすい曲が多く、生徒が演奏練習に主体的に取り組めると感じた。
共通	・本市の生徒の発達段階に合わせて演奏できるよう工夫が多々見られる。

第2回令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会
議案第1号「令和7年度使用中学校用教科用図書について」
観点別審議のまとめ

◇美術

発行者	観点① 編修の趣旨と工夫、学習指導要領との関連、内容・構成、「美術」に係る観点
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞のページは、はじめに作家の作品、次に生徒の作品を紹介し、最後に解説や制作過程の説明がレイアウトされている。鑑賞して自分の作品のイメージを持ち、具体的な制作手順を理解しながら学習を進められるように工夫されている。
光村図書	<ul style="list-style-type: none"> 題材ごとに鑑賞、表現の順に構成されている。「みんなの工夫」という項目があり、自分ならどのように表現するだろうと生徒たちに主体的に考えさせる工夫が見られる。また、説明がない作品を大きく取り上げ、生徒自身が感じる印象やイメージをもたせた後に鑑賞ページを設けて、作品についての解説を掲載している。造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて、生徒が自分で考える力を育てる構成になっている。また、資料集が別冊になっており、作品を作るための技法や、色や素材についての解説があるほか、発想や構想を練るための方法も示されている。生徒の表現したいという気持ちを形にするために必要な知識や技能が、一冊にまとまっているのがよいと感じた。 他教科とのつながりや共通事項の学習内容を関連させ、分かりやすく説明されているので、工夫と配慮を感じよかったと思う。
日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自身の身近な生活や社会と関連付けて学べる題材が多く掲載されている。デザインや工芸の分野では、使う人の立場に立った分かりやすいロゴやマークを制作したり、そのマークを使って日本手ぬぐいを作ったりするなど、生活の中でロゴやマークが様々な形で利用されていることが分かりやすく紹介されている。暮らしや町づくりをテーマにした單元では、よりよいデザインや工夫について意見を出し合い、協力しながら、暮らしを創造するプロセスを学べるようになっていく。自分たちが未来をデザインするんだという意識をもたせやすいと思う。 「表現のヒント」が丁寧に記してあるため、鑑賞の後にスムーズに表現に入っていける。鑑賞の題材に、自分らしい思いや考えを持つための工夫がなされていると思う。そして、写真やイラストが大変大きく見やすい。
共通	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活や社会生活の中で造形的な見方や考え方を働かせて、美しいと感じるものに触れ、美術文化と豊かに関わる資質や能力を育むことを目指した題材を取り扱っている。 表現と鑑賞の領域が明確に分かれており、大変よいと思う。また、学習の目標である知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度等が單元ごとに分かりやすく記載してある。
発行者	観点② 分量・装丁・表記等
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> 美術1、美術2・3の2冊で構成されている。作品の質感を感じ取れる表紙の作りが素晴らしく、思わず手に取ってみたいくなる装丁となっている。絵画の一部を原寸大で表示しており、折り込みページも効果的に使われている。
光村図書	<ul style="list-style-type: none"> 日本画について質感の違う紙を使用して16ページにわたり掲載し、特に浮世絵の「富嶽三十六景神奈川沖浪裏」は、原寸大でその魅力を余すところなく伝えている。また、美術1、美術2・3と別冊資料の3冊で構成され、別冊資料は生徒の学習を助けるものとなっている。
日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> 1、2・3上、2・3下の3冊で構成されている。3冊に分けることで1冊当たりの重量が軽く、持ち運びがしやすい作りとなっている。また、絵画の一部を原寸大で表示することで、タッチや色使いを実感できる工夫がされている。
発行者	観点③ 本市の生徒の実態や地域等の特性との関連
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> 内容ごとに二次元コードが配置され、生徒作品やダウンロードができるワークシートなどが用意されている。 藤沢にゆかりのある岸田劉生や片岡球子の作品が紹介されている。
光村図書	<ul style="list-style-type: none"> 「全国の生徒の作品を見てみよう」のほか、「体感ミュージアム」のコーナーには作品に書き込んで鑑賞できる「書き込みツール」や「解説動画」、「鑑賞を広げる言葉集」など、生徒の興味・関心を高め、学習を深める工夫が見られる。生徒一人ひとりがパソコンを利用している本市においては、特に有効であると思う。 サプレのパッケージが載っている。 「富嶽三十六景神奈川沖浪裏」について、ほぼ原寸大である。「神奈川沖浪裏」だけではなく、歴史的な日本の絵画についても非常に紙質が風合いのあるものになっており、印象深くとてもよかったと感じた。
日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> 「学びのはじめに」を全ての題材に配置している。 岸田劉生の作品や鎌倉の東慶寺の仏像などが紹介されている。 「富嶽三十六景神奈川沖浪裏」について、ほぼ原寸大である。
共通	<ul style="list-style-type: none"> 教科書に二次元コードが用意され、デジタルコンテンツを使うことができる。 神奈川県や本市にゆかりの芸術家の作品を取り扱っている。また、神奈川県内の風景が作品になっていたり、あるいは県内の美術館に所蔵もしくは展示している作品を掲載しており、興味深いと思った。 「富嶽三十六景神奈川沖浪裏」について取り上げられている。

第2回令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会
議案第1号「令和7年度使用中学校用教科用図書について」
観点別審議のまとめ

◇保健体育

発行者	観点① 編修の趣旨と工夫、学習指導要領との関連、内容・構成、「保健体育」に係る観点
東京書籍	・ナビゲートキャラクターが生徒を学習へと導き、「見つける」、「課題の解決」、「活用する」の流れの中で、生徒が主体的に学習を進められるつくりになっている。また、それぞれの場面に設定された「問い」が、生徒が思考力を働かせ、協働的な学びから知識の定着を図れる構成となっている。内容としては、多様性を認め合う共生社会の実現や命の大切さを重視して、性の多様性や犯罪被害の防止などが充実していると感じた。
大日本図書	・「学習のねらい」をはじめに示し、本文を片側1ページに収めることで、授業の目的を明確にして、授業者の様々な工夫によって授業が展開できるよう作られている。内容としては、現代的な諸課題を重視してオリンピック・パラリンピック教育、防災教育などが充実している。
大修館書店	・「課題をつかむ」で生徒の興味・関心を引きつけ、本文・資料で知識を身につけ理解を深め、「学習のまとめ」で学習内容を振り返り、日常に生かすという流れが、生徒にとって取り組みやすく、授業者にとっては教えやすい作りとなっている。また、二次元コードからクイズに挑戦することや、重要なキーワードをたよりに生徒自身が深く考える場面を設定できるようになっている。内容としては、心の健康を重視してリラクゼーションの方法を実習するページを設けるなど、今日の課題を取り上げている。
Gakken	・導入の「ウォームアップ」による課題が適切であり、本文中の吹き出しに書かれた問いと、「学びを生かす」という話し合いや調べ学習などを通して、主体的な学習につながる構成になっている。内容は、健康や医療について、ウェルビーイングの視点を取り入れ、心の健康では、いじめについて取り上げているところが印象的であった。
共通	・主体的・対話的で深い学びを進められるよう工夫されている。学習指導要領に示された心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成するという目標に資する内容となっている。
発行者	観点② 分量・装丁・表記等
東京書籍	・二次元コードによるデジタルコンテンツや巻末資料が充実しており、振り返りや発展的な学習に生かせる内容となっていると思う。
大日本図書	・右側ページに本文がなく、表や写真・イラストが充実している。左ページの本文を隠して、資料から考察・推測する活動につなげられるつくりになっていると感じる。
大修館	・本文の文字数が少なく、写真とイラストのバランスや配置が良く、グラフや表の配色に工夫が見られ、非常に見やすいつくりであると感じた。
Gakken	・イラストに吹き出しを入れるなど漫画のような作りになっており、生徒が親しみやすい工夫がされていると思う。
共通	・口絵または巻頭に、「この教科書の使い方」を紹介している。また、ユニバーサルフォントにより見やすく活用しやすい構成となっていると思う。
発行者	観点③ 本市の生徒の実態や地域等の特性との関連
東京書籍	・二次元コードが充実しており、ICTを活用した本市の生徒の学習に適していると感じた。
大日本図書	・藤沢市の緊急通報装置や横須賀市のコミュニティ道路など、身近に感じられるものが取り上げられており、生徒が関心をもって学習できると感じた。
大修館	・小田原市の津波避難場所の標識や藤沢市のボッチャ体験などが取り上げられ、生徒が身近に感じられるとともに、ほとんどのページに二次元コードがあり、1人1台端末に対応した本市の生徒に適していると思う。
Gakken	・生徒が自分事と捉えて学習に取り組める資料として、神奈川県の中学校でAEDを使用し、部活動の顧問を救った話が掲載されている。

第2回令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会
議案第1号「令和7年度使用中学校用教科用図書について」
観点別審議のまとめ

◇技術・家庭(技術分野)

発行者	観点① 編修の趣旨と工夫、学習指導要領との関連、内容・構成、「技術・家庭(技術分野)」に係る観点
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 表紙は「未来を創るTechnology」で始まり、「一人一人の明るい未来を創る架け橋になりますように」という編修者の願いから始まり、ガイダンスの中では、「技術の見方・考え方」のページで最適化の視点について丁寧に触れていることが特徴である。今後、技術による問題解決の際の重要な視点であり、最初に学ぶ意義は高い。 冒頭でSDGsとテクノロジーを組み合わせ、SDGsが掲げる17の目標を達成するにはテクノロジー、いわゆる技術の力が欠かせないということに触れ、すてきな未来を実現させるにはということで、技術の学習へと導いている。
教育図書	<ul style="list-style-type: none"> 小学校で学んできた算数、理科、社会、図画工作などと技術が密接に関わっていることを写真で分かりやすく表示し、小学校で学んできたことをさらに広げ、生徒に安心感を与えらるとともに、自分たちの未来のために技術を学ぶことが示されていると思う。また、教科書がAからD編で構成されており、編ごとで簡単な題材をつくり、物づくりの基礎が流れるようになっている。そして、編の中が1から3、または4章に分かれており、章ごとに振り返りやまとめがあるので、途中で分からなくなることなく、安定した学びができると思う。また、「スキルアシスト」という基礎技能をさらに分かりやすく説明した冊子もついており、二次元コードから動画を見ることができる。学習指導要領において示された資質・能力の3つの柱の一つである生きて働く知識・技能を習得するための工夫や配慮がされており、非常によいと思う。 「技術の力で、だれもが暮らしやすい社会を創る」というSDGsや共生の視点が色濃くあり、身近な悩みを取り上げ、自分でも出来ると思えるような工夫例を示している点が印象に残った。
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> 生徒たちが初めてこの教科書を手にとったとき、表紙の「テクノロジーに希望をのせて」からはじまり、私たち人間は、すてきな未来を夢見て、努力を重ねてきました。ドラえもんの秘密の道具を手にする日が来るかもしれませんね。という台詞を読みながら、ワクワクしている子どもたちの笑顔が目につく。 冒頭でSDGsとテクノロジーを組み合わせ、SDGsが掲げる17の目標を達成するにはテクノロジー、いわゆる技術の力が欠かせないということに触れ、すてきな未来を実現させるにはということで、技術の学習へと導いている。
発行者	観点② 分量・装丁・表記等
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 全ページに二次元コードが配置されており、学習した内容を補足するワークシート、図鑑や動画など、多彩なコンテンツを用意されている点が非常に優れている。
教育図書	<ul style="list-style-type: none"> すべての二次元コードの横に内容が表示されており、調べたい内容が分かりやすい表記になっている。
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コンテンツは、動きがあった方が理解しやすい制作の手順や作業の手順に関する動画がすごく充実している。
共通	<ul style="list-style-type: none"> 適切な文字サイズ、適度に配置された図や写真、イラストにより、生徒が読みやすく理解しやすい配慮がなされている。また、現在学校では、1人1台の端末を活用した授業実践、個別最適の学びが重要視され、予習や授業中、復習など様々な場面で使用できる二次元コンテンツは必要不可欠なツールで、充実していると感じた。
発行者	観点③ 本市の生徒の実態や地域等の特性との関連
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 「サステナブルなものづくりに挑戦しよう」、「地域の特産物を未来につなげよう」、「well-beingを高めるための問題解決」、「地域の安全・安心を守ろう」など、現在の課題にスポットをあてた見出しの工夫がある。また、編末資料にある「すごいぞ！技術」「技術の匠」で、今までの技術分野の学習と現在の技術、将来の勤労観をつなげることで、さらに学習意欲を高める工夫があると感じた。
教育図書	<ul style="list-style-type: none"> 「見つける」「学ぶ」「ふり返る」の学習3ステップが明確で、生徒が主体的に学習できるように工夫されており、「問題解決」の4つのステップで分かりやすく説明されている。また、「先輩からのメッセージ」「技ビト」などのコラムが充実していて、地元神奈川県厚木市の養豚農家の食へのこだわりや思いも掲載され、より技術の果たす役割をより明確にすることで、生徒の学習意欲の向上につながる。
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> 各章の導入部に、「学習の流れ」「小学校や他教科とのつながり」が表記されており、生徒がこれまでの学習をもとに、これから学んでいくことが分かりやすい構成になっている。また、漫画やイラストを減らし、図を多く使用することで生徒自身が必要な情報を取捨選択して、主体的に学習できるよう工夫されている。また、「Interview」の中では、仕事の意義や楽しさなど、キャリア教育の視点にも触れており、生徒が将来に向けて興味をもてるように工夫されている。

第2回令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会
議案第1号「令和7年度使用中学校用教科用図書について」
観点別審議のまとめ

◇技術・家庭(家庭分野)

発行者	観点① 編修の趣旨と工夫、学習指導要領との関連、内容・構成、「技術・家庭(家庭分野)」に係る観点
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ガイドンスが丁寧に取扱われており、小学校で学習した内容を各編の導入で示すなど、小学校との系統性を大切にしている。また、生活の営みにかかる見方・考え方について分かりやすく例示し、生徒が自らの問題発見につなげられるような構成になっている。さらに、「自分の生活チェック」では、「1年生の最初」と「学習後」とのチェックを並べて比較できるようになっており、学んだことによる自身の成長を実感できるよう工夫されている。 最初のガイドンスで、3年間の見通しを丁寧に取扱った上で、生徒たちが興味をもって主体的に実習に取り組めるであろう食生活から入り、最後に、家族や地域の学習となっている。中学校3年間の最後で幼児や高齢者をはじめ多様な人々との関わりを学び、共生の大切さを感じるよう工夫がされている。卒業後に、地域社会の中で自分が担う役割について考えることに繋がると思う。
教育図書	<ul style="list-style-type: none"> 問題提起やヒントなどをキャラクターでポイントごとにコメントを添えて描かれているところがとても良いと感じた。これは技術の教科書も同じように、同じキャラクターが描かれていた。全体的に構成がとても見やすくまとまっていると感じる。
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> 「わたしたちの防災～防災が当たり前の生活に～」として8ページにわたって掲載し、丁寧に取扱っている。過去の災害から学び、今の生活を見直し、改善していくことができるよう工夫されている。
共通	<ul style="list-style-type: none"> いずれも実践的・体験的な活動が取り入れられて、生徒が主体的に課題を解決していく力が身につくような学習内容となっている。導入のガイドンスでは、小学校とのつながりや、中学校3年間の学習内容について、見通しが持てるようつくりになっている。 画像やイラストがたくさん使われており、実技をする上でとても分かりやすくなっている。
発行者	観点② 分量・装丁・表記等
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> どのページにも同じ場所に二次元コードがついており、活用しやすいつくりになっている。また、思考ツールを活用したコンテンツも有り、自分の考えを整理したり、グループ内の意見を交換することで、深い学びにつながる工夫もされている。
共通	<ul style="list-style-type: none"> デジタルコンテンツが充実している。調理や裁縫の二次元コードは、どれもわかりやすい動画で説明がされており、何度でも見ることができる。本市の生徒たちは、学校で日常的にタブレットを活用しており、生徒たちが自分のペースで繰り返し動画を見て確認することで、基礎的基本的な知識・技能の習得につながると感じる。
発行者	観点③ 本市の生徒の実態や地域等の特性との関連
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 「契約」や「消費者トラブルとその対策」「消費者としてできること権利と責任」の学習において、生徒が自分ごととして捉えられるよう、中学生によくあるトラブルの具体的な例を取り上げており、自分たちが悪質な商法のターゲットとされてしまうおそれや巻き込まれてしまう事案について、実感を伴って学習できるように工夫されていると感じる。
教育図書	<ul style="list-style-type: none"> 本市の中学生の大多数がスマホをもち、インターネットにつながる環境にある。その利便性ととも、危険性や対策を考え知ることの意義は大きいと考えており、広告を見て購入する場合の注意点、また、話し合うワークシートなど、考える工夫がされていると思う。

第2回令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会
議案第1号「令和7年度使用中学校用教科用図書について」
観点別審議のまとめ

◇英語

発行者	観点① 編修の趣旨と工夫、学習指導要領との関連、内容・構成、「英語」に係る観点
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 文法解説動画やデジタル文法クイズなど、ICT教材を活用して主体的に学習できるようになっている。また、「ダイバーシティメモ」というコラムにはその教材の背景や考え方が書かれており、多様性に気づくように配慮・工夫されていると思う。
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> 他者に比べると少し長文が少ないように感じたが、途中途中に「英語早わかり」という文法を分かりやすくまとめたページがあり、定期テスト対策にはとても有効であると思う。また、1つ1つのページの配置バランスがよく、ページが見やすいのが印象的である。小学校で学んだ単語がページの下にまとめられており、その都度振り返ることができる。 学年が上がっても豊富なイラストやマンガ、グラフや表から意味を想像させた上で英文を聞き、簡単な問いから目標文へとつなげていく構成が英語の苦手な生徒にも、とても良いと思う。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> 英語圏以外にも様々な国を取り上げており、なかでも、環境について考えさせる「Warka Water Project」という題材は秀逸で、環境や科学に対する生徒たちの意識を高めることができる教材だと思う。 単語がページの両サイドにまとめられていて、ページの下には、聞く、読む、話す、書くがまとめられている。そして、1つの単元が2つから3つの構成になっており、最後に長文が設定されている。この長文は、定期テスト対策に非常に役立つと思う。また、定期テストに欠かせない文法が長文の後のページに掲載されている。この構成は非常に使いやすいと思う。 配列や構成がパターン化されており、見通しを立てて学ぶことができる。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> アニメや絵や写真が多く、字が大きくて見やすく、教科書のサイズも小さめでよいと思う。 デジタル教材では、読み方練習の際にスラッシュの設定やカラオケのように文字の色が変わっていく表示、自分の声を録音して再生する機能や、英文の内容を思考ツールを使って整理できるよう工夫されており、良いと思う。
光村図書	<ul style="list-style-type: none"> 生徒たちの日常の状況設定から、平易で自然な英語表現を用いて社会問題などの内容に切り込みながら目標に迫ることができ、とても良いと思う。 ストーリーになっているので、最初に入りやすく、ストーリーを通して英語を学ぶことができるのが良いと思う。1年生用は絵が多く、2・3年生用はしっかり文が多いので、学年に適して工夫されていると思う。後半に、各学年のための「英語の学び方ガイド」があり、分かりやすいと思う。教科書のサイズが小さめでよいと思った。 単語がページの両サイドにまとめられていて、ページの下には、聞く、読む、話す、書くがまとめられている。そして、1つの単元が2つから3つの構成になっており、最後に長文が設定されている。この長文は、定期テスト対策に非常に役立つと思う。また、定期テストに欠かせない文法が長文の後のページに掲載されている。この構成は非常に使いやすいと思う。 学年が上がっても豊富なイラストやマンガ、グラフや表から意味を想像させた上で英文を聞き、簡単な問いから目標文へとつなげていく構成が英語の苦手な生徒にも、とても良いと思う。
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ターゲット動画がわかりやすくできており、理解が進みやすいと思う。インプットとアウトプットを継続して学習できるように構成されているところも良いと思う。
共通	<ul style="list-style-type: none"> 1年生の教科書の冒頭に小学校で学んだ自己紹介や、自分の好きなものや憧れの人の紹介をしたり、また、自分や友だちの名前を書いたり、小学校からの学習を関連づけた構成となっている。また、日常生活や話題の出来事や人物、生徒の興味のある題材をうまく使用しており、意欲的、自主的に取り組めるよう工夫されている。 学習指導要領にある全ての点において十分に吟味され、つくられている。主体的に学習を進めることができるよう配慮され、題材や方法に工夫が見られる。また、登場人物の多様性や国際理解はもちろんのこと、内容にも人権や防災、環境や社会問題、他者との協働など、様々な今日的課題を取り上げており、どの者のものもそれぞれの良さがあり、どの教科書も生徒たちの豊かな学びにつながる。 スモールステップで本題に入っていく形がとられており、スムーズに学びがつながるよう工夫されている。また、目標がCAN-Do等を用いて明記されていることで、ゴールがわかりやすくなっていると思う。デジタル教材は、内容を動画で確認でき、多彩な学び方ができるように工夫されている。
発行者	観点② 分量・装丁・表記等
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> 内容が簡潔ですっきりしている印象である。そのため、教員の裁量で活用できる部分も多いと思う。現場の先生方からの評判も良いようである。まとめの3コママンガも読んでみたくなる内容で興味深く復習ができる。

◇英語

発行者	観点③ 本市の生徒の実態や地域等の特性との関連
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各プログラムに「small talk」のコーナーがあり、繰り返し行っていくことで、即興でのやり取りや表現する力が身につく工夫がされている。 ・ Retellingという言い換える手法を用いて、アウトプットする力に重点をおいており、英語力をつける上で大きな強みになる。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「small talk Plus」のコーナーがあり、単元で学んだことを即興で話せるように「Tips」というヒントコーナーがあることで、即興で話すことが苦手な生徒にとって、一助になっている。また、本市で車椅子バスケットボールの練習をしている鳥海選手の話題があるのも、子どもたちの興味を引くと思う。 ・ 本市で車椅子バスケットボールの練習をしている鳥海連志選手の話題もあり、身近な題材として学習できる。
光村図書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各見開きに「Let's Chat」というコーナーがあり、英語教育で今求められている「即興で話す」という力を育めるように工夫されている。また、帯教材として、「その場でスピーキング Let's Talk」という付録は教員にとっても使いやすい教材となっている。 ・ Retellingという言い換える手法を用いて、アウトプットする力に重点をおいており、英語力をつける上で大きな強みになる。

第2回令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会
議案第1号「令和7年度使用中学校用教科用図書について」
観点別審議のまとめ

◇道徳

発行者	観点① 編修の趣旨と工夫、学習指導要領との関連、内容・構成、「道徳」に係る観点
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 教材について深く考え、グループでの話し合いを繰り返すことで、考え、議論する道徳の授業づくりがスムーズに行われるような構成となっている。例えば、各教材につぶやき欄があり、思ったことや感じたことを記入することで、自分の考えを整理し、話し合いを円滑に進めやすい構成になっている。また、巻末の心情円は、葛藤する教材、モラルジレンマ教材を扱う授業の際に、可視化することで自分の心情をより見つけ、考えを整理することに繋がる。さらに友だちの心情理解にも繋がり、活発な話し合いを行うことができるように工夫されている。また、教材文の一場面を役割演技する学習もあり、自分事として捉えられるような工夫もよいと思う。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会における課題として、生命の尊さやキャリア教育・社会参画等についてテーマ別に分類され、考えたり話し合ったりする活動を通して、課題に向き合い解決する力を育む構成となっている。巻末の内容項目別教材一覧表に、教材に関連する他教科・領域が示されており、カリキュラムマネジメントに対応しやすい。
光村図書	<ul style="list-style-type: none"> 元ハンセン病患者の方の経験や、現代社会で起きているコロナの差別や偏見について書いてある。私たちみんなが当事者であり、3年間子どもたちもいろいろ考え、感じたこともたくさんあったのではないかとと思う。それらを題材にして考え、意見を交わすということは、とてもいいことだと感じた。 道徳的な課題を生徒が自分との関わりの中でどう結びつけられるかという点で、写真やイラストの雰囲気や、ページの構成がとてもうまく工夫されており、読む側を飽きさせず、次のページをめくりたくなる。考えようのコーナーがあり、主体的に考え、自分の考えや感じ方を明確にすることができるよう、考える道徳につながる内容構成になっていると思う。 生徒にとって学びやすいよう編修が工夫されていると感じた。人権についてのユニットを別に設けており、人権に焦点を当てて、知識と考えを学びながら深められ、生徒が社会でよりよく生きるためにアンテナを高められるようにしている点や、やってみよう、チャレンジのページを設け、友人との対話、議論を通して体験的に主体的・対話的で深い学びがなされるように工夫されている。
日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> 道徳的な課題を生徒が自分との関わりの中でどう結びつけられるかという点で、写真やイラストの雰囲気や、ページの構成がとてもうまく工夫されており、読む側を飽きさせず、次のページをめくりたくなる。道徳ノートがあり、まずは自分の考えや友達の意見や話し合いの内容をメモできるようにしている。次に、自分にプラスワンとして、みんなと議論を深める中で生まれた新たな考えや、これから大切にしたいことや自分の生き方にプラスしたいことをまとめられるようになっている。物事を多面的・多角的に考えるために、多様な考え方や感じ方と出会い交流し、議論する道徳につながる内容構成になっており、深い学びにもつながると感じた。 いじめや環境など、現代的諸課題の内容教材が充実しており、生徒が考え、議論する道徳が実現しやすいと思った。また、著名人によるメッセージが程よく配されており、生徒が前向きに自身の生き方を考えられる内容であると感じた。
Gakken	<ul style="list-style-type: none"> 巻末の学びのメモと学びの記録が適切な量感で配されており、学びのメモは授業ごと、学びの記録は学期末ごとに、生徒が学びを振り返ることができるよう工夫されている。
共通	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が自分自身を見つめ、よりよい生き方を考えることが大切である。普段の自分の考えや言動について振り返り、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方を考え、議論する道徳につながるよう工夫されている。
発行者	観点② 分量・装丁・表記等
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 手で押さえなくても教科書を広げたままで学習することができるため、話し合いもしやすいと思う。
光村図書	<ul style="list-style-type: none"> 文字が読みやすくなるよう、余白や文字数が配列されていると思う。また、挿絵・写真・イラストが生徒にも親しみやすく、配色も見やすくなっていると感じた。教科書のはじめに道徳で学ぶ22のキーワードをイラスト付きで掲載しており、1年間で何を学ぶのかを示し、続いて道徳 道案内では題材のつながり、学習の見通しを視覚的に持てるようになっている。教科書の巻末にはまなびの記録が付いており、年間の道徳の授業を通して、自ら心に残ったことを振り返ることができ、考えを整理し、より深く考える機会が持てると感じた。
あかつき	<ul style="list-style-type: none"> フォント・色使い等にユニバーサルデザインの観点から配慮がなされている。また、二次元コードを利用して、人物の紹介・インタビュー動画等教材に関連する動画やWebリンクを参照することができるよう工夫されている。
発行者	観点③ 本市の生徒の実態や地域等の特性との関連
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 各学年で、防災安全についての教材を取り扱っており、海が近い藤沢市に住む中学生が、自分事として捉えることができる身近な教材であるため、未来に生きる子ども達の生きて働く道徳性を育む事に繋がると思った。
光村図書	<ul style="list-style-type: none"> 藤沢市では人権啓発事業を推進し、生徒たちが自分の周りにいる友達の人権を守る意識を持つことで、いじめの根本的な原因を取り除けるよう各中学校においても努力している。その視点からよいと思う。人権のユニットを別に設けて、マイノリティやLGBTQについて中学生にも現代の問題として触れられているので、これから藤沢市で生活していく生徒たちに人権を大切にする社会を作る意識付けにつながると思った。
日本教科書	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを伝えたり、相手の考えを理解しやすくなるためにウェルビーイングカードを利用できるようにするなど、生徒同士の対話を重視する工夫が見られる。コロナ禍で友だちとの関わりがなかなか持てずいた生徒たちが、互いを理解し、尊重しながら、人間関係を深めていく態度を育むことに繋がるのではないかとと思う。

第1回令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会会議録

令和6年6月3日（月）10時30分～

委員長

それでは、定刻になりましたので、まず、会議に先立ちまして、お願いがございます。傍聴の皆様方、お手元の会議の傍聴要領をよく御覧いただき、各事項をお守りいただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。なお、この会議は公開でございます。審議の内容につきましては、議事録作成の都合上、録音させていただきます。

それでは、これより第1回令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会を始めます。

私は、本審議委員会委員長を務めさせていただくことになりました亀山憲生と申します。

不慣れではございますが、藤沢市の子どもたちのために、公正に審議委員会を運営してまいりたいと存じます。審議委員会の皆様の御協力をぜひお願ひ申し上げます。

また、本審議委員会規則第4条第3項にのっとり、職務代理者として窪島委員を指名しております。窪島委員、一言御挨拶をお願ひいたします。

窪島委員

こんにちは。採択審議委員会の委員長職務代理者として、今、委員長から指名をいただきましたので、務めさせていただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

委員長

窪島委員、よろしくお願ひいたします。

それでは、本審議委員会の次第に従って進めさせていただきます。

次第2「会議録署名委員の指名について」に入ります。「藤沢市審議会等の会議の公開に関する要綱」第7条に基づいて、会議録署名委員の指名をいたします。

署名委員としまして、委員長の私自身と、そのほかに佐々木委員を会議録署名委員に指名させていただきたいと思いますが、佐々木委員、よろしいでしょうか。

佐々木委員 分かりました。

委員長 ありがとうございます。それでは、会議録署名委員には、私と佐々木委員ということでよろしくお願ひ申し上げます。

続いて、次第3「資料について」に入ります。まず、事務局から資料についての説明をしていただきます。事務局、よろしくお願ひいたします。

事務局 それでは、資料を確認させていただきます。ホチキス留め、資料1を御覧ください。

初めに、1ページ、藤沢市教科用図書採択審議委員会規則ですが、これは本審議委員会の規則でございます。

4ページ、令和7年度使用藤沢市教科用図書の採択方針ですが、これは本年度の教育委員会としての採択に関わる方針を定めた資料でございます。

6ページ、令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会委員名簿です。

7ページ、令和7年度使用藤沢市教科用図書に関する審議について（諮問）です。

8ページ、令和7年度義務教育諸学校使用教科用図書採択方針について（通知）です。この中の12ページに、令和7年度使用中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の観点のほか、17ページ、令和7年度使用特別支援教育関係教科用図書調査研究の観点が含まれております。これは、文部科学省の通知を受けまして県の選定審議会を通して県の教育委員会が通知したもので、教科書の調査研

究の観点等が示されております。

次に、20ページ、教科書採択における公正確保の徹底等について（通知）と、49ページ、令和7年度使用教科書の採択事務処理について（通知）ですが、これは文部科学省より県に通知されました教科用図書採択に向けての方針でございます。

次に、もう一つのホチキス留めが資料2となります。こちらには中学校用教科書目録（令和7年度使用）、特別支援学校用（小・中学部）教科書目録（令和7年度使用）がございます。そのほか中・特別支援学校の学習指導要領を机上のほうに置かせていただいております。これは学校の教育課程の中心となるもので、文部科学省が作成し、教科書編修の根幹に当たる資料であります。

そのほか、サイドテーブルの資料でございます。まず、教科書編修趣意書ですが、これは文部科学省から作成を指示された教科書発行者が教科書を編修するに当たって趣意をまとめたものです。そのほか、令和7年度使用中学校用教科用図書見本本が展示してあります。

以上でございます。

委員長 ありがとうございます。

続きまして、次第4「教育長から審議委員会委員長への諮問」です。

教育長 去る令和6年5月16日に開催をされました藤沢市教育委員会5月定例会におきまして、令和7年度使用藤沢市教科用図書に関する審議については、こちらの審議委員会に諮問することを決定いたしました。これに基づきまして、本日、諮問をさせていただきます。

それでは、諮問文を読み上げさせていただきます。

藤沢市教科用図書採択審議委員会委員長 様

令和7年度使用藤沢市教科用図書に関する審議について(諮問)

藤沢市教育委員会は2024年(令和6年)5月16日の教育委員会会議において「令和7年度使用藤沢市教科用図書の採択方針」を定めました。

教科用図書の採択にあたっては国、県等の資料を踏まえて公正かつ適正を期し、学校、児童生徒、地域等の特性を考慮して採択することが求められています。また、英語の教科用図書については、令和6年度より、英語の学習者用デジタル教科書が紙の教科用図書と併せて提供されました。

そこで、貴審議委員会においては、「令和7年度使用藤沢市教科用図書の採択方針」及び神奈川県教育委員会通知に示されている「令和7年度使用中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の観点」、「令和7年度使用特別支援教育関係教科用図書調査研究の観点」に基づき審議を行うとともに、英語については、デジタル教科書も考慮の一事項として、その内容を答申してくださるよう、ここに諮問します。

2024年(令和6年)6月3日

藤沢市教育委員会
教育長 岩本 将宏

どうぞよろしくお願いいたします。

委員長

ありがとうございました。委員の皆様には、これからの御審議をぜひよろしくお願いいたします。

それでは、次第5「議事」に入ります。

今年度の審議委員会の方針について、審議の都合上、あらかじめこちらで議案を用意してあります。

それでは、議案第1号、「令和7年度使用藤沢市教科用図書採

採択審議委員会の審議方針（案）」について審議いたします。事務局に朗読していただきます。よろしく願いいたします。

事務局 それでは、お手元の議案を御覧ください。

議案第 1 号

令和 7 年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会の審議方針（案）について

本審議委員会は、教育委員会の諮問に基づき、令和 7 年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会の方針を次のように定める。藤沢市立中学校・特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級で使用する教科用図書について、次の観点に基づいて審議を行い、その内容を教育長に答申する。

1 基本的な考え方

- (1) 「令和 7 年度使用藤沢市教科用図書の採択方針」に基づき審議する。
- (2) 令和 7 年度使用中学校用教科用図書の調査研究を中学校学習指導要領に基づいて行わせるために、調査員を種目ごとに置き、調査資料を提出させる。
- (3) 「令和 7 年度使用中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の観点」及び「令和 7 年度使用特別支援教育関係教科用図書調査研究の観点」に基づき、調査研究した資料等を基に審議する。その内容を教育長に答申する。

2 審議委員会日程

- (1) 令和 7 年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会日程
 - ア 令和 6 年 6 月から 7 月にかけて令和 7 年度使用中学校用教科用図書、また令和 7 年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校

の特別支援学級用教科用図書の審議を3回行う。

- イ 第1回は、令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会の審議方針について審議する。
- ウ 第2回は、令和7年度使用中学校用教科用図書について審議する。
- エ 第3回は、令和7年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書について審議する。

(2) 調査員作業日程

- ア 令和6年6月中に令和7年度使用中学校用教科用図書の調査研究のために、調査員をおき、作業を行わせる。
- イ 調査員作業では、調査研究方法の確認をし、令和7年度使用中学校用教科用図書見本等を基に調査研究を行わせ、調査資料を作成させる。

3 提出させる資料

- (1) 調査員による調査資料を審議委員会に提出させる。
- (2) 事務局に各中学校長からの令和7年度使用中学校用教科用図書調査書をまとめさせ、審議委員会に提出させる。
- (3) 事務局に該当校長からの特別支援学校及び特別支援学級用教科用図書調査書をまとめさせ、審議委員会に提出させる。
- (4) 事務局に各中学校移動展示時と藤沢市役所本庁舎4階会議室展示時の教育関係者、児童生徒保護者並びに市民の意見・感想をまとめさせ、審議委員会に提出させる。
- (5) 教科書目録、中学校学習指導要領、令和7年度使用中学校用教科用図書見本、教科書編修趣意書、令和7年度義務教育諸学校使用教科用図書の採択方針（「令和7年度使用中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の観点」及び「令和7年度使用特別支援教育関係教科用図書調査研究の観点」を含む）、教科用図書調査研究の結果を資料として使用する。

4 調査作業の時限非公開

- (1) 静ひつな調査研究の環境確保のため、調査作業及びその調査員氏名については非公開として行わせる。
- (2) 審議の透明性を確保するため、調査員氏名については、調査作業後、審議委員会において公開する。

以上でございます。

委員長 ありがとうございます。

この議案につきまして、御意見、御質問がございましたらお願いしたいと思いますが、方針文が長いので、一つ一つ分けていきたいと思います。

まず、この案の中の前文及び「1 基本的な考え方」についてまで、何かございましたらお願いいたします。

各委員 なし。

委員長 ないようでしたら、次に、「2 審議委員会日程」についていかがでしょうか。

各委員 なし。

委員長 続いて、「3 提出させる資料」についてです。こちらはいかがですか。

各委員 なし。

委員長 最後に、「4 調査作業の時限非公開」についてはいかがでしょうか。

各委員 なし。

委員長 御意見、御質問がないようですので、原案どおりということ
でよろしいでしょうか。

各委員 はい。

委員長 それでは、全体を通しまして、ほかに御質問、御意見等ござ
いませんか。

各委員 なし。

委員長 では、ないようですので、この方針でよろしいかどうか、改
めまして御承認いただけますでしょうか。

各委員 はい。

委員長 ありがとうございます。それでは、議案、「令和7年度使用藤
沢市教科用図書採択審議委員会の審議方針(案)」については承
認されましたので、案の字を消していただければと思います。
ありがとうございました。

実質審議を第2回審議委員会にて行います。各委員におかれ
ましては、本日の資料を参考にしていただき、次回の審議委員
会までの準備をぜひよろしくお願いいたします。

最後に、第2回審議委員会の開催日時につきましては、7月
4日木曜日午後1時30分から、藤沢市教育文化センターの大
会議室と考えております。委員の方々、この日程でよろしいで
しょうか。

各委員 はい。

委員長 それでは、方針に従いまして、次回は、令和7年度使用中学校用教科用図書の審議を行ってまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

事務局のほうから何か御連絡等がありますでしょうか。

事務局 御審議ありがとうございました。

審議委員の皆様は、審議における公正確保という点において、常に公正な立場でお願いいたします。

以上でございます。ありがとうございました。

委員長 委員の皆様、事務局の皆様、本当にお忙しい中、ありがとうございました。これをもちまして第1回令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会を閉会といたします。ありがとうございました。

この会議の結果の記載に相違ないことを、確認する。

署名委員

第2回令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会会議録

令和6年7月4日（木）13時30分～

委員長 皆様、こんにちは。本日は、お忙しい中、また本当にお暑い中、ご出席いただきまして、ありがとうございます。

開会に先立ちまして、傍聴の皆様をお願いがございます。お手元の傍聴要領をご覧ください。会議の傍聴要領に従い、傍聴いただきますようお願いいたします。なお、この会議は公開であるとともに、審議の内容につきましては、会議録作成上の都合、録音させていただきますのでよろしくお願いいたします。

また、会議の開催に当たりまして、藤沢市教育委員会傍聴規則第6条第4項にあります写真撮影につきまして、報道機関から事前に申請がありましたので、これを許可することといたします。

本日の次第をご覧ください。今回、ご審議いただく内容は、議案「令和7年度使用中学校用教科用図書について」です。

まず初めに、藤沢市審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、会議録署名委員を指名いたします。

委員長の私のほかに、今回も佐々木委員をお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

佐々木委員 結構です。

委員長 ありがとうございます。では、佐々木委員、よろしくお願いいたします。

続きまして、本日の資料につきまして事務局からの説明を求めます。事務局、よろしくお願いいたします。

事務局 それでは、議題に係る資料について説明いたします。

第1回の審議委員会が終了した後、本日までの間に送付し、本日お持ちいただきました4点の資料についてご説明いたします。

1点目は、本審議委員会の下に置かれました調査員によって作成されました「中学校用（令和7・8・9・10年度用）『調査資料』」です。これは、県の通知及び本審議委員会の方針を受けまして、学校教育に関し十分な経験と知識を有する者のうちから本市教育委員会が調査員として54名を任命し、調査研究した結果をまとめたものでございます。今回、調査研究に携わりました調査員の氏名等につきましては、調査資料の最終ページに記載してございます。

2点目は、県より報告されました「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程 教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度使用）」です。これは、県の選定審議会の下に置かれた専門調査委員会が調査研究した結果でありまして、選定審議会を経まして県教育委員会から本市教育委員会へと送付されたものでございます。

3点目は、「令和7年度使用中学校用教科用図書調査書まとめ」です。これは、各中学校長が自校の教師に県の調査研究の観点等に沿って調査研究させた令和7年度使用中学校用教科用図書調査書を基に事務局でまとめたものです。各学校が調査の各観点に沿って、当てはまると思われる発行者に丸をつけたものを集計し、一覧にしたものと、各教科、種目別の観点及び本市の生徒の実態や地域等の特性との関連の観点について、その教科書が適切である理由として各学校が記述した内容を発行者ごとにまとめ、一覧にしたものです。

4点目は、「令和7年度使用教科用図書意見書一覧表」です。これは、市民及び保護者向けに各中学校及び藤沢市役所本庁舎4階会議室において、教科書見本展示会を開催した際にいただいた意見、感想を事務局でまとめたものでございます。

その他、キャスターにある資料についてですが、小・中・特別支援学校の学習指導要領、教科書発行者が文部科学省から指示され作成した教科書編修主意書、令和7年度使用中学校用教科用図書見本本及び特別支援教育関係教科用図書見本本を用意しております。なお、令和7年度使用中学校用教科用図書調査書まとめと令和7年度使用教科用図書意見書一覧表等についてもキャスターに用意してあります。

以上でございます。

委員長 ありがとうございます。

ただいまの説明について何かご質問等ございますでしょうか。

各委員 なし。

委員長 では、質問がないようですので、これから議事に入りたいと思います。

議題「令和7年度使用中学校用教科用図書について」審議してまいります。今年度は、令和7年度から令和10年度に使用する中学校の教科用図書の採択が行われることになっております。また、審議委員会が審議を行うに当たり、学校教育に関し十分な知識と経験を有する調査員を置き、調査研究を行わせました。本日までに審議委員の皆様には調査員が作成した調査資料に目を通し、調査研究を進めていただいているところですが、その調査資料の内容を基に各中学校の調査書のまとめ、また県より出されております教科用図書調査研究の結果等を使って審議を進めてまいりたいと思います。

続きまして、審議の進行につきまして何かご意見がある方はいらっしゃいますでしょうか。

宮崎委員　　そうしましたら、今回の審議の進め方についてですけれども、各教科において、特にこちらの市の調査資料の大きなまとめである3観点を意識して進めてみてはいかがでしょうか。

委員長　　今、そういうご意見が出ましたが、よろしいでしょうか。

各委員　　異議なし。

委員長　　ありがとうございます。ただいま市の調査資料の3つの観点を基にしてというご意見がございました。市の調査資料の3つの観点といたしましては、1つ目の観点が編修の趣旨と工夫、学習指導要領との関連、内容・構成、教科・種目別の観点です。2つ目の観点は分量・装丁・表記等です。最後に3つ目の観点が本市の生徒の実態や地域等の特性との関連となります。これら3つの観点を基に、種目ごとに進めていこうと思っております。よろしく願いいたします。

では、今お話ししましたように、3つの観点を踏まえて、各委員からご意見をいただきたいと思えます。

では、まず、国語から始めさせていただきます。国語科についてご意見がある方はお願いいたします。

梶委員　　それでは、国語についてお願いいたします。

国語は4者から出ています。観点1について申し上げますと、4者ともに、学習指導要領にのっとり、言葉による見方・考え方を重視し、主体的・対話的で深い学びとなる学習を進められるよう工夫がされております。

東京書籍では、話す・聞く、書く、読むことの3領域において、学習の見通しと振り返りの過程を重視し、生徒目線でその観点を示しています。扉部分の「未来への扉」では、社会や自分の課題に向き合うことを学習のゴールとして意識させ、言葉

の力で自分や社会の未来を開く生徒の主体的な学びを実現するための仕組みがあります。

三省堂では、各教科の冒頭に示した学習目標によって見通しを持ち、最後に振り返ることによって、次の学びへの意欲が得られるように構成されています。読むことの教材に設けられた「学びの道しるべ」では、学習のプロセスが簡潔に提示され、生徒の主体的な学びを促す構成になっています。

教育出版では、小中高の学びの連続性を意識した教材が配置され、読み取りから考えの形成の流れを示した手引きが単元ごとに設定されています。生徒が学習の目標を明確に持って教材の読みを深め、最後に学びを振り返り、主体的に学ぶことができる構成になっています。また、教材の末尾に学びを生かす項目が設けられ、教科横断的に国語の学びを生活に生かす工夫があります。

光村図書では、全領域において、単元の学習の見通しから振り返りまでの流れと学習のポイントを「学びのカギ」に明確に示し、主体的・対話的で深い学びを実現する紙面構成となっています。資料編「学びのカギ」一覧や、デジタル資料「学びの地図」では、各領域の3年間の力の系統を把握することもできます。また、主体的に学習に取り組む態度の育成を重視し、各単元の「振り返る」では、自分の言葉で学びを価値づける場を設ける工夫が見られます。

私からは以上です。

委員長 ありがとうございます。ほかにご意見等ある方はお願いいたします。

山下委員 私からは、観点2、分量、装丁や表記、表現について申し上げます。

まず、三省堂ですが、巻末の100ページに及ぶ資料編が読

書、社会生活、参考資料の3点に分けて掲載され、幅広い国語に関する知識を身につけられると考えます。また、挿絵や写真がほどよいサイズと配色で大変見やすく、生徒が視覚的に資料の内容を理解しやすいと思われれます。

もう一つ、観点2で挙げたいのが、光村図書です。光村図書の図表はあまり彩色、色合いに頼ることなく、優しい色合いや濃淡、また形や線の種類で識別しやすく工夫されております。視覚特性への配慮があるのが特徴です。また、巻末の資料編には、古典や日本文学等が分かりやすい図版の資料とともに掲載されており、生徒の豊かな言語感覚を養い、表現力を高めるための優れた作品に3年間で多く触れることができると考えております。

委員長 ありがとうございます。

では、藤内委員、お願いします。

藤内委員 私も豊かな言語感覚や表現力を養うという点で、光村図書を挙げたいと思います。

光村図書では、巻末資料にとじ込まれた「語彙ブック」を活用し、各学年の「語彙を豊かに」の教材において、3年間で系統的に言語感覚を高め、語彙を増やすことができます。さらに、各学年それぞれ2か所、各3ページにわたって「読書案内」が掲載され、多種多様な作品に触れることで、生徒の読書への関心を広げ、生涯にわたる読書生活の基盤となるのではないかと思います。

委員長 ありがとうございます。ほかにご意見はございますでしょうか。

岡村委員 私は、4者の中で三省堂さんの「現代の国語」ですが、本文

は絵や文字のバランスがよくて、とても見やすく、読みやすい
と思いました。後半の資料編には、著作権の引用や話合いの形
式を選ぶなど、将来にもつながることが掲載されていたり、「辞
典を活用する」や「手紙・はがき・メールの書き方」など掲載
されていて、本文以外にも、こういうこともしっかり載ってい
て、いろいろ学べると思います。

以上です。

委員長 ありがとうございました。そのほかご意見がある方はいらっ
しゃいますか。

平林委員 私からは、観点3についてお話ししたいと思います。

本市の生徒には、根拠を明確にしながら自分の考えを話した
り、説得力のある文章を書いたりする表現力を身につけてほし
いと考えます。その点から、三省堂では、グループディスカッ
ションやプレゼンテーション、相手を意識して書く手紙・メー
ルや投稿文などの言語活動が充実しており、本市の生徒が社会
に生きる力を育むことができると思いました。

また、同様の観点から、光村図書では、SDGsと関連した
教材において得た知識を活用し、情報活用能力を高める情報整
理のレッスンを特設しています。さらに、話す・聞く領域に合
意形成に向けて話し合う、各領域に多角的に分析して批評文を
書くなどの言語活動が設定されており、他者と協働して課題解
決に向かうための思考力や判断力を高める工夫があると感じま
した。

以上です。

委員長 ありがとうございます。ほかにございませんでしょうか。ま
た、全体を通して何か付け加えとかご意見のある方がいらっ
しゃればお願いいたします。

各委員 なし。

委員長 では、ご意見がないようですので、次の書写に移りたいと思います。書写についてご意見がある方は挙手をお願いします。

澤野委員 書写の教科書は4者ございました。私からは、観点1について申し上げます。

まず、学習指導要領との関連において、4者とも書写での毛筆学習を日常の硬筆へと生かし、文字を書く力が身につくよう工夫された編集内容となっております。

具体的に申し上げますと、特に光村図書は、行書学習の初めに、苦手意識を持たせないよう、キャラクターを活用し、「行書スイッチ」のページをイラストと動画で示し、書体の特徴を確認しながら、生徒が分かりやすく、書字練習に取り組めるよう工夫しています。また、「日常に役立つ書式」では、学校生活や日常生活を多く題材に取り入れることで、総合的な学習の時間等の教科横断的な学びを実現する可能性も高く、より生徒が主体的に取り組み、学びを深める工夫があったと感じました。

三省堂は、資料編に「日常の書式」として、職場体験を題材に設定するなどしています。また、「書写の広場」では、文字の歴史や文化に触れ、手書きの味わいが感じられるように工夫されています。

東京書籍は、生徒目線で手書きの文字の意義を感じられるよう、「文字を『書く』って、なんだろう」のページを巻頭に設け、生徒の文字を書くことへの意欲を高める工夫が感じられました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。ほかにご意見のある方はお願いいた

します。

越委員 私からは、観点3についてお話しさせていただきます。

光村図書と教育出版は、教科書を開くと、少し違った視点から入ります。例えばポスターづくりやマップづくり、文字の歴史に触れ、またフォントや手書きのよさに漫画で触れるなどして、スマホやタブレットの普及により文字を書くことが少なくなった今の生徒たちには、大切な内容が詰まっていると思いました。

三省堂と東京書籍は、文字を書くときの姿勢と構え方から入り、字形の整え方、筆遣い、文字の大きさと配列などがシンプルに分かりやすく説明されていて、大変よかったですと思いました。日常の書式として、はがきや封筒の書き方、送付状、のし袋、願書、原稿用紙の書き方の説明もあり、日常の学習や生活に役立てる態度を育てるための工夫と配慮がされていると思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いいたします。

梶委員 私からは、観点2における構成と装丁について申し上げます。

4者とも、3年間の書写学習が1冊の教科書にまとまっていますが、光村図書は別冊の「書写ブック」がとじ込まれており、生徒が教科書で文字の書き方を確認しながら硬筆の練習ができるという作りになっていました。

また、教育出版は、正方形に近いA B判サイズとなっており、生徒が机の上で開きやすく、毛筆のお手本として半紙に対する文字の大きさや太さをイメージしやすくなっています。また、硬筆の書字の際にも書き込みやすくなるという工夫を感じまし

た。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

小澤委員 私からは、観点3について述べさせていただきます。

4者とも紙面に二次元コードが掲載されておりまして、毛筆の課題1つにつき1分程度の動画で、生徒を視覚的に支援する工夫がありました。それから、これは本市生徒の1人1台端末、クロームブックを活用した個別最適な学びの実現を可能としているんじゃないかと思いました。

特に光村図書は、各動画に解説のアナウンスがあって、さらに、上部だけでなく斜め左の角度から動画を撮影して、筆圧の強弱、運筆、筆の運びですね。細かいところも見てとれるようになっていました。光村図書はデジタル参考資料の豊富で、開いてみると、手書きとデジタル機器のそれぞれのよさや字を書く楽しさが感じられる工夫があったと思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見等あればお願いいたします。付け加え等もよろしいですか。

各委員 なし。

委員長 では、ご意見がないようですので、続いて、地理に移りたいと思います。地理についてご意見がある方は挙手をお願いいたします。

宮崎委員 私からは、観点1について、地理的分野の観点から、日本文教出版、東京書籍、帝国書院の3者について発言させていただきます。

きます。

まず、日本文教出版ですけれども、各節の末に「まとめ」と「ふり返し」がありまして、さらに、フィッシュボーンですとか座標軸などの様々なシンキングツール、いわゆる思考を深めるツールを使って、学習内容について生徒が多面的に、多角的に考察する工夫がなされていると思いました。

また、東京書籍ですけれども、「みんなでチャレンジ」のコーナーで、まず、自分の考えを持つところから始めて、その後に、発展的に小グループで話し合う活動を促していて、対話的な活動を通じて、ほかの人の考えを知り、様々な事象を多面的に、多角的に考察できるように配慮されていると思いました。また、東京書籍の冒頭に、見開きに世界の国々の食べ物がカラー写真で紹介されています。身近な食べ物と外国とのつながりを生徒に意識づけさせて、楽しみながら学ぶきっかけとなるのではないかと思います。

続きまして、帝国書院ですけれども、「○節の問い」という形で、各ページに必ずそれが記されております。常に学習の目標を意識することができるようになってきていると思います。同様に、節の末尾に、学習のまとめとしても、同じように「○節の問い」がありまして、章の学習を貫いて学習課題に取り組み、学びを深め、多面的、多角的に考察したり、表現する工夫があると思いました。「未来に向けて」のコーナーもまた、様々な現代的な課題を未来志向で考える工夫がされていて、生徒が社会科を学ぶ意義というものをしっかりと捉えることができると思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

澤野委員 私は、構成や装丁の観点で印象に残った教育出版、それから

帝国書院の教科書についてお話しさせていただきます。

教育出版では、カリキュラムマネジメントが意識されており、小学校との学習のつながりや社会科の他の分野、歴史や公民といった分野との関連が分かりやすく記載されていて、多面的に見たり、考えたりすることができる構成になっています。ページの色の配色は、淡い色を多く使っていて、目に優しいと感じる一方で、全体的に文字数が多いかなというふうにも感じました。

帝国書院の巻頭の「教科書を活用した学び方」は、分かりやすく項立てしているほかに、マークや絵を用いた枠の中に説明文が書いてあります。マークや絵を手がかりに、生徒がどのように学びを進め、どのような視点で考察すればよいのかが分かりやすく示されています。また、二次元コードを読み取ることにより、学習内容とリンクした見通しスライド、「図解アニメーション」や「学習を振り返ろう」、「アクティブ地理」などのワークシートを活用することができます。学習の定着を図ることや学びを深めることにつながるのではないかと思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかにもございますか。

窪島委員 私は、3番目の本市の生徒の実態や地域等の特性との関連の観点から、各者の地理の教科書を眺めてみました。

調査員がつくってくれたこの資料にも、二次元コードについての記載がございましたけれども、本市でも生徒が1人1台パソコンを使うようになっていきますので、この二次元コードからコンテンツにつながるということは非常に有用なのではないかなというふうに思っています。

各者の教科書の中では、特に東京書籍と帝国書院の教科書について印象に残りました。

東京書籍の教科書では、単元の学習、特に予習に使える「導入クリップ」、それから学習を振り返る「チェック&トライ」、映像資料「D-MOVE」、「なるほど！スキル・アップ」などが充実しています。教科書の見開き2ページを1時間の授業の中で使おうとすると、毎時間、この二次元コードを使うことができるというような形になっていました。

それから、帝国書院の教科書ですけれども、単元の学習の冒頭で利用できる「見通しスライド」、それから単元の終わりで利用できる「ワークシートなど」といったものが用意されていました。効果的に二次元コードを使って利用する場面が絞られているのだろうなというふうに感じました。

地理の授業においては、自分たちが実際には行ったことがない世界各地を見ていかなければいけない、学ぶことが多いということになりますので、これまでも授業の中では、写真や動画を教員がスクリーンに映して見せるというようなこともしていましたけれども、子どもたちが1人1台のパソコンを授業で使っているような今日、こういったものは非常に有効なのではないかなというふうに思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見、付け加え等あれば
お願いいたします。

各委員 なし。

委員長 では、ご意見がないようですので、続いて、歴史に移りたい
と思います。歴史についてご意見がある方は挙手をお願いいた
します。

佐々木委員 私は1つ目の観点について、印象に残ったところについてお

話しをさせていただきます。

まず、東京書籍についてですけれども、全ての見開きページの右側に年表が配置されています。現在、どの時代を学習しているのかが認識しやすくなっています。また、導入部に小学校で学んだ内容を用語や写真で振り返るページを設けていて、小中の学習の結びつきを意識しているなというふうに感じました。

次に、日本文教出版についてです。コラムの「先人に学ぶ」というところでは、先人がどのような課題と対面し、その解決に向けて、どのような取組をしてきたのかということを知ることができるようになっていています。道徳教育との関連を意識した工夫がされているなというふうに感じました。

次に、自由社についてです。各単元にコラムが置かれていて、歴史的事象の関連や背景に深く踏み込むことができると思いました。また、多面的、多角的に考察できるように工夫されているなというふうに感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いいたします。

宮崎委員 私も1つ目の観点、歴史的分野の観点から、東京書籍、教育出版、帝国書院の3者についてお話をさせていただきます。

東京書籍ですけれども、単元のまとめにおいて、くらげチャート、くま手チャートなどの思考ツールを使いまして、歴史的な事象を比較したり、相互に関連性を持たせて考えさせたりするというので、より深く多面的な視点で理解を促す工夫があると思います。また、「みんなでチャレンジ」は、話し合い活動を促し、多様な意見に触れながら、歴史的な事象を考察できるように組み立てられていると思いました。

教育出版ですけれども、巻頭に「歴史ゲームで遊ぼう」のコーナーが設けられていまして、小学校で学んだことを楽しみながら思い出して、興味を持って中学校の歴史学習に取り組めるように工夫されていると思います。また、見開き2ページの見出しが、他社の教科用図書と比べますと、特徴がありまして、例えば「楽浪の海中に倭人あり」ですとか、「クリスマスまでには帰れるさ」のように、学習内容を端的に象徴する表現になっているので、歴史的事象を生徒たちの目線で印象づけることができるよというふうに感じました。

帝国書院ですけれども、章の導入に「タイムトラベル」を設け、その時代の特色を象徴したイラストを使って、導入学習として、生徒の興味関心を引き出しやすいと思います。さらに、これらのページは、視覚的なところから実態をイメージしやすく、歴史的な見方や考え方を働かせる活動を通じて、生徒同士の対話が生まれ、もっと探究したいというような気持ちを芽生えさせたり、自らが主体的に学びに向かうという力の育成につながることを期待できると思いました。また、章末の「タイムトラベルを活用して振り返ろう。」ですけれども、その章全体を通じて様々な発見を促して、歴史的な事象を多面的に捉える活動につながると思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

繁里委員 私も帝国書院の「タイムトラベル」が印象に残りました。各時代の特徴をイラストの中から探す質問があったり、グループの中で対話ができるテーマがあったりと、このイラストを使って、主体的・対話的で深い学びができる題材だと思いました。今、学習している内容の時期や時代がすぐに分かる年表が各ページにも配置されているのが特徴でした。

もう1者、育鵬社についてお話しします。各章の導入部分において、小学校の振り返りをしながら、これから学ぶことをイラストを使って分かりやすく図示してある鳥の目で見ると歴史絵巻が目を引き、さらに、次のページにある「虫の目で見ると」を使い、その時代の特徴を考えることができるように工夫されていました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほか、窪島委員、お願いいたします。

窪島委員 これは2番目の観点になるのかな。今回の歴史の教科書では、A B判を採用している教科書がとても多い中で、そうではない判型を採用している教科書も幾つかあったんですけども、自分が注目したのは、学び舎でした。1ページ当たりA4、だからA判を採用していて、すごく資料や記述が豊富に盛り込まれているなというふうに感じました。それぞれの章の最初には、北極を中心とした世界地図が描かれていて、その時代、その時代の世界各地の様子を表す写真とか絵が配置されていて、なかなか面白い工夫だなというふうに思っています。

それから、観点1の構成にもなるのかな。帝国書院の教科書については、今、宮崎委員や繁里委員もおっしゃっていましたが、けれども、「タイムトラベル」というコーナーが章の初めに設けられていますけれども、資料となる絵がそれぞれの時代の特徴を子どもたちから眺めさせて、読み取らせることを一貫して行っていました。この絵がすごくいいんですね。生徒が絵から何を気づけるのか、気づくことができるのか、教えるほうもわくわくしてくるような作りになっています。併せて、この教科書のところどころにも見られる「世界とのつながりを考えよう」というのも、地図やイラストから日本と世界を一緒に考えるこ

とができて、とても有効であるかなというふうに考えました。
以上です。

委員長 ほかにご意見のある方、お願いいたします。

岡村委員 私は、日本文教出版の「中学社会」が目にとまりました。各ページに二次元コードがあり、一遍ごとに、最初に「どんな学習をするのかな？」というところから始まっていて、学習課題の欄では、何を学んでいくのかの学習の見通しが持たせてあったり、最後に、確認と表現欄で確認ができ、自分で振り返りをして、しっかり考えて学習できる構成になっているなど思いました。
以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方、お願いいたします。

佐々木委員 2つ目の観点についてなんですけれども、引き続きなんですけど、山川出版社の「8世紀の世界」という見開きの2ページのコーナーが章の初めに構成をされています。地図やイラストなどが掲載されているんですけれども、その時代の世界の様子が視覚的に捉えることができ、学びが広がるのではないかと感じました。
以上です。

委員長 そのほかございますでしょうか。

繁里委員 ②の観点について、東京書籍、帝国書院ともに、分量、書体も適切で、各ページとも、3分の2程度がイラスト、写真で構成され、ユニバーサルな視点にも配慮されており、生徒が読み

やすく、理解しやすい構成になっていました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

佐々木委員 観点の3つ目の部分について、印象に残ったところをお話し
します。

帝国書院についてなんですけれども、現在学習している単元
が、小学校ではこの単元、また、ほかの分野ではこの単元と、
関わりがある部分がページの下に示されています。以前に学習
したことを振り返ることができたり、また、ほかの分野とも関
連して、多面的、多角的に捉える機会となるよう工夫されてい
ると感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いし
ます。

宮崎委員 私も、観点3の本市の生徒の実態や地域の特性等との関連と
いう点からお話をさせていただきます。

東京書籍ですけれども、一遍聖絵ですとか後醍醐天皇の肖像
画の所蔵場所として、神奈川県藤沢市の清浄光寺と記載されて
いるところから、歴史を身近に感じることができると思います。
また、「地域の歴史を調べよう」というところは、それぞれの地
域から見た歴史を捉える学習が可能で、歴史を様々な角度から
考察する工夫があると思いました。特に、本市の生徒が3年時
に修学旅行で広島を訪れることがあるんですけれども、見開き
2ページで広島を特集してしまして、広島は原爆というような
従来の学びから一歩進めて、被爆建物をどう保存し、継承して
いくかという切り口で、これからを生きる生徒に考えさせるた

めの題材になっていると思いました。

教育出版ですけれども、やはり「福岡の市」というものに『一遍上人絵伝』清浄光寺〔遊行寺〕蔵と明記されていまして、こちらにも歴史を身近に感じることができるとともに、同時代の別の資料を見て、見比べるという活動があります。資料を用いて当時の産業や経済の発展の様子を類推したり、考察したりすることの歴史的意味というものを学ぶことができるのではないかと思います。

また、令和書籍ですけれども、こちらは基本的な内容の学習にとどまらず、より高い知的な探究を手助けする構成になっているなというふうに思います。特に巻末の資料は、カラー刷りで大変見やすく、各時代ごとの歴史地図がありまして、歴史の流れを地理的な観点から理解するために大変効果的だと思しました。

最後に、帝国書院ですけれども、こちらにも一遍聖絵や後醍醐天皇の肖像画の所蔵場所として神奈川県藤沢市と記載されていて、歴史を身近に感じることができます。また、本市の生徒が鎌倉巡りですとか横浜巡り等の校外学習で訪れる機会が非常に多い鎌倉市、横浜市の特集ページがありまして、歴史的分野を学ぶことの意義というものから考えても、実際に歴史の舞台に立って考えたり、感じたりする学びを実現できると思しました。一方、中学生はまだまだ抽象的な概念形成が未熟な生徒が多いんですけれども、帝国書院の「世界とのつながりを考えよう」や「歴史を探ろう」は、先ほどの窪島委員のご発言にもあったと思しますけれども、視覚的な資料が多く用いられていて、大変具体的なイメージを持って学びを深める学習が可能かなというふうに思いました。

以上です。

委員長

ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いい

たします。付け加えも含めて何かありますでしょうか。

各委員 なし。

委員長 では、ご意見ないようですので、続いて、公民に移りたいと思います。公民について何かご意見がある方は挙手をお願いいたします。

宮崎委員 私は、観点1について、公民に関わる視点から、各者の教科用図書を見させていただき、感じたことをお話ししたいと思います。

どの者の教科用図書も、中学校卒業後に公民として生きる生徒たちを意識して、現代社会の見方、考え方を養い、現在の予測困難な未来を生きるための思考力や判断力、表現力を育成するための配慮がなされていると思います。また、社会的事象について、生徒が多面的、多角的に考察して、意見や考えを表現できる力を育むための工夫がされています。例えば、ディベートですとかロールプレイ、シミュレーション等の活動は、ほかの人との対話を重ねていく過程で、生徒が自ら積極的に社会に参画していくという意識を育むために大変効果的であると思いました。

二次元コードについてなんですけれども、各者ともに得られる情報には大変工夫があり、多様なコンテンツにつきましては、1人1台端末を活用できる学習活動によって日々の授業をサポートすることができますし、さらに家庭における学びの広がりを期待することができます。

特に帝国書院ですけれども、「アクティブ公民」、そして「図解アニメーション」が示されていて、学習内容の定着や学びの深まりに活用できる動画などがとても分かりやすいと思いました。帝国書院の「パン屋さんをつくろう」は、出店する計画の

立案、それから出店地の選択、従業員募集など、生徒が興味関心を持って取り組むことができる内容となっていて、これは、やがて社会に出て、その形成者になるために必要な公民的な資質を体験的に学ぶことができると思いました。

以上です。

委員長 窪島委員、お願いいたします。

窪島委員 自分も、多分、これは1番目の観点でしょう。編修の趣旨と工夫、あるいは公民に関わる全体的な観点から教科書を見てみたのですけれども、3者が印象に残りました。東京書籍、帝国書院、教育出版、この3者です。

まず、東京書籍なののですけれども、「18歳へのステップ」というコーナーを設けています。18歳を意識した教科書はほかにも幾つもあるのですが、東京書籍については、特に主権者意識を高めるとか、主体的に社会に参画するといった態度を養う、これは公民にどうしても課せられた学習ということになりますけれども、非常に意識づけることができているんじゃないかなというふうに思いました。中学校3年生は義務教育最後の年ですから、このコーナーを充実させるということは、非常に好印象が持てるかなという気がします。

それから、帝国書院ですけれども、各単元の学習の冒頭に「学習の前に」という大判のイラストがありました。社会の仕組みとか制度、あるいは現実の生活を結びつけて考えたり、発見させたりしようとする、そういう意図が感じられます。公民の授業が苦手だという生徒でも、イラストから学習内容を考えることができ、意欲の喚起にもつながるものかなというふうに感じました。実際に自分も授業で使ってみたいなというふうにも思ったものです。

最後に、教育出版ですけれども、ほぼ最初のページなるのか

な、「教科書の使い方」というふうなページがあるのですが、このページは、使っている生徒たちをこの教科書に導いてくれるようなキャラクター、6人、キャラクターが描いてあるのですけれども、このキャラクターが、男子、女子はもちろんですけれども、車椅子に座っている子であるとか、あるいは名前が片仮名で書かれている子、眼鏡をかけている子とか、そういった人権を尊重しているというのでしょうか、多様性を認め合うことが求められている今の時代に、こういったキャラクターについては非常に意識がある教科書なのかなというふうに思いました。

以上になります。

委員長 ありがとうございます。そのほか、ご意見のある方。

大石委員 私は、分量・装丁・表記等に注目して見たんですけれども、どの教科書においても、1授業時間で扱う内容が見開き2ページにまとめられていました。なので、学習計画を立てやすくなるよう工夫されているというふうに感じました。

そのような中でも、特に帝国書院では、重要語句を示すゴシック体の太さですとかルビを工夫するなどの配慮がありまして、配色についても、色覚に配慮した識別しやすい色使いとなるように工夫がされています。イラストや写真なども見やすく、興味を引くものが多く、資料も具体的で分かりやすいなというふうに思いました。

また、育鵬社においては、振り仮名にゴシック体を用いまして、読みやすくなるような工夫があります。資料やグラフについては、テーマごとに分けられているので、見やすくなっているなというふうに思います。また、章の初めに掲載されており、二次元コードを利用することによって、学習内容に関連する動画に簡単にアクセスできるように配慮されているなという

ふうに感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見ある方、お願いいたします。

平林委員 同じく観点2について、補足をさせていただきます。

東京書籍は、使用されているグラフや地図などの資料が色覚的にとても配慮されています。イラストなども伝えたい内容がシンプルに表現されていて、生徒が理解しやすいような工夫がされています。また、二次元コードを利用して、学習内容に関連する他の教科の教科書などが簡単に参照できるように配慮されていると感じました。

自由社は、細かいところになるかもしれませんが、索引が6ページにわたり、項目が細かく掲載されており、生徒が復習したりする際に、非常に利用しやすくなっているなど感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほか何かございますでしょうか。

宮崎委員 私は、観点3の本市の生徒の実態や地域等の特性との関連というところから、印象に残った3者について申し上げます。

帝国書院ですけれども、扉の写真に江ノ電が載ってしまっていて、これは本市の生徒は素直にうれしいというふうに感じると思います。また、国際教室で学ぶ多国籍の子どもたちですとか、選択できる学校制服というような写真が大きく扱われていて、本市でも身近に接することの多い話題を丁寧に取り上げていて、多文化共生ですとか、多様性の尊重などの課題について、自分のこととして考え、社会とのつながりを意識できると思いました。

東京書籍は、全てのページに二次元コードが掲載されています。生徒が持っているクロームブックで読み取ることができるので、必要に応じて授業で活用したり、探究学習に活用することができて、より幅の広い学びが可能になるかなというふうに思いました。

最後に、SDGsについてですけれども、現在、世界的な取組となっていることから、どの者のご意見も大変工夫のある切り口で扱われていると思いました。

中でも日本文教出版は、藤沢市の片瀬海岸清掃の写真が記載されていて、より身近な課題として取り組むことができますし、生徒が実際に行動を起こすきっかけになるということも期待できると思いました。点字が施されていたりなど、バリアフリー等についても実感を持って学ぶことができる工夫がされていると思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。付け加え等も含めてよろしいですか。

各委員 なし。

委員長 では、ないようですので、続いて、地図に移りたいと思います。地図について何かご意見のある方は挙手をお願いします。

柴山委員 どちらの地図帳も、それぞれ産地や産業などのイラストがしっかり事細かく描いてあって、本当に見ていて楽しかったです。また、それぞれ有名な建物などもしっかり描かれており、普通の地図帳ではありますけれども、いろんな視点から学ぶことができるんじゃないかと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。

宮崎委員 帝国書院、東京書籍の双方について、地図、そして社会科に係る観点からお話を申し上げます。

帝国書院は、主題図が大変豊富に掲載されていて、主食や気候の関わり、あるいは工業生産と人口集中なども関連させて考察することができる構成になっています。また、「世界の州」では、ページによっては、日本との結びつきについてまとめている主題図がありまして、世界と日本との関連を読み取ることができる工夫があります。また、一般図においての色の違いが、土地利用ですとか高低差をイメージしやすく、工夫されています。また、地理的分野の学習だけではなく、歴史的分野や公民的分野の学習にも利用できる資料や写真が大変豊富で、中学校3年間を通じて活用できる、そういった工夫があると思いました。特にSDGsについては、地図帳の巻頭7ページで集中して扱っています。環境ですとか脱炭素、食料、紛争など、社会科の様々な観点からの学習に活用できるようになっています。

東京書籍の地図につきましては、1つのページで大変多くの情報に触れることができまして、地図帳を開いただけで、そこからこんな事象も、こんな事象もというふうに、学びの連鎖が生まれやすいと思いました。さらに、巻末の統計資料についてですけれども、両者とも必要な情報を最新データで扱っているのですけれども、東京書籍の日本の都道府県別統計が活用しやすく、産業別人口の比率ですとか人口構成の割合がグラフ化されていて、地域の特色や課題を考察しやすいので、社会的な見方や考え方を働かせる学習においても活用できるかなというふうに思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見ある方はお願いいたします。

山下委員 私は観点2の構成や表記について申し上げたいと思います。
まず、帝国書院なんですけれども、地図から得られる情報が精選されておりまして、必要な情報を見つけやすくできているかなと思いました。また、こちらの市の調査資料のほうにも書いてありますけれども、主題図と併設した鳥瞰図がございまして、生徒の興味関心を高めるだけではなく、地理的な見方、考え方を身につけられるような工夫が見られました。また、見やすさなどから、現場の先生方からの評判もいいようです。そのように聞いております。

一方、東京書籍なんですけれども、こちらは断面図を掲載している地点がここからここまでだよというように線で示されておりまして、生徒が地理的な位置関係を理解しやすいように工夫されておりまして、また、写真資料では、新旧の比較をしながら考察する学習が進めやすい、そういう構成になっておりました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますか。

窪島委員 私は、本市の生徒の実態や地域等の特性の関連、この3番目の観点から、藤沢市の修学旅行であるとか防災といった視点から、両者の地図を眺めてみました。防災だと、市の調査資料だと、1番目の観点にあるんですけれども、あえて自分は3番目の観点から考えてみました。

本市では、修学旅行で京都や奈良のほうに行く学校が多いほかに、平和学習で広島に行く学校もあって、そのあたりから、

この両者の地図帳を比較してみたところ、どちらの地図にしても、京都市、奈良市、そして広島市については、5万分の1の地図があって、主要な神社仏閣、そういったものについてはイラストが表示されていますし、非常に見やすいなというふうに感じました。先ほど柴山委員もおっしゃっていましたが、このイラストもなかなかいいなというふうに感じました。見やすいです。

東京書籍では、京都市の東山区が載っていましたが、帝国書院では、奈良県の明日香村とか斑鳩町辺りも載っていて、すごくかゆいところまで手が行き届いているんじゃないかなという感じがします。

帝国書院のほうでしたけれども、「地図で発見！」というコーナーがあって、修学旅行に関連して見ると、京都や奈良に加えて、大阪、兵庫、滋賀といった関西方面の主な歴史・文化・観光地が示されたページを見ながら、観光地巡りをしてみよう、そういう計画を立ててみようというふうな作りになっていました。実際、本市の修学旅行では、奈良で班別行動をしながら京都に戻るとか、あるいは、京都で班別行動で回った後、滋賀県の大津市の宿に戻るといった行動を行うことも最近多く見られていますので、修学旅行では、これは利用できるんじゃないかなというふうに思いました。

次に、防災についてですけれども、両者の地図とも、自然災害、あるいは防災に関するページがしっかりとあるほか、それぞれ地方のページにも、各所に防災に関する資料が組み込まれていました。本市は相模湾に面していて、富士山を仰ぎ見ることができるという場所にありますが、逆に、それだけ地震とか津波、火山の噴火といった災害に備えなければならないと思います。

帝国書院の地図ですけれども、日本の地震と火山の分布の資料、それから富士山の降灰の予想、南海トラフ地震の資料もあ

って、これも本市の防災教育でも利用できるのではないかなというふうに感じました。

以上になります。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。

各委員 なし。

委員長 では、続いて数学に移りたいと思います。数学についてご意見がある方はお願いいたします。

繁里委員 私のほうからは、観点1、学習指導要領との関連という点について話したいと思います。

それぞれ7者とも、数学的活動を通して、单元ごとに主体的・対話的で深い学びについて実現できるように工夫されていると思いました。

具体的に、各者のお話をします。

東京書籍は、单元を貫く題材の設定が多く、ストーリー性のある題材構成で学ぶ意欲を高め、導入の題材を本文の中で解いたり、さらに深めたりできるような内容になっています。

大日本図書では、問題発見から解決までの流れが示されていることと、その過程を振り返ることができるような構成になっています。

学校図書は、常に話し合い活動を取り入れ、その話し合いから学習の目標を立てることで、対話的な学びが実現できるように工夫をされていました。

教育出版は、学習しながら、問いを持って学習が進められるようになっていきます。

啓林館は、全ての節の先頭にある「学習のとびら」では、そ

の節の学習を進めれば解決できる身の回りの問題を取り上げているため、学ぶ楽しさや意義を実感できるようになっていました。

数研出版は、対話形式で掲載される題材が多く、「同じように考える」、「具体的な数で考える」といった考え方を何度も示しているため、自然とその見方、考え方が身につくようになっていました。

日本文教出版は、巻末の「SDGsと数学」、「数学を仕事に生かす」、「数学研究室」、「プログラムと数学」など、数学が活用されていることを知ることのできる構成になっていました。

ということで、7者全てが学習指導要領の学びの実現に力を入れていると感じました。

そんな中で、東京書籍は、子どもたちが学びやすいように問題を発見し、見通しを立て、解決までの過程を振り返ることができるように構成されていました。「深い学び」のページですが、このページを中心に、日常生活や社会の事象に関わる問題発見、解決の過程に沿った活動が多く、数学と生活が密接な関係であるということを学ぶことができるような構成になっていました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見ある方。

藤内委員 私は、内容と構成の工夫について、3者についてお話ししたいと思います。

まず、東京書籍です。問題発見、解決の過程を意図した「深い学び」のページ、これは先ほど繁里委員も取り上げていましたけれども、こちらのほうがほぼ全ての章に設けられていて、論理的に考察し、考えを表現する機会が多く設けられています。また、巻末の「学びのマップ」では、3年間の内容のつながり

を確認しながら、振り返りができるようになっています。さらに「学びのベース」では、問題を解いたり、フラッシュカードで反復練習ができるようになっていて、生徒が学びやすい構成になっています。

啓林館につきましては、単元末の「章のあしあと」で、分かったこと、できるようになったこと、さらに学んでみたいことをまとめる場面があって、生徒が自らの学びの深さを確認して、次の学びに進むことができるようにしています。

また、大日本図書ですけれども、章や節の導入では、問題発見、解決の流れを意識させることで、自然と論理的に考察する力と考えを表現する力が身につくようになっていきます。

以上です。

委員長 ありがとうございます。ほかにご意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。

佐々木委員 私のほうからは、2つ目の観点であります分量と装丁、表記についてお話をしたいと思います。

どの者も二次元コードが配置されていて、予習復習や反復練習など、子どもが自分で学習できるように配慮されているなと感じました。

学校図書についてですが、適切な内容、分量の問題であり、「計算力を高めよう」では、家庭学習や計算練習で活用できるようにしています。

次に、日本文教出版についてですが、節の最後に「基本の問題」、章末には基礎から標準的な問題である「章の問題」、そして、難易度の高い「とりくんでみよう」を設けていて、多彩な問題を出題しているなと感じました。

東京書籍については、節ごとに基本の問題があったり、補充の問題では少し難しい問題も扱い、段階的に身につくように配

置されていると感じました。また、吹き出しや補助発問に「同じように考えると」とか「それなら」という文言をつけて、学びのつながりを子どもが自覚できるようにしていると思います。さらに、装丁、表記については、色使いを整えて、色覚特性に適用できるカラーユニバーサルデザインにされていますし、ルビなどの小さな文字には、見やすくするためにユニバーサルデザインフォントを使っています。

最後に、数研出版についてですが、グラフや図を描く問題について、教科書に書き込みやすくなるように、本の外側にその図を配置するという配慮がされているなというふうに感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。

小澤委員 私は、観点3についてお話をさせていただきます。

昨年度、もしくはそれまでの学習状況調査の結果を見ますと、数と式に関する問題の正答率に比べると、図形に関する問題の正答率が低いということで、学習状況調査は3年生ですけれども、1年生、2年生も同じなのではないかなと感じております。計算はできるんだけど、数や図形についての考察や証明について課題があるのではないかとということです。生徒同士が自分の意見を話し合う活動を通して、また、多様な考え方を認め合う場面を設定することで、物の見方、考え方を身につけることができるのではないかと思います。

私が特にとと思った3者についてお話をさせていただきます。

1つは東京書籍ですね。東京書籍は、デジタルコンテンツの中に「対話シート」というものが用意してあって、生徒一人一人が主体的に自分の考えを表したり、ペア学習、グループ学習、

それから教室全体でも意見共有がしやすいように工夫されていたなと思いました。

それから、次に、教育出版は、協働的な学びの場面として、各章の始まりに、「Let's Try」という導入問題、課題があって、さらに活用の場面のところでは、「学びのプロセス」ページというものが準備されていました。生徒の生活に身近な題材で、対話的な学びが促されるのではないかと感じました。

最後に、学校図書ですけれども、学校図書も身の回りの生活の中から課題を発見して、その発見した課題を数学の問題に置き換えて、生徒同士の話し合いを行うページが設定されていました。

以上3者とも、それぞれの学習内容を通して、先ほどお話ししました学習状況調査の結果で表れている課題について改善することができるのではないかと感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いいたします。付け加え等も含めてよろしいでしょうか。

各委員 なし。

委員長 では、ないようですので、続いて理科に移りたいと思います。理科についてご意見がある方は挙手をお願いいたします。

平林委員 では初めに、内容・構成、理科に係る観点について述べさせていただきます。

いずれの教科書も、全ての観点において十分に配慮がされていると感じました。特に3年間を通して、科学的に探究する力の育成が図られていること、情報活用能力の育成やICTに対応した工夫がされていること、安全に実験、観察するための注

意事項や基本操作が図入りで丁寧に説明されていること、日常生活や社会との関連等が掲載されていて、理科の有用性や自然科学への興味関心を高めるための配慮がされていること、理科の教科書としてはなくてはならない観点に対して工夫と配慮がされています。また、実感を伴った理解をしやすくするための工夫や、より深く学びたい生徒にとっての補充資料として、適切に発展的な内容が掲載されています。

そのような中で、学校図書は、生徒の真理を追究する態度を育成することに重きが置かれ、生徒が科学的に思考する、課題を科学的に解決するために必要な知識、技能が詳しく解説されています。例えば、誤差や有効数字の説明が丁寧で、生徒がデータを計算機やパソコンで計算すると多く出る小数点以下の数字を、有効数字を意識して適切に処理ができるように、丁寧に解説されています。

また、学校図書や教育出版では、学習内容を生徒に身近なもの、基礎となることから配置していて、後続の学習内容の理解がしやすくなるように配慮されています。例えば、植物の学習では、まず、植物の器官・組織の作りをしっかりと観察してから、光合成の仕組みを探究する流れとなっていて、光合成をより体の作りをイメージしながら理解ができるように配慮されています。

大日本図書では、日常生活や社会に関連する事柄を多く掲載し、生徒が科学を身近に感じることができるよう配慮されています。また、教材の生徒の身近な基礎となることから配置して、後続の学習内容の理解がしやすいように配慮されています。例えば生徒が小学校で扱った豆電球を利用して回路の学習をしてから電流と電圧の関係、電流と磁界の関係、最後に、電子、放射線について理解する流れとなっています。

啓林館では、学習内容をより深く理解できるよう、内容に関連する事柄を多く掲載し、日常生活、社会、他教科との関連に

触れやすく配慮されています。また、生徒が主体的に、科学的に探究することを意識した構成となっています。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見ある方はお願いいたします。

柴山委員 私は、啓林館の教科書に注目しました。観察と実験の目的、方法、結果、考察までの工程が一目でまとめて分かるように記載しており、子どもたちが実際に観察や実験をした際にスムーズに取り組むことができるのではないかと思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見ある方。

越委員 観点1の内容・構成、教科・種目別の観点からお話しさせていただきます。

啓林館、申し訳ありません、柴山委員と一緒に、「考えてみよう」、「ためしてみよう」、「なるほど」、そして「つながる学び」というコーナーが各単元で出てきます。「ためしてみよう」では、ほとんどの実験が身の回りや日常生活の中の身近にある材料で、やりたいと思ったら、すぐその場でできるものが多く、自らの力で知識を獲得し、理解を深められる工夫や配慮がされていると思いました。また、使用されている写真が美しくダイナミックなものが多く、見入ってしまいました。

そのほか教育出版の「中学理科」は、使用されているマークがとても分かりやすく、課題の解決に向けて話し合ったり、考えたり調べたりする場面がよいタイミングで出てきて、より深く興味や関心を持ち、生徒が学習できるようになっていると思いました。そして、ほかの教科で学習する内容との関連がある

ものには、その表示がしっかりされており、学ぶということのつながりや探究する力の育成が図られているところに配慮をされていると感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございました。そのほかご意見ある方はいらっしゃいませんか。

山田委員 私からは、構成、表記、表現等の観点から述べさせていただきます。

東京書籍は、美しい自然科学に関する画像を多く掲載し、生徒の興味を高める工夫がされていると思います。国際単位系にも触れ、生徒が納得して学習できるように配慮されています。また、本文の説明が生徒にとって丁寧で理解しやすくなっています。例としては、先に日本の天気の特徴づける気団の性質を丁寧に記述した上で、移動性高気圧の発生場所が中国大陸の南部であることに触れて、春、秋の天気の特徴を考察しやすくなっています。

また、啓林館は、実験の手順や結果の整理の図や写真がカラーで大きく見やすくなっています。また、生徒が理解しにくい内容についての説明が丁寧です。例えば、力を記述する場合は、何が何に、どちらの向きに、どのくらいの大きさに加えられている力を記述することが重要であるということを分かりやすく説明しています。

次に、対話的な学びを意識した構成という点から述べさせていただきます。

教育出版と大日本図書は、教科書の随所に生徒に考えさせるような吹き出しのイラストを入れたり、「話し合おう」という項目が設定されており、生徒が科学的に説明したり、生徒間で考えを交流したりする活動を進めやすく配慮されています。

最後に、使いやすさという観点で補足させていただきます。

学校図書は、全てのページの決まった場所に二次元コードが配置されており、いつでも簡単に関連する資料にアクセスできるように配慮されていて、とてもよいと感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほか、藤内委員、お願いします。

藤内委員 私のほうからは、本市の生徒の実態や地域等の特性との関連についてお話をしたいと思います。

藤沢の子どもたちは、科学少年団等で小学生から自然科学に親しんでいる生徒が多くいます。また、身近に海があり、箱根には火山、相模原にはJAXAがあるなど、科学的に探究する力を身につけることで、生徒はより主体的に学ぶことができる環境にいます。そのような藤沢の子どもたちにとって、科学的に学習することを意識して編修されている学校図書の教科書は適していると考えます。

以上です。

委員長 そのほかございますでしょうか。

平林委員 先ほども申し上げたとおり、全ての教科書が非常にすばらしくできているなど思うのですが、そのような中でも、探究の過程が分かりやすく配慮されていて、実験、観察の説明の図や写真が分かりやすい、また、山田委員が指摘されているように、重要な箇所の本文の説明がとても分かりやすく、発展的な内容も適切に掲載されている啓林館の教科書もまた、本市の生徒に適していると考えます。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見ある方はお願いいたします。よろしいでしょうか。

各委員 なし。

委員長 では、理科までの審議を終了といたしますが、1時間以上経過しておりますので、ここで10分間ほど休憩を取りたいと思います。事務局より、この後の動きについてご説明をお願いいたします。

事務局 それでは、傍聴者の皆様にご連絡いたします。傍聴者の皆様は後ろの扉から出たところにあるお手洗いをご利用いただければと思います。3時になりましたら審議を再開いたしますので、再開の3分前の時間にはご着席いただければと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、休憩といたします。

午後2時51分休憩

午後3時01分再開

委員長 それでは、ただいまより審議を再開したいと思います。

先ほど理科まで終了いたしましたので、音楽（一般）から審議を再開したいと思います。

では、音楽（一般）につきまして、ご意見がある方は挙手をお願いいたします。

大石委員 それでは、音楽（一般）について、私からは学習指導要領との関連という視点からお話しさせていただきます。

まず、音楽（一般）の教科用図書は2者なんですけれども、2者とも演奏や鑑賞、創作活動の場面で、他者と意見を交換し

ながら発表したり、それからグループで表現方法を考えたりするなどの課題を提示する作りとなっています。それにより、主体的で対話的な学習展開の下、思考力、判断力、表現力の育成が図られるよう工夫されています。

両者ともよく吟味されてつくられているなというふう思うのですが、特に学習指導要領の内容に即した形で、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」を身につけるのに効果的に活用できるのは、教育芸術社だと思います。

学習の狙いや共通事項との関わり、それから、教材で考えさせたいポイントなどの説明がとても丁寧になされています。さらに、具体的な例示も多く、音楽科で育成する資質・能力が確実に養われる授業づくりに有効であると考えます。教材によっては、主体的・協働的に音楽のよさを味わう学習展開が図られるような「学びのコンパス」というワークシートのようなものも提示されており、段階的に学習できる作りになっていると思いました。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見ある方はお願いいたします。

梶委員 私は、観点2についてお願いします。

両者とも、歌詞などの文字が読みやすいユニバーサルデザインに配慮された紙面になっていると思います。

特に教育芸術社なんですけれども、親しみやすいキャラクターが音楽活動を楽しむ様子が描かれ、生徒の関心を引く工夫がされていると思いました。

また、教育出版ですが、歌唱、鑑賞、創作教材のカテゴリーにそれぞれ基調となる配色があり、歌唱教材の風景写真などが美しく配され、曲の抒情を豊かに想像させると感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

宮崎委員 私からは、観点3の本市の生徒の実態や地域との関わりという観点からお話をいたします。

教育芸術社ですけれども、音楽をより深く学びたいという生徒の学びに対応できるように、豊富な情報量と詳細な説明が掲載されていると思えました。1年生の「浜辺の歌」ですけれども、調査資料にもありますけれども、作詞者のゆかりの地である辻堂海岸の風景写真に江の島も写っておりまして、目を引きます。生徒が歌を通して本市の美しい自然に対する思いというものを高めることができるのではないかと思います。また、先ほど大石委員の発言にもありましたけれども、「学びのコンパス」を活用しながら、1年生の段階で、本市に関わりの深い楽曲を学び、それを通して音楽に対する感性、音楽に親しむ態度を育むことができる構成は大変効果的だと思えました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

各委員 なし。

委員長 では、ご意見がないようですので、次の音楽（器楽合奏）に移りたいと思います。音楽（器楽合奏）につきましてご意見がある方はお願いいたします。

大石委員 まず、観点1について注目して、感じたことを述べたいと思います。

両者とも、生徒が主体的に取り組み、学びを深めていけるよ

う工夫されていると思います。また、どちらも専門家のアドバイスを生かしながら、様々な楽器に触れる機会を提供しています。

教育出版ですけれども、ギターについては奏法に合わせて練習曲がありまして、生徒がスムーズに取り組めるようになっています。また、太鼓については打ち方と構え方の説明が詳しくされておりまして、図も多いので、とても分かりやすくなっています。

教育芸術社につきましては、演奏についての説明が丁寧で、写真が大きくて分かりやすくなっています。それぞれの楽器につきまして詳しい奏法の動画もついていますので、生徒が無理なく取り組めると思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

佐々木委員 それでは、私は2つ目の観点の表記や表現についてお話ししたいと思います。

両者とも、構成については、各楽器のページで基礎的なことを学習して、巻末の楽曲において難度が上がるものに取り組めるというようになっています。学習を積み重ねながら、技能を習得できるように工夫されていると思います。

そして、教育芸術社については、五線の太さや音符の大きさ、それから段やページの区切りが見やすいなというふうに感じました。また、ギターのダイヤグラムの表記が奏者側からの視点となっていて、子どもたちにとって分かりやすいなというふうに感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見がある方はお願いい

たします。

梶委員 では、観点3についてお願いします。

教育出版と教育芸術社、どちらも本市の生徒の発達段階に合わせて演奏できるよう工夫が多々見られます。

特に教育芸術社は、様々なジャンルの音楽を取り入れており、クラシックだけでなく、幼少時に耳にするような楽曲や現代のゲーム音楽など、親しみやすい曲が多く、生徒が演奏練習に主体的に取り組めるのではないかと感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。

各委員 なし。

委員長 では、ないようですので、続いて、次の美術に移りたいと思います。美術につきまして、何かご意見がある方はお願いいたします。

澤野委員 美術は3者ございます。3者とも自分の生活や社会生活の中で造形的な見方や考え方を働かせて、美しいと感じるものに触れ、美術文化と豊かに関わる資質や能力を含むことを目指した題材を取り扱っています。

光村図書は、題材ごとに鑑賞、表現の順に構成されています。「みんなの工夫」という項目があり、自分ならどのように表現するだろうと生徒たちに主体的に考えさせる工夫が見られます。また、説明がない作品を大きく取り上げて、生徒自身が感じる印象やイメージを持たせた後に、鑑賞ページを設けて、作品についての解説を掲載しています。造形的なよさや美しさ、

表現の意図と工夫などについて、生徒が自分で考える力を育てる、そのような構成になっています。また、資料集が別冊になっていて、作品を作るための技法や、色や素材についての解説があるほか、発想や構想を練るための方法も示されています。生徒の表現したいという気持ちを形にするために必要な知識や技能が1冊にまとまっているのがよいなというふうに感じました。

開隆堂の鑑賞のページも、初めに作家の作品、次に生徒の作品を紹介し、最後に解説や制作過程の説明がレイアウトされています。鑑賞して、自分の作品のイメージを持ち、具体的な制作手順を理解しながら、学習を進められるように工夫されています。

日本文教出版は、生徒自身の身近な生活や社会と関連づけて学べる題材が多く掲載されています。デザインや工芸の分野では、使う人の立場に立った分かりやすいロゴやマークを制作したり、そのマークを使って日本手拭いを作ったりするなど、生活の中で、ロゴやマークが様々な形で利用されていることが分かりやすく紹介されています。暮らしやまちづくりをテーマにした單元では、よりよいデザインや工夫について意見を出し合い、協力しながら、暮らしを創造するプロセスを学べるようになっていきます。自分たちが未来をデザインするんだという意識を持たせやすいのではないかと思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いします。

越委員 3者ともに、表現と鑑賞の領域が明確に分かれていて、大変よいと思いました。また、学習の目標として、身につけたい3つの目標である知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習

に取り組む態度が單元ごとに分かりやすく記載してあります。

特に、日本文教出版の教科書は、「表現のヒント」が丁寧に記してあるため、鑑賞の後にスムーズに表現に入ることができます。鑑賞の題材に自分らしい思いや考えを持つための工夫がなされていると思いました。そして、写真やイラストが大変大きく見やすかったです。

また、光村図書は、他教科とのつながりや共通事項の学習内容を関連させ、分かりやすく説明してあるので、工夫と配慮を感じ、よかったです。

以上となります。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見がある方はお願いします。

山田委員 私は、観点2の構成、表記、表現等の観点から述べさせていただきます。

光村図書は、日本画について、質感の違う紙を使用して16ページにわたり掲載し、特に浮世絵の「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」は、原寸大でその魅力を余すところなく伝えています。また、美術1、美術2・3と別冊資料の3冊で構成され、別冊資料は、生徒の学習を助けるものとなっています。

また、日本文教出版も1、2・3上、2・3下の3冊で構成されています。3冊に分けることで、1冊当たりの重量が軽く、持ち運びがしやすい作りとなっています。また、絵画の一部を原寸大で表示することで、タッチや色使いを実感できる工夫がされています。

最後に、開隆堂ですけれども、美術1、美術2・3の2冊で構成されています。作品の質感を感じ取れる表紙の作りが大変すばらしく、思わず手に取ってみたいくなる装丁となっています。日本文教出版と同様、絵画の一部を原寸大で表示しており、折

り込みページも効果的に使われています。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますか。

窪島委員 自分は3番目の観点、本市の生徒の実態や地域等の特性との関連に関連した発言をさせていただきたいと思います。

3者とも、教科書には二次元コンテンツが用意されていて、デジタルコンテンツを使うことができるというような作りです。

開隆堂は内容ごとに二次元コンテンツが配置されて、生徒作品やダウンロードができるワークシートなどが用意されていました。

日本文教出版は、「学びのはじめに」を全ての題材に配置しています。

それから、光村図書は、「全国の生徒の作品を見てみよう」のほかに、「体感ミュージアム」のコーナーには、作品に書き込んで鑑賞できる書き込みツール、あるいは解説動画、「鑑賞を広げる言葉集」など、子どもたちの興味関心を高めたり、学習を深める工夫が見られました。さっき私は地理のところでも発言しましたけれども、生徒一人一人がパソコンを利用している本市においては、特にこれは有効なものではないのかなというふうに感じました。

それから、神奈川県や本市との関連で見た場合、これは市の調査資料や県のほうの資料にも載っていますけれども、どの者においても、神奈川県や本市にゆかりの芸術家の作品を取り扱っているなというふうに思います。また、神奈川県の風景が作品になっていたり、あるいは県内の美術館に所蔵、もしくは展示されているような作品を掲載していて、興味深いなというふうに感じました。

具体的には、開隆堂には藤沢ゆかりの岸田劉生、あるいは片岡球子といった作品が紹介されていましたが、光村図書には、サプレーのパッケージが載っていたり、また日本文教出版にも、岸田劉生の作品や鎌倉の東慶寺の仏像などが紹介されているというふうになっています。「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」、これはどの者の教科書にも取り上げられていますけれども、今し方、山田委員もおっしゃっていましたが、光村図書と日本文教出版はほぼ原寸大の大きさであるということと、特に光村図書は「神奈川沖浪裏」だけではなくて、歴史的な日本の絵画についても、非常に紙質が風合いのあるものを使っているというところで印象深く、とてもよかったかなというふうに感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。それ以外で何かご意見ある方はお願いいたします。付け足しでも構いません。

各委員 なし。

委員長 では、ご意見ないようですので、続いて、次の保健体育に移ります。保健体育についてご意見のある方はお願いいたします。

山田委員 保健体育は4者ございます。4者ともに、主体的・対話的で深い学びを進められるよう工夫されています。学習指導要領に示された心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成するという目標に資する内容となっています。

 続けて、私は観点1について、大修館書店と大日本図書について述べたいと思います。

 大修館書店では、「課題をつかむ」で生徒の興味関心を引きつ

け、本文、資料で知識を身につけ、理解を深める。「学習のまとめ」で学習内容を振り返り、日常に生かすという流れで、生徒にとって取り組みやすく、授業者にとっては教えやすい作りとなっています。また、二次元コードからクイズに挑戦したり、重要なキーワードを頼りに、生徒自身が深く考える場面を設定できるようになっています。内容としましては、心の健康を重視して、リラクセーションの方法を実習するページを設けるなど、今日的な課題を取り上げています。

大日本図書では、「学習のねらい」を初めに示し、本文を片側1ページに収めることで、授業の目的を明確にして、授業者の様々な工夫によって授業が展開できるようつくられています。内容としましては、現代的な諸課題を重視して、オリンピック・パラリンピック教育、防災教育などが充実しています。以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いいたします。

佐々木委員 今と同じく、引き続き、1つ目の観点について、東京書籍についてなんですけれども、ナビゲートキャラクターが生徒を学習へと導いて、「見つける」、「課題の解決」、「活用する」という流れの中で、主体的に学習を進められるような作りになっています。また、それぞれの場面に設定された問いがすばらしく、生徒が思考力を働かせて、協働的な学びから知識の定着を図れる構成となっています。内容としては、多様性を認め合う共生社会の実現や、命の大切さを重視して、性の多様性や犯罪被害の防止などが充実しているなというふうに感じました。以上です。

委員長 ほかにある方はお願いします。

繁里委員 私は、G a k k e n についてお話をします。

導入にあります「ウォームアップ」による課題が適切であって、本文中の吹き出しに書かれた問いと「学びを生かす」という話合いや調べ学習などを通し、主体的な学習につながる構成になっております。内容も、健康や医療について、ウェルビーイングの視点を取り入れ、心の健康では、いじめについて取り上げているところが印象的でした。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

佐々木委員 それでは、2つ目の観点の構成、表記、表現等の部分からお話をしたいと思います。

4者とも、口絵または巻頭に、この教科書の使い方というものを紹介しています。また、ユニバーサルフォントによって、見やすく活用しやすい構成になっているかなと感じます。

その中で、東京書籍については、二次元コードによるデジタルコンテンツや巻末資料が充実していて、振り返りや発展的な学習に生かせる内容となっているかなと思います。

大日本図書については、右側ページに本文がなく、表や写真、イラストが充実しています。左ページの本文を隠してから、資料から考察や推測する活動につなげられるような作りになっているかなと感じます。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いします。

繁里委員 引き続き、観点②の大修館書店について述べたいと思います。

大修館書店は、本文の文字数が少なく、写真とイラストのバランス、配置がよくて、グラフや表の配色にも工夫が見られました。生徒にとって非常に見やすい作りだと感じました。
以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

山田委員 同じく第2の観点の部分で、私はG a k k e nについて述べたいと思います。

G a k k e nは、イラストに吹き出しを入れるなど、漫画のような作りになっておりまして、生徒が親しみやすい工夫がされているというふうに思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

繁里委員 次に、本市の生徒の実態や地域等の特性との関連の観点から、大修館とG a k k e nについて述べていきたいと思います。

大修館では、小田原市の津波避難所・場所の標識や藤沢市のポッチャ体験などが取り上げられ、生徒が身近に感じられるとともに、ほとんどのページに二次元コードがあり、1人1台端末に対応した本市の生徒に適していると思いました。

G a k k e nでは、生徒が自分事と捉えて学習に取り組める資料として、神奈川県の中学校でA E Dを使用し、部活動の顧問を救った話が掲載されているのが印象的でした。

以上です。

委員長 ほかにご意見のある方はお願いいたします。

山田委員 私も本市の生徒にとってというところで、東京書籍も二次元

コードが充実しておりますして、1人1台端末のICTを活用した本市の生徒の学習に適していると感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いします。

佐々木委員 同じく3つ目の観点についてなんですけれども、大日本図書のほうには、藤沢市の緊急通報装置ですとか横須賀市のコミュニティ道路など、身近に感じられるものを取り上げられています。また、そのことによって関心を持って学習できるのではないかと感じました。

以上です。

委員長 そのほかご意見ある方はお願いいたします。

各委員 なし。

委員長 では、続きまして、技術に移りたいと思います。技術についてご意見がある方は挙手をお願いいたします。

繁里委員 私のほうからは、観点1について話をしたいと思います。

中学生になって、技術というのは初めて学習する教科でありまして、子どもたちにとっては、何を学習するのか興味がある反面、不安に思っている要素だと思っています。ですので、そのような状況で、巻頭のガイダンスが重要であると思ひ、ガイダンスの特徴について触れたいと思います。

自分のほうからは、東京書籍について触れます。

まず表紙は、「未来を創るTechnology」という標語で始まり、「一人一人の明るい未来を創る架け橋になりますように」とい

う編集者の願いがあり、ガイダンスの中では、「技術の見方・考え方」のページで、最適化の視点について丁寧に触れていることが特徴だと感じました。今後、技術による問題解決の際に重要な視点であり、最初に学ぶ意義は高いと思っています。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いいたします。

越委員 観点1の内容と構成についてお話しさせていただきます。

東京書籍と開隆堂出版は、ともに冒頭でSDGsとテクノロジーを組み合わせ、SDGsが掲げる17の目標を達成するにはテクノロジー、いわゆる技術の力が欠かせないということに触れ、すてきな未来を実現させるにはということで、技術の学習へと導いています。

一方、繁里委員も先ほど発言されていましたが、教育図書では、小学校で学んできた算数、理科、社会、図画工作などと技術は密接に関わっているということを写真で分かりやすく表示し、技術という教科は新しいものではなく、小学校で学んできたことをさらに広げていきたいと思いますということを伝え、生徒に安心感を与えてくれ、自分たちの未来のために技術を学ぶということを示しているところが大変よいと思いました。また、教科書がAからD編で構成されており、編ごとに簡単な題材をつくり、物づくりの基礎が流れるようになっています。そして、編の中が1から3、または4章に分かれていて、章ごとに振り返りやまとめがあるので、途中で分からなくなることなく、安定した学びができると思いました。また、「スキルアシスト」という基礎技能をさらに分かりやすく説明されている冊子もついており、二次元コードから動画を見ることができます。学習指導要領において示された資質・能力の3つの柱の一つである

生きて働く知識・技能を習得するための工夫や配慮がされており、非常によいと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございました。そのほかご意見がある方はお願いします。

山田委員 私も第1観点のところで、教育図書について述べたいと思います。

教育図書では、「技術の力でだれもが暮らしやすい社会を創る」というSDGsや、共生の視点が色濃くあり、身近な悩みを取り上げ、自分でもできると思えるような工夫例を示している点が印象に残りました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

小澤委員 私も観点1で、開隆堂についてお話をさせていただきます。

開隆堂は、子どもたちが初めてこの教科書を手にとったとき、表紙の「テクノロジーに希望をのせて」から始まり、「私たち人間はすてきな未来を夢見て努力を重ねてきました。ドラえものの秘密の道具を手にする日が来るかもしれませんね」というセリフを読みながら、わくわくしている子どもたちの笑顔が目に浮かぶなと思いました。

それから、続いて、観点2のほうもお話をさせていただくと、3者とも大きな差はなく、適切な文字サイズ、適度に配置された図や写真、イラストによって、生徒が読みやすく、理解しやすい配慮がなされていました。また現在、学校では1人1台端末を活用した授業実践、個別最適の学びが重要視されていて、予習や授業中、復習など様々な場面で使用できるQRコンテン

ツは必要不可欠なツールで、3者とも充実しているなど感じました。

その中で、教育図書では、全ての二次元コードの横にコンテンツの内容が表示されていて、調べたい内容が分かりやすい表記になってました。工夫されていました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

繁里委員 開隆堂の二次元コンテンツは、動きがあったほうが理解しやすい制作の手順、作業の手順に関する動画がすごく充実していたという印象です。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますか。

山田委員 私も観点2の部分で、東京書籍については、全ページに二次元コードが配置されておりまして、学習した内容を補足するワークシート、図鑑や動画など多彩なコンテンツが用意している点が非常に優れているなどというふうに思いました。

以上です。

委員長 ほかにご意見がある方はお願いします。

山田委員 私からは、また第3観点のところから注目して見ました。私は、生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決を養う学習過程の視点からお話をしたいと思います。

開隆堂では、各章の導入部に、学習の流れ、小学校や他教科とのつながりが表記されており、生徒が今までの学習を基にこれから学んでいくことが分かりやすくなっている構成になって

います。また、他者に比べて、漫画やイラストを減らして、図を多く使用することで、生徒自身が必要な情報を取捨選択して、主体的に学習できるよう工夫されています。また、インタビューの中では、仕事の意義や楽しさなど、キャリア教育の視点にも触れておりまして、生徒が将来に向けて興味を持てるように工夫されています。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見がある方はお願いいたします。

繁里委員 私のほうからも、内容についていきます。

教育図書は、「見つける」、「学ぶ」、「振り返る」の学習の3ステップが明確で、生徒が主体的に学習できるように工夫されており、問題解決ページでは、漫画を使って4つのステップで分かりやすく説明されています。また、「先輩に聞いてみよう」、「技ビト」などのコラムが充実していて、地元神奈川県厚木市の養豚農家の食へのこだわりや思いも掲載され、技術の果たす役割をより明確にすることで、生徒の学習の意欲の向上につながると考えました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見がある方はお願いいたします。

小澤委員 私は、東京書籍についてお話しさせていただきます。

東京書籍の中に、「サステナブルなものづくりに挑戦しよう」、それから「地域の特産物を未来につなげよう」、それから「ウェルビーイングを高めるための問題解決」、「地域の安全安心を守ろう」など、現在の課題にスポットを当てた見出しを工夫して

いました。また、編末にある資料「すごいぞ！技術」とか「技術の匠」で、今までの技術分野の学習と現在の技術、将来の勤労観をつなげるということで、さらに学習意欲を高める配慮がされていました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いいたします。

各委員 なし。

委員長 では、意見はないようですので、次の家庭に移りたいと思います。家庭についてご意見がある方はお願いいたします。

藤内委員 家庭のほうは3者ありますけれども、いずれも実践的、体験的な活動が取り入れられており、生徒が主体的に課題を解決していく力が身につくような学習内容となっています。

導入のガイダンスでは、小学校とのつながりや中学校3年間の学習内容について見通しが持てるような作りになっております。その中でも、特に私は、東京書籍のガイダンスが丁寧に取り扱われていることに注目しました。小学校で学習した内容を各編の導入で示すなど、小学校との系統性を大切にしていると感じました。また、生活の営みに係る見方・考え方について、分かりやすく例示し、生徒が自らの問題発見につなげられるような構成になっています。さらに、「自分の生活チェック」では、「1年生の最初」と「学習後」とのチェックを並べて比較できるようにしており、学んだことによる自分自身の成長を実感できるような工夫がされていると思いました。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いい

たします。

柴山委員 どの教科書も画像やイラストがたくさん使われており、実技をする上でとても分かりやすくなっているなど感じました。

その中で、教育図書さんの教科書が問題提起やヒントなどを2つのキャラクターでポイントごとにコメントを添えて描かれているところがとてもよかったなど感じました。これは技術のほうの教科書も同じように、同じキャラクターが描かれていました。全体的に構成がとても見やすくまとまっているなど感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見があればお願いします。

山下委員 私は、観点1の内容についてお話しさせていただきたいと思います。

災害対策なんですけど、3者とも災害対策について丁寧に取り上げているんですけども、中でも開隆堂は、「わたしたちの防災～防災があたりまえの生活に～」として、8ページにわたって掲載し、丁寧に取り扱っています。過去の災害から学び、今の生活を見直し、改善していくことができるよう工夫されていることを感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見があればお願いいたします。

小澤委員 私は単元構成についてお話をさせていただきます。

東京書籍なんですけれども、食生活を先に取り上げているこ

とに注目しました。最初のガイダンスで3年間の見通しを丁寧に扱った上で、生徒たちが興味を持って主体的に実習に取り組めるであろう食生活から入って、最後に家族や地域の学習となっています。中学校3年間の最後で、幼児や高齢者をはじめ多様な人々との関わりを学んで、共生の大切さを感じるよう工夫がされていました。卒業後に地域社会の中で自分が担う役割について考えることにつながると思いました。

以上です。

委員長 そのほかご意見がある方はお願いいたします。

藤内委員 ほかの教科でもあったのですけれども、3者ともデジタルコンテンツがとても充実しているなど感じました。調理や裁縫の二次元コードはどれも分かりやすい動画で説明がされており、何度でも見ることができます。本市の生徒たちは学校で日常的にタブレットを活用していますが、生徒たちが自分のペースで繰り返し動画を見て確認することで、基礎的、基本的な知識、技能の習得につながると感じます。

特に東京書籍はどのページにも同じ場所に二次元コードがついており、活用しやすい作りになっていると感じました。また、思考ツールを活用したコンテンツもあり、自分の考えを整理したり、グループ内の意見を交換することで、深い学びにつながる工夫もされていると考えました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見があればお願いいたします。

山下委員 それでは、私は、次は観点3、本市の生徒の実態や地域等の特性との関連についてお話ししたいと思います。

私は、これからの中学生にとって、消費について考えることはとても重要だと思っております。タップしてしまうだけで商品の購入が簡単にできてしまう、そんな時代です。本市では、中学生の大多数がスマホを持ち、インターネットに簡単につながる環境にあります。その利便性ととも、危険性や対策を考え、知ることの意義は大きいと考えております。

その点において、教育図書は多くの情報が掲載されておりまして、広告を見て購入する場合の注意点、また、話し合うワークシートなど、考える工夫がされていると思いました。

また、東京書籍では、契約や消費者トラブル、また消費の権利と責任、消費者の権利と責任の学習において、生徒が自分事として捉えられるよう、中学生によくあるトラブルの具体的な例を取り上げています。自分たちが悪質な商法のターゲットとなってしまうおそれであったり、また巻き込まれてしまう、そういう事案について、実感を伴って学習できるように工夫されていると感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見がある方はいらっしゃいますでしょうか。

各委員 なし。

委員長 では、ないようですので、続いて、英語に移りたいと思います。英語につきましてご意見があればお願いいたします。

山下委員 まず、観点1のところからお話させていただきたいと思えます。

 どの者におきまして、学習指導要領にある全ての点において十分に吟味され、つくられているのが伝わってまいりました。

主体的に学習を進めることができるよう配慮され、題材や方法に工夫が見られました。また登場人物の多様性、国際理解はもちろんのことなのですが、内容にも、人権や防災、環境や社会問題、他者との協働など、様々な今日的課題を取り上げていて、どの者のものもそれぞれのよさがあり、どの教科書を使っても、子どもたちの豊かな学びにつながると思いました。

その中でも、光村図書の「Here We Go!」の内容は、子どもたちの日常の状況設定から平易で自然な英語表現を用いて社会問題などの内容に切り込みながら、目標に迫ることができており、とてもよいと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方。

越委員 観点1の構成からお話をさせていただきます。

6者ともに、1年生の教科書の冒頭に小学校で学んだ自己紹介や、自分の好きなものや憧れの人の紹介をしたり、また自分や友達の名前を書いたり、小学校からの学習の関連づけた構成となっています。

現在、藤沢市で使用されている三省堂の「NEW CROWN」と光村図書の「Here We Go!」は構成がよく似ていました。出てくる単語がページの両サイドにまとめられていて、ページの下には、聞く、読む、話す、書くがまとめられています。そして、1つの単元が2つから3つの構成になっていて、最後に長文が出てきます。この長文は、定期テスト対策に非常に役立つと思いました。また、定期テストに欠かせない文法が長文の後のページに出ていきます。この構成は非常に使いやすいと思いました。

開隆堂の「Sunshine」は、他社に比べると少し長文が少ないように感じましたが、その反面、途中途中に「英語早わかり」という文法を分かりやすくまとめたページがあります。これは

また、定期テスト対策にはとても有効だと思いました。また、一つ一つのページの配置バランスがよく、ページの中が散らかっておらず、見やすかったのが印象的です。小学校で学んだ単語がページの下にまとめられている点も、その都度振り返ることができて大変よいと思いました。

6者を共通して、日常生活や話題の出来事や人物、生徒の興味のある題材をうまく使用しており、意欲的、自主的に取り組めるような工夫を感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方。

大石委員 同じく観点1で、内容についてなんですけれども、どの者につきましても興味深い内容ばかりでしたが、三省堂の「NEW CROWN」は、英語圏以外にも様々な国を取り上げておりまして、中でも、私は環境について考えさせる「Warka Water Project」という題材については秀逸で、環境や科学に対する子どもたちの意識を高めることができる教材だと思いました。ほかにも、本市で車椅子バスケットの練習をしている鳥海連志選手の話もありまして、身近な題材として学習できると思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いします。

岡村委員 私は、教育出版さんがアニメや絵や写真がたくさんあって、字が大きくて見やすく、教科書のサイズも小さめでいいなと思いました。

光村図書さんはストーリーになっているので、最初に入りやすく、ストーリーを通して英語を学ぶことができるのがいい

なと思いました。1は絵が多く、2と3はしっかり文が多いので、学年に適して工夫されているんじゃないかなと思いました。後半に、各学年のための「英語の学び方ガイド」があって、分かりやすいなと思います。こちらも教科書のサイズが小さめでいいと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見。

小澤委員 私は、編修の工夫という点からお話をさせていただきます。
東京書籍の「NEW HORIZON」では、文法解説動画やデジタル文法クイズなど、ICT教材を活用して、主体的に学習できるようになっています。また、「ダイバーシティメモ」というコラムから、その教材の背景や考え方が書かれていて、多様性に気づくように配慮されている、工夫されていると思いました。
以上です。

委員長 そのほかございませんでしょうか。

山下委員 続いて、観点の2番目、構成や分量についてお話したいと思います。

こちらも、どの発行者のスマールステップで問題に入っていく形が取られておりました、スムーズに学びが繋がっていくよう、工夫されています。また、目標が「CAN-Do」等を用いてイメージされていることで、ゴールが分かりやすくなっていると思います。また、現在使用している教科書も、どれもそうなのですが、二次元コードから音声の確認ができていたんですけれども、今回の教科用図書デジタル教材は、ほかの教科でもそうでしたが、内容を動画で確認できたり、また、音声だけではなくて、それ以外のものにも触れられるようになっております。

多彩な学び方ができるように工夫されています。

中でも、教育出版の「ONE WORLD」のデジタル教材は、読み方練習の際に、スラッシュが設定できたり、カラオケのように文字の色が変わっていったり、また、自分の声を録音して再生することでどんなふうに聞こえるのかというのを確認できたり、さらに、英文の内容を思考ツール、先ほどもお話に出てきましたけれども、自分の考え方をまとめられるような工夫がよいなと思いました。

また同様に、啓林館の「BULE SKY」にも、ターゲット動画が大変分かりやすくできておりまして、理解が進みやすいと思いました。さらに、インプットとアウトプットが継続して学習できるように構成されているところもよいと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いします。

小澤委員 今、スモールステップというワードもありましたけれども、私は特に光村図書の「Here We Go!」、開隆堂の「Sunshine」は、学年が上がっても、豊富なイラストや漫画、グラフや表から意味を想像させた上で英文を聞いて、簡単な問いから目標文へとつなげていく構成が、英語の苦手な生徒にもとてもよいと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見がある方はお願いします。

大石委員 同じく観点2の分量や表記に関してなんですけれども、三省堂の「NEW CROWN」は、内容が簡潔ですっきりしている印象です。

そのため、教員の裁量でできる部分も多いんじゃないかなというふうに思いました。三省堂は現在使用中の教科用図書になりますが、現場の先生からの評判もいいようです。まとめの3こま漫画も読んでみたくなる内容で、興味深く復習ができるようになっていきます。

続けて、本市の実態や地域の特性という観点からもちょっと申し上げたいと思います。

前回の学習指導要領の改訂で、話すことが発表するということと即興的なやり取りの2領域となりました。今までの聞く、話す、読む、書くだけではなくて、話すということにおきましては、発表して話すということと、即興でやり取りして話すという領域が分けられたということになります。英語教育においては、本市だけではないんですけれども、日本人の多くが即興でやり取りする難しさというのを感じています。

光村図書の「Here We Go!」では、各見開きに「Let's Chat」というコーナーがありまして、英語教育で今求められています即興で話すという力を育めるように工夫されています。また、帯教材として、「その場でスピーキング Let's Talk」という付録がありまして、それは教員にとっても使いやすい教材となっていると思います。

同様に、開隆堂の「Sunshine」でも、各プログラムに「Small Talk」のコーナーがありまして、繰り返し行っていくことで、即興でのやり取りや表現する力が身につく工夫がされています。

さらに、この2者においてはRetellingといたしまして、言い換える手法を用いてアウトプットする力に重点を置いており、英語力をつける上で大きな強みになると思いました。

以上です。

委員長

ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いい

たします。

山下委員 先ほど三省堂がすっきりしているというようなお話もありましたけれども、配列や構成がパターン化されておりまして、見通しを立てて学ぶことができるのかなというふうに思っております。また、その中でも、今、即興的なやり取りというお話がありましたけれども、各単元のPart3に「Small Talk Plus」というコーナーがあります。そこでは、この単元で学んだことを即興で話せるように「Tips!」というヒントコーナーがあることで、即興で話すことが苦手な生徒にとって一助になるのかなというふうに思います。また、先ほどのお話にもありましたが、本市で車椅子バスケットボールの練習をされている鳥海選手の話があるのも、子どもたちの興味を引くのではないかなと思っております。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いいたします。

各委員 なし。

委員長 では、ご意見ないようですので、続いて、道徳に移りたいと思います。道徳につきましてご意見がある方はお願いいたします。

澤野委員 道徳の授業では、生徒が自分自身を見つめ、よりよい生き方を考えることが大切です。ふだんの自分の考えや言動について振り返り、物事を広い視野から多面的、多角的に考え、人間としての生き方を考え、議論する道徳につながるように、各者とも工夫されています。

東京書籍は、教材について深く考え、グループでの話し合いを繰り返すことで、考え、議論する道徳の授業づくりがスムーズに行われるような構成となっています。例えば、各教材につぶやき欄があり、思ったことや感じたことを記入することで自分の考えを整理し、話し合いを円滑に進めやすいような構成になっています。また、巻末の心情円は、葛藤する教材、モラルジレンマ教材を扱う授業の際に、可視化することで自分の心情をより見つめ、考えを整理することにつながります。さらに友達の心情理解にもつながり、活発な話し合いを行うことができるように工夫されています。また、教材文の一場面を役割演技する学習もあり、自分事として捉えられるような工夫もよいと思います。

教育出版は、現代社会における課題、命の尊さやキャリア教育、社会参画等について、テーマ別に分類され、考えたり、話し合ったりする活動を通して課題に向き合い、解決する力を育む構成となっています。巻末の内容項目別教材一覧表に、教材に関連する他教科領域が示されており、カリキュラムマネジメントに対応しやすいのもよいと思います。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いします。

柴山委員 どの教科書も似たような題材が多い中、光村図書が「差別の根底にあるものは？ コロナと差別、『病気より大衆が怖い』元ハンセン病患者が語る」というタイトルで、元ハンセン病患者の方の経験と、今の社会で起きているコロナの差別や偏見について書いてあります。この内容なんですけれども、私たちみんな当事者であり、それこそ3年間、みんな子どもたちもいろいろ考えたり、感じたこともたくさんあったのではないかと思います。それを題材にして考え、意見を交わすということは、

とてもいいことだなと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いいたします。

越委員 観点1からお話をさせていただきます。

道徳的な課題を生徒が自分との関わりの中でどう結びつけられるかという点で、光村図書と日本文教出版の教科書は、1冊の中の写真やイラストの雰囲気やページの構成がとてもうまく、読む側を飽きさせず、次のページをめくりたくなるような教科書になっておりました。

また、光村図書は、ポイント、ポイントに「考えよう」というコーナーがあり、主体的に考え、自分の考えや感じ方を明確にすることができるよう、考える道徳につながる内容構成になっていると思いました。

そして、日本文教出版は、「道徳ノート」というのが附属しており、まずは自分の考えや友達の意見や話合いの内容をメモできるようにになっています。次に、「自分に+1」として、みんなと議論を深める中で生まれた新たな考えや、これから大切にしたいことや自分の生き方にプラスしたいことをまとめることができるようになっていきます。物事を多面的、多角的に考えるために、多様な考え方や感じ方と出会い交流をする議論する道徳につながる内容構成になっていると思い、深い学びができるなというふうに感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いいたします。

山田委員　　私は、観点1の学習指導要領の関連ということを目撃して見ますと、どの発行者も対話や体験から学べるよう工夫がありますが、私は、中でも光村図書が生徒にとって学びやすいよう編修が工夫されていると感じました。柴山委員のご指摘にもございましたように、人権についてのユニットを別に設けており、人権に焦点を当てて、知識と考えを学びながら深められ、生徒が社会でよりよく生きるためにアンテナを高められるようにしている点や、また、「やってみよう」のページ、「チャレンジ」パートのページを設けていて、友人との対話、議論を通して、体験的に主体的・対話的で深い学びがなされるよう工夫されています。

　　以上です。

委員長　　そのほか何かご意見ある方。

梶委員　　私からも観点1について、2者申し上げます。

　　日本文教出版ですが、いじめや環境など現代的諸課題の内容教材が充実しており、生徒が考え、議論する道徳が実現しやすいと思われました。また、著名人によるメッセージがほどよく配されており、生徒が前向きに自身の生き方を考えられる内容であると感じました。

　　そして、G a k k e nの教科書ですが、巻末の「学びのメモ」と「学びの記録」が適切な量感で配されており、「学びのメモ」は授業ごと、「学びの記録」は学期末ごとに、生徒が学びを振り返ることができるように工夫されていると感じました。

　　以上です。

委員長　　ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

平林委員　　私からは、観点2の構成、表記、表現の観点から述べさせて

いただきます。

あかつき教育図書は、フォント、色使い等のユニバーサルデザインの観点から配慮がなされています。また、二次元コードを利用して、人物の紹介、インタビュー動画等、教材に関連する動画や、ウェブリンクを参照することができるように工夫されていると感じました。

以上です。

委員長 そのほかご意見のある方はお願いします。

梶委員 私も観点2について1者申し上げます。

東京書籍については、各教材が見開き2ページ程度にまとめられていますが、本の形が変型になっています。手で押さえなくても教科書を広げたままで学習することができる、話もしやすいと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いいたします。

山田委員 私は、分量・装丁・表記等の観点から、光村図書は、文字が読みやすくなるよう、余白や文字数が配列されていると思いました。また、挿絵、写真、イラストが生徒にも親しみやすく、配色も見やすくなっているというふうに感じました。教科書の初めに、「道徳で学ぶ22のキーワード」をイラストつきで掲載していて、1年間で何を学ぶのかを示していて、続いて、「道徳道案内」では、学んでいく題材のつながり、学習の見通しを視覚的に持てるようになっていきます。あわせて、教科書の巻末には「まなびの記録」がついていて、年間の道徳の授業を通して、自ら心に残ったことを振り返ることができ、考えを整理し、よ

り深く考える機会が持てると感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見ある方。

澤野委員 ここで、本市の生徒の特性との関連について述べさせていただきます。

日本教科書は、自分の考えを伝えたり、相手の考えを理解しやすくするために、「ウェルビーイングカード」を利用できるようにするなど、生徒同士の対話を重視する工夫が見られます。コロナ禍で友達との関わりがなかなか持てずにいた生徒たちが、互いを理解し、尊重しながら、人間関係を深めていく態度を育むことにつながるのではないかと思います。

また、東京書籍では、各学年で防災安全についての教材を取り扱っています。海が近い藤沢市に住む中学生が自分事として捉えることができる身近な教材です。未来に生きる子どもたちの生きて働く道徳性を育むことにもつながるのではないかと考えました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見がある方。

山田委員 藤沢市では、人権啓発事業を推進しています。生徒たちが自分の周りにいる友達の人権を守る意識を持つことで、いじめの根本的な原因を取り除けるよう、各中学校においても努力をしているところです。その視点から見ると、私は光村図書がよいと思います。

先ほど申しあげましたように、人権のユニットを別に設けて、マイノリティーやLGBTQについても、中学生にも現代の問題として触れられているところがよいと思います。また、これ

から藤沢市で生活していく生徒たちに、人権を大切に作る社会をつくる意識づけにつながると思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。

各委員 なし。

委員長 では、ないようなので、以上で本日予定された議題に関する審議は終了とさせていただきたいと思えます。全体を通して何か委員の方でご意見等あればお願いいたします。

各委員 なし。

委員長 では、特になしということですので、次回の審議委員会の日程等について確認したいと思えます。

 次回の審議委員会につきましては7月18日木曜日午後1時から、場所は本日と同じく藤沢市教育文化センター大会議室でと考えております。日程等については、それによろしいですか。

各委員 はい。

委員長 では、次回の議題につきましては、審議方針に基づきまして、「令和7年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書」の審議について、また、諮問に対して答申をする必要があることから、「令和7年度使用教科用図書に関する審議結果の答申について」の2点といたします。このことについて皆様からご意見、ご確認等何かございますでしょうか。

うか。

各委員 なし。

委員長 では、第3回の審議委員会につきましてもよろしくお願ひします。

事務局から何かから連絡等ございますか。大丈夫ですか。

では、特にないということでございますので、本日は長時間にわたる審議どうもありがとうございました。これをもちまして、第2回令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会を閉会といたします。本日はありがとうございました。

この会議の結果の記載に相違ないことを、確認する。

署名委員

第3回令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会会議録

令和6年7月18日（木）13時00分～

委員長 皆様、こんにちは。本日はお忙しい中、また本当にお暑い中
ご出席いただきまして、ありがとうございます。

会議の開会に先立ちまして、傍聴の皆様方にお願いがござい
ます。お手元の傍聴要領をご覧ください。「藤沢市教科用図書採
択審議委員会の傍聴要領」に従いまして傍聴いただきますよう
お願いいたします。

なお、この会議は公開でございます。審議の内容につきまし
ては、会議録作成の都合上、録音をさせていただきますので、
ご承知おきください。

では、ただいまより第3回令和7年度使用藤沢市教科用図書
採択審議委員会を開催いたします。よろしくお願いたします。

では、本日の次第をご覧ください。今回、ご審議いただく内
容につきましては、議題1「令和7年度使用特別支援学校及び
小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書について」
と議題2「令和7年度使用藤沢市教科用図書に関する審議結果
の答申について」の2点でございます。

まず初めに、藤沢市審議会等の会議の公開に関する要綱に基
づき、会議録署名委員を指名いたします。委員長の私のほかに、
今回も佐々木委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでし
ょうか。

佐々木委員 承知しました。

委員長 ありがとうございます。では、佐々木委員、よろしくお願
いたします。

それでは、審議の前に第2回令和7年度使用藤沢市教科用図
書採択審議委員会にて配付された資料について、事務局より訂

正の申入れがありましたので、説明をお願いいたします。

事務局 前回の資料の訂正についてご説明いたします。

お手元の「中学校用（令和7・8・9・10年度用）『調査資料』」の目次をご覧ください。目次の一番下の欄に、注釈にて「各教科書及び編修趣意書に基づいて表記しています」及び「QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です」の文言を、さらに「令和7年度使用中学校用教科用図書調査書まとめ」についても、「QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です」の文言を加筆させていただいております。よろしく願いいたします。

委員長 ただいま前回資料についての説明がありました。委員の皆様、いかがでしょうか。大丈夫ですか。ありがとうございます。

それでは、引き続き、事務局より本日の資料等についての説明をお願いいたします。

事務局 今回ご審議いただく教科用図書は、学校教育法附則第9条に規定された教科用図書です。特別支援教育に関する教科書については、児童生徒の実態に合った一般図書を充ててもよいとされているものでございます。

5月9日から10日及び5月13日から15日までの計5日間、県立総合教育センターにて展示会が開催され、白浜養護学校と市内小中学校、特別支援学級の教員が、展示されている図書を見ながら、在籍する児童生徒の実態や次年度入学する児童生徒を想定して調査研究を行い、その結果について、該当学校から教科用図書調査書が提出されております。

それでは、資料の説明をいたします。

まず、横に置いてあるサイドテーブル及び書棚のほうをご覧ください。そちらには、令和7年度使用特別支援学校及び特別

支援学級用教科用図書調査書と特別支援教育関係教科用図書見本の一部が展示してあります。令和7年度使用特別支援学校及び特別支援学級用教科用図書調査書は、特別支援学級設置学校長及び特別支援学校長が自校の教師に調査研究させたものを簿冊としたものです。

次に、「令和7年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書調査書まとめ」です。これは、令和7年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書調査書を基に事務局でまとめたものです。

1 ページをお開きください。この一覧表は、附則第9条による図書を4つに分けて表記してあります。

一覧表の右上のところをご覧ください。まず1つ目は「新」の文字を記載したもので、これは、今回調査研究した結果、新たに教科用図書としてふさわしいとして提出された新規図書でございます。

2つ目は「□」の記号を記載したもので、これは、昨年度採択された図書で、本年度の調査研究の結果、複数の種目において教科用図書としてふさわしいとされた図書でございます。

3つ目は「●」の記号を記載したもので、これは、昨年度採択された図書で、令和7年度に発行者による供給が困難となった図書でございます。

最後、4つ目は無印のもので、これは、昨年度採択され、本年度も教科用図書としてふさわしいと調査された図書でございます。

なお、資料1として、24ページから36ページに新規図書と複数種目で希望のあった図書等を一覧表にしてお示ししてございます。この資料には、児童生徒一人ひとりの特性や発達段階を踏まえた上で各学校が一人ひとりに適した教科用図書として選定した理由を記載してございます。

続きまして、22ページをご覧ください。一覧表の最後、No.10、道徳の欄の下になりますが、ただいま説明をいたしましたもののほかに、一般図書として、点字教科書、拡大教科書がございます。また、令和7年度使用小学校用教科用図書、令和7年度使用中学校用教科用図書、特別支援学校小・中学部用文部科学省著作教科書も採択可能な教科用図書として記載してございます。

なお、特別支援学校小・中学部用文部科学省著作教科書につきましては、資料2として、37ページから40ページにお示ししてございます。これは、第1回の審議委員会で資料として「特別支援学校用（小・中学部）教科書目録（令和7年度使用）」をお渡しいたしました。この中で聴覚障害者用として言語指導の図書と知的障害者用として挙げられております星印本と呼ばれる図書でございます。

それから、一般図書を採択希望する場合の留意事項につきまして、41ページに資料3として記載させていただきました。

以上で資料の説明を終わります。

委員長 資料のご説明、ありがとうございました。

なお、令和7年度使用特別支援学校及び特別支援学級用教科用図書調査書につきましては、個人情報などの問題がございますので、非公開とさせていただきたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。

各委員 結構です。

委員長 ありがとうございます。

では、それ以外に資料等について、何かご質問はございますか。大丈夫でしょうか。

各委員 なし。

委員長 では、ないようですので審議に入りたいと思います。

新規の図書につきましては、本審議委員会が初めて審議する場になっておりますので、ぜひ慎重な審議をお願いしたいと考えます。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、これから審議してまいりたいと思いますが、審議の進行について何かご意見はございますでしょうか。

澤野委員 今年度も、各学校から障害の特性や発達段階など、児童生徒の実態に応じて選定された一般図書がたくさん出されています。特別支援学校や特別支援学級に在籍する子どもたちにとってふさわしい教科書として、附則第9条によって教科書として使用できる一般図書をできる限り数多く用意することが必要だと考えます。

委員長 ありがとうございます。ほかにご意見のある方はいらっしゃいますか。

藤内委員 私も澤野委員と同じ考えです。今回、各学校で調査研究をした結果、教科書にふさわしいものとして、新規図書や複数の種目で使いたいという一般図書が多く出されています。本校の調査の様子を見ましても、児童一人ひとりの実態を踏まえて選定しておりました。採択の幅を広げるためにも、今までに教科用図書として採択してきた一般図書は引き続き採択し、今年度、新規の図書として出された一般図書について審議する方向がよいと思います。

委員長 ありがとうございます。ほかに何かございますか。

繁里委員　私も同じように考えます。この調査書まとめに示されている複数の種目で申請のある「□」の印の図書や、今年度新たに希望が出ている「新」並びに「新□」の図書について審議していくのがよいのではないのでしょうか。

委員長　今、そういうご意見が出ましたが、皆様いかがでしょうか。よろしいですか。

各委員　はい。

委員長　では、そのように審議を進めてまいりたいと思います。

調査書まとめの印で申し上げますと、「新」と書かれた新規図書、そして「□」の印がついている複数種目で希望がある図書についてご意見を伺いたいと思います。新規図書や複数種目で希望がある図書につきましては、No. 1 の国語・書写からNo. 10、道徳までの種目に合計100冊入っております。

審議につきましては、学校からの調査書には、どんな特性のある児童にどんな教科書がふさわしいかという点が挙げられていることから、子どもたちの実態、特性という視点からご意見を伺いたいと思います。

審議の都合上、初めに、No. 1 の国語・書写とNo. 2 の算数・数学、次に、No. 3 の生活・地図・社会からNo. 6 の図工・美術、最後に、No. 7 の家庭・職業家庭からNo. 10 の道徳という3つに区切って審議を進めたいと思います。図書によっては複数の種目にまたがるものもございますが、その際には、いずれのところかでご発言いただくようお願いいたします。

それでは、No. 1 の国語・書写とNo. 2 の算数・数学の教科領域で申請が上がっている33冊の図書につきましてご意見を伺いたいと思います。なお、発言する際には、冒頭に種目、番号、図書名を述べた上でご意見をいただくようお願い申し上げます。

す。

では、ご意見がある方は挙手をお願いいたします。

梶委員

私は、No. 1 の国語・書写の教科領域の中から、4冊について意見を述べさせていただきます。

まず1番、「かこさとし・おはなしのえほん（7）からすのパン屋さん」は、リズムカルな言葉の世界にカラスのパン屋に集まる多様で個性あふれるカラスたちが描かれた大変楽しい絵本です。子どもたちは、パン作りにお店屋さんごっこなどの空想遊びを楽しみながら、たくさんの片仮名言語の定着を図ることができます。作者は多作で、本市在住であったかこさんです。

次に、9番の「くろくまくんのことばえほんなまえのことば」は、子どもたちにとって身近な生活素材がイラストとともに165掲載されており、子どもたちは主人公のくろくまくんに同化して、楽しく絵探ししながら、言葉の意味や使い方に親しみ、自然と語彙を増やすことができます。

3冊目、10番の「すきなことにながてなこと」は、多様な人々が互いに認め合って、よりよく幸せに生きることをイメージさせる絵本です。自分の得意なところは自分を生かし、苦手なところは他者に助けてもらう主人公の心の言葉は、様々な個性のある子どもたちの自己表現力にもつながっていくと思いました。

最後に、24番、子供図書館の「うれしいさんかなしいさん」です。前から、後ろから、どちらから読んでも、うれしいさん、かなしいさんの繰り返しで、子どもたちが飽きることなくラストまで楽しく読めるアイデアの絵本でした。このアイデアをまねして同じように子どもたちがお話をつくるなどすれば、豊かな感情や想像力を養う創作活動になると思います。

私からは以上です。

委員長 ほかにご意見がある方はお願いいたします。

越委員 私も、今、同じようにはありました24番の子供図書館さんの「うれしいさんかなしいさん」が目にとまりました。前から読んでも後ろから読んでも真ん中で出会い、明るく元気なうれしいさんにしてくれる絵本でした。ちょっとした気持ちの変化やささいなことがきっかけで心が一喜一憂する子どもたち、そんな自分たちの気持ちを分かる、分かると客観的に感じられる本だなというふうに思いました。また、かなしいさんだった気持ちが、ちょっとしたきっかけでうれしいさんになれるんだと気づかせてくれるところがあります。そして、かなしいさんになったときに、次はどんないいことが起きて、うれしいさんになれるんだらうというわくわく感があり、プラス思考となるためのよいきっかけを与えてくれる本だなというふうに思いました。

 もう一つ、19番のナツメ社の「特別支援教育をサポートする読み書きにつまづく子への国語教材集」は、そのまま教材が本紙と附属のCD-ROMと合わせて409の教材が入っていました。そのため、多様な児童や生徒に対応できる本だなというふうに思いました。音読の操作や語彙、促音、文章読解、物事の説明や時間、漢字から作文まで学習の基礎となる11の能力を身につけることを目的とした教材となっておりました。特に物事の説明では、段階を踏んで周囲とのコミュニケーションを豊かにするために、身近な物事について言葉で説明できるようにしたりと、社会性を身につけられるところが大変よいなというふうに思いました。

 以上です。

委員長 ありがとうございます。ほかに意見はございますでしょうか。

大石委員 私は国語・書写のナンバー15「チャイルドブックこども百科にほんごだいすきことばの図鑑」、それからナンバー17「ことばじてん絵本」について意見を述べたいと思います。

どちらの本もイラストとともにたくさんの言葉が表示されているので、文字だけでなく絵を頼りに理解する子どもたちの語彙力向上の助けになると思います。

特に「にほんごだいすきことばの図鑑」についてですけれども、1つ目のテーマ、「おもしろことば」では、状況を表す分かりやすいイラストとともに、実生活で触れておきたい言葉や表現がたくさん掲載されているところが優れていると思いました。また、「ことばであそぼう」のテーマでは、クイズ形式で学習を進めるようになっており、楽しみながら学べるとともに、クイズを読み解きながら、読解力や連想力を高める工夫がなされていると感じました。さらに、子どもに音読させるのにふさわしいお話や読み物の題材も多数掲載されている点も優れていると感じました。

委員長 ありがとうございます。ほかにご意見がある方は。

宮崎委員 国語・書写のナンバー18「くらしに役立つソーシャルスキル」について、ソーシャルスキルを学びながら国語の学習効果を上げることが期待できると思います。例えば第1章では、自己紹介文を書く、分かりやすく伝えるなどを通じて正しい文章をつくることを、第2章では、お願いの仕方や誘い方、断り方などの具体的な場面を想定して、活動しながら国語的な言い回し、表現、語彙を学ぶことができると思います。

また、同じように国語・書写のナンバー19「特別支援教育をサポートする読み書きにつまづく子への国語教材集」ですが、先ほどの越委員の発言にもありましたように、巻頭の解説が大変すばらしいと思います。読み書きの課題はどのようなものか、

その背景、支援の進め方や身につけたい能力などについて分かりやすく解説されています。内容についても、サイコロゲーム、なぞなぞ、パズル、スリーヒントクイズなど、スモールステップで工夫されていて、国語の語彙力や読解力、説明する力を身につけやすだけでなく、集中して学習に取り組むことが苦手な子どもたちにも、楽しみながら学習に取り組むことができると思いました。

続きまして、国語・書写のナンバー21「特別支援教育のためのことばの学習」は、絵日記を使っての学習を繰り返すことで、子どもが毎日体験していることから言葉の力を育て、語彙力、読み書きの力、表現力を伸ばすことができると思いました。加えて、日常生活の場面に目を向けることで、基本的な生活習慣も確立させることにつながる効果が期待できると思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見ございますでしょうか。

藤内委員 私は、国語・図書の16「わくわく音あそびえほん新装版にほんご★えいごおしゃべりタブレットえほん」についてお話しさせていただきます。

この本は、あいうえお順のボタンを押して平仮名の音が確かめられるだけではなくて、設定を文字モードから言葉モードにすることができるようになっており、一つ一つの文字が分かるようになるだけでなく、「あ」のボタンを押すと「あり」と音が出るようになっているなど、ばらばらの文字と言葉とのつながりを自然と身につけることができるようになっています。クイズなども充実しており、バリエーションも豊富なため、何度も使って楽しみながら学習できると感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見ございますでしょうか。

岡村委員 No. 1、国語・書写の中から、4冊についてお話をさせていただきます。

まず、2番の学研「学研の幼児ワーク3～4歳かいてけせるひらがな新装版」です。この本は平仮名全文字を書いて消せる仕様になっているので、ペンを持つ練習や書くことを伸ばしていく練習、苦手な文字を練習することを繰り返し何度も練習できる教材になっていて、大きくて書きやすく、書き順も書いてあり、同じページには書いた平仮名が日常のどんなものに使用されているか、イラストも表示されているので分かりやすく、それぞれのペースで取り組むことができると感じました。

次に、9番のくもん出版の「くろくまくんのことばえほんなまえのことば」についてですが、かわいいキャラクターと優しい柔らかいイラストが分かりやすく、見やすいと思いました。家の中の物、外の物の日常の身近な名詞が載っていて、言葉の意味を絵を見ながら視覚的に理解しやすいと思いました。身近な生活にあるものを「これは何？」と周りの大人とコミュニケーションを取りながら学習できるのもいいなと感じました。

次に、11番のこばと「初級編ステップアップマッチングⅠ」と12番の「マッチングⅡ」についてですが、言葉、文字、数、数字の習得につながる工夫がされていて、いろいろなマッチングの問題があるので、色や形や物の認識の向上や、鉛筆を持って書くこと、シール貼りでは、手や指先を使う作業にもつながり、いいなと感じました。ⅠからⅡには順番にステップアップしていき、1ページずつの問題数が多過ぎないので、自主的に取り組める子どもも、大人と一緒に取り組む子どもも、無理なく集中して学習できる教材だと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いします。
ます。

大石委員 同じく国語・書写のナンバー5「ぶんカード1集」、それから、
ナンバー6「ゆびなぞりカードひらがな」、ナンバー7「反対こ
とばカード」の3つについて意見を述べさせていただきます。

3種類のカードとも、目を引く大きなイラストで子どもに興味を持たせながらカードを使って分かりやすく学習できると思
いました。

「ぶんカード1集」では、2語文を使って適切な助詞の学習
ができ、文章の組立ての基本を身につけることができると考え
ます。また、「反対ことばカード」においては、カードの表と裏
に反対言葉が載っていることで言葉を関連づけて学習すること
ができ、言語能力の向上が期待できます。どちらについても、
表現する素地を身につけられることから、読解力を高めること
に有効であると考えます。さらに、英語の表現も併記されてお
りまして、英語への関心を持たせるとともに、もっと知ろうと
いう知識欲も刺激できるような工夫もされていると思いまし
た。

「ゆびなぞりカードひらがな」は、カードに記載された文字
の線がくぼんでおりまして、それを指でなぞることで指先に刺
激を与え、知覚に訴えながら学習することができるので、学習
効果が高いと考えます。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

小澤委員 私は、三省堂から出ている「こどもぼうさい・あんぜん絵じ

てん」についてお話をさせていただきます。この本は3つの種目から出ていますので、それぞれちょっとお話をさせていただきます。

国語・書写の種目で14番になっていますが、生徒が読みたいという気持ちに応えられるように、本文を全て平仮名、もしくは片仮名で表記していました。

それから、社会の種目としては、自然災害や交通事故、犯罪などを取り上げて、身の回りの危険に対して自分の身を守る力を身につけられるように、平易なまた簡単な文章で説明されているなと感じました。

さらに、道徳の種目については、「おうだんほどのわたりかた」や「こうえんでたのしくあそぶには」など、日常の中で遭遇する出来事、事柄について具体的な題材を設定して、周りの人への気配りや公共心が養われるように工夫されているなと思いました。

それから、改めて国語・書写、あと算数・数学で、ちょっとタイトルは似ているんですけども、挙がっている2つの本、ワークドリルについてお話をさせていただこうと思います。

学研から出ている国語・書写の3番「学研の頭脳開発でんしゃのひらがなれんしゅうちょう改訂新版」と算数・数学の種目の2番「学研の頭脳開発でんしゃのかず・とけいれんしゅうちょう」の2冊についてです。

「学研の頭脳開発でんしゃのひらがなれんしゅうちょう改訂新版」については、平仮名、清音ですね。濁音じゃなくて清音46文字に対応していること、それから、実際の電車の名前や言葉を覚えながら、楽しく平仮名の書き方を学習することができるようになっていきます。なじみのある電車を題材に取り入れて、子どもたちが意欲的に取り組むことができるように工夫されていました。

それから、算数・数学の領域のほうの「学研の頭脳開発でん

しゃのかず・とけいれんしゅうちょう」についても、「電車を数えよう」とか「10両は4両と何両？」という発問だったり、「発車時刻の時計はどれかな？」など、電車をテーマにした数字や足し算、時計の問題を設定していて、電車の絵や写真を掲載して、視覚的にも捉えやすくなっているなど思いました。

以上です。

委員長 ほかにございますでしょうか。

平林委員 先ほど岡村委員からご指摘があった国語・書写領域の11番と12番「初級編ステップアップマッチング」について述べさせていただきます。

岡村委員ご指摘のとおり、弁別能力や目と手の協応、集中力、指の機能の向上を促すように構成されていると思います。また、課題を通して、数字、文字、形、天気や動物などを学ぶことができます。絵や図も豊富にあって、視覚的に分かりやすく、シールなど子どもに魅力的な課題もあって、集中が続かない児童生徒にも取り組みやすく配慮されていると思います。また、1枚の問題数がそれほど多くないので、学習に意欲的に取り組みやすくなっていると思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

繁里委員 私は国語・書写、13番「上級編レベルアップ対人関係スキルアップトレーニングシート」について意見を述べたいと思います。

先ほど岡村委員と平林委員から説明のあった初級編から上級編になったことで、かなりレベルは上がっていますが、主体が誰かによって言葉の使い方が変わるトレーニングや、相手にか

ける言葉の選び方、想定していない事態への対応など、対人関係で起き得る場面が多岐にわたって掲載されており、内容が充実していると感じました。

国語・書写、生活・地図・社会、道徳と複数の教科で挙げられていますが、言葉の正しい使い方やコミュニケーションの向上は、今後も子どもたちが社会の中で生きていく上で大切なことなので、いずれの教科であっても、機会を捉えて学んでいく必要があると思いました。

以上です。

委員長 ほかにございますでしょうか。

柴山委員 私は、No. 1、国語・書写の15「チャイルドブックこども百科にほんごだいすきことばの図鑑」を述べさせていただきます。

大石委員もおっしゃりましたが、イラストがとても豊富で、絵のタッチも様々描かれており、絵を見ているだけでもとても楽しく、「おもしろことば」、「ことばであそぼう」、「もっと知りたいことば」、「声に出して読もう」の4つのテーマ別に掲載されており、言葉で遊びながら覚えることができ、自然に身につくことができるのではないかと思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

山田委員 国語・書写のナンバー2「幼児ワーク3～4歳かいてけせるひらがな新装版」について述べさせていただきます。この本は、岡村委員からもご指摘ございましたように、クレヨンやホワイトボード用マーカーペンで何度でも繰り返し平仮名の練習ができ、静音、濁音、半濁音を繰り返し練習することで、平仮名全文字を習得できます。イラストの線をなぞる指示もあり、飽き

ずに繰り返し学習できると感じました。

次に、ナンバー４の「１日１０分１０歳までに身につけたい言葉力１１００」について述べさせていただきます。この本は、小学校で学ぶ日常的に使う言葉を３つのジャンルに分類して、１日１０分程度、１年間を通して学習することで１，１００語を身につけることができます。穴埋めの簡単問題やコラムの解説などで興味関心を持って、集中して学習できる作りになっていると感じました。

次に、ナンバー２２の「なぞらずにうまくなる子どものひらがな練習帳」について述べさせていただきます。この本は、どんな子でも無理なく身につく３ステップ方式で、一つ一つの平仮名について、鉛筆の動かし方を楽しさいっぱいイラストで学べる工夫がされています。簡単な文字から、なぞらず、写す方法で、飽きずに、つまずかずに、主体的に学習に取り組めると感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。ほかにご意見ございますでしょうか。

山下委員 私も、国語・書写のところから、３冊、お話しさせていただきますと思います。

まず、８番、くもん出版の「小学ドリル国語６年生の漢字」なんですけど、こちらは、表のページでは、お手本を見ながら、まず目の空欄に漢字を書きます。そして裏ページでは、同じ漢字をまず目なしで書くという学習を繰り返し行うことで、漢字の正しい読み書き、また、バランスよく字を書くことに留意するということが期待できるかと思っています。さらに、部首や似ている漢字をグループ分けして練習することで、似ている点、また違いにも気づきやすいと思われれます。

次に、２３番、清風堂書店の「国語習熟プリント小学４年生

大判サイズ」なのですが、こちらは文章を大変短い段落で短く区切りまして、簡単な質問に次々と答えていくことで、文章を正しく読み込み、内容を理解できるような工夫がされています。字のフォントが読みやすく、また行間が適切に取られているので、識字に困難を抱えていても読みやすく、また理解しやすいのではないかと思います。

最後に、続いてなんですけれども、25番のブティック社「○△□のおえかきちょう」なんですけれども、こちらは図工の教科用図書としても選定されています。「○△□」という簡単なパーツを組み合わせて、車やチョウチョなど図形をつくったり、表情を描くことで気持ちを表すこともできる、そういう教材になっています。また、その図形を描く際には、それぞれの場面設定があり、ゴールが明確となっています。例えば、たくさんのビルを建てているんだ、大ききの違うビルを描いてほしいなという問いに基づいて、子どもたちは担任とやり取りをしながら、たくさんのビルを「○△□」を使って描き、想像力と創造力、イメージーションの想像力とクリエーションの創造力を働かせて、形をつくることのできるのではないかと思います。この図書は図工としてもすばらしいのですけれども、書写として、「○△□」をお手本を参考にしながら描いたり、線を引くことで形をつくったり、また、太さに注意をしたり、左右のバランスを取っていくことも、集中力、また意欲を高めるのではないかと思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

岡村委員 ナンバー2の算数・数学の中から、2冊についてお話しをさせていただきます。

まず、2番の学研「学研の頭脳開発でんしゃのかず・とけい

れんしゅうちょう」についてですが、数、足し算、時計を電車をテーマにした問題でつくられていて、数字に対して分かりやすく、電車のイラストや写真を見て興味を持ちやすい内容で学習できるのではないかと思います。

次に、4番のさえら「とことんやさしい算数使いかたナビ2くらしに使おう！時間と単位」についてですが、身の回りにある算数を写真を使って紹介されていて、時間の読み方や広さ、かさ、重さについて身近な事例を使っているので分かりやすく、ほかにも身近なものに置き換えて考えたりでき、広がって学べる教材だと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。ほかにご意見ある方。

繁里委員 私は算数・数学の4つのワーク、ドリルについて意見を述べます。

1つ目は、1番「学研の幼児ワーク3歳かず」についてです。サイズがA4のため、イラストが大きく、ゆとりを持って配置されており、大変見やすいと感じました。数と数字の対応、数の大小比較、数の数列などの数量関係を、シールを貼ったり、色塗りをしながら感覚を磨いていくことができるので、生徒が楽しみながら学び進められると思いました。

2つ目は、3番の「初級編ステップアップさんすうI」についてです。イラストと言葉を使ってからの計算から、徐々に数字による計算に移行していくことで、生徒が無理なく加法、減法を学んでいけると考えます。最後のページには文章題が配置されており、計算が実生活に生かされやすくなると思いました。白い紙に黒一色で書かれているので、問題に集中して取り組めると感じました。

3つ目は、7番「七田式・知力ドリル3・4さいかずをおぼ

えよう」についてです。イラストと数字を使いながら、数と数字、数の順列、数の増減、数の分解などを繰り返し学ぶことで、生徒に数の概念が身についていく作りになっています。また、各ページの問題数が多くないので、じっくりと考えながら取り組むことができます。

最後に、8番「影山ドリル初級算数小学校5年生」についてです。各単元で学ぶ内容の解き方について、短くて分かりやすい解説がついていました。また、なぞり書きで計算の仕方などを確かめてから問題を解き進められるように工夫されていることで、生徒は安心して問題に取り組むことができるだけでなく、自分自身で解こうという意欲につながると思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますか。

楯委員 先ほど岡村委員からもありましたけれども、私も算数・数学の4番、生活・理科の7番で挙げられている「とことんやさしい算数使いかたナビ2くらしに使おう！時間と単位」について申し上げたいと思います。

こちらは「パスタをゆでるには何分？」などの生活の身の回りにある算数が写真を使って絵本のように紹介されており、子どもたちが時間や単位について、自分の生活の中で身近に、具体的に感じるすることができます。生活や理科、算数の観点からも、日常生活に必要な時間や単位の基本的な知識を身につけることができ、さらに、「校庭の面積はダイニングテーブル幾つ分になるか」など、計算の難易度が上がる課題の吹き出しも設定されており、児童生徒の発達段階に応じて、個別最適な課題についての設定の工夫があることを感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますか。

窪島委員 自分は、ナンバー5「かずとすうじのでんしゃじてん」、それから、ナンバー6「絵で見てわかる単位とはかりかた」についてお話しさせていただきたいと思います。

まず、「かずとすうじのでんしゃじてん」ですが、電車が好きな子にとっては、好きな電車を使いながら勉強ができるので、たまらないだろうなと思いました。どの電車が日本のどこを走っているのかという全国路線地図もあるので、地理の学習にもつながるかなというふうにも思います。数字をなぞったり、クイズをしたり、あるいは見つけたり、これは楽しみながら学習ができるんだらうなというふうに思いました。

次に、ナンバー6の「絵で見てわかる単位とはかりかた」ですけれども、これは様々な単位が載っている本でもあるので、使う子どもの学年に合わせて上手に使ってほしいなとは思いますが、でも全ページにわたって答えをめくる仕掛けが合計150か所もあるので、子どもたちにとっては、とっても興味を引きやすい作りであるなというふうに感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はいらっしゃいますか。よろしいでしょうか。

各委員 はい。

委員長 進めさせていただきたいと思います。

続きまして、No.3の生活・地図・社会から、少し飛びますが、No.6、図工・美術までの教科領域で申請が上がっている38冊の図書についてご意見をお伺いしたいと思います。この中には、ほかの種目でも希望が上がっている図書がありますので、

それも含めてご意見を伺いたいと思いますので、よろしく願いいたします。

では、ご意見がある方は挙手をお願いいたします。

柴山委員 No. 3、生活・地図・社会の2「社会科常識シリーズNew日本列島ジグソー」について述べさせていただきます。

パズルで遊び感覚で繰り返しでき、自然に位置や形を覚えることができるところ、また情報量の多さが、こちらは最新鉄道路線や各地の特産物、世界遺産など、本当に情報量が多く、また、子どもたちがどこに興味を持つかというのは様々だと思うので、どこから興味を持つかは本当に子ども次第だと思うんですが、その部分がどこから入ってくるかというところのいろんな視点で子どもたちは学べるんじゃないかなと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いいたします。

梶委員 私は、生活・地図・社会の10番と国語・書写の20番、体育・保健体育の4番にまたがって挙げられている「チューくんといっしょせいかつのおはなし」についてお話しさせていただきます。

この絵本は、おはようからおやすみまで、家族のやり取りが親しみやすいチューくん家族の姿で描かれており、基本的な生活習慣、身辺自立の具体が子どもたちに大変分かりやすくなっています。生活や社会、保健体育の観点からは、身につけたい生活、健康習慣や社会生活のマナーの習得など、国語の観点からは、平仮名の理解や語彙の習得など、各教科の観点から読んでも、子どもたちの生きる力を育成するための要素が多く盛り込まれている絵本であると思いました。

以上です。

委員長 そのほかご意見のある方はお願いします。

山田委員 生活・地図・社会のナンバー3「なぜ僕らは働くのか」について述べさせていただきます。

この本は、働く上で考えるべき様々なテーマを漫画と図解で多角的に伝えています。内容はやや難しいのですが、自分の将来や職業に不安を感じる小学校高学年や中学生が希望や意欲を持って働くことについて考える機会を与えてくれるよい図書だと感じました。

以上です。

委員長 ほかにご意見のある方はお願いします。

山下委員 ただいま山田委員から、働くことについてお話がありましたが、私も生活・地図・社会の13番「発達障害の子どもたちのためのお仕事図鑑」についてお話をしたいと思います。

こちらは、個人の適性を踏まえながら、どんな仕事があるのか、様々な仕事の内容や1日の流れを把握することができる本でした。子どもたちがその職業をできるかどうかというよりも、やってみたいという思いが持てるように、担任とやり取りしながら、下地づくりをすることができる絵本だと思いました。また、当事者インタビューとして、自閉スペクトラム症の診断を受けた方が、現在、言語聴覚士として活躍されている姿などがあり、生徒が将来の自分の姿を想像しながら読むことができるのではないかなと思いました。

また、12番なんですが、JTBから出ている「るるぶ地図でよくわかる都道府県大百科」についてもお話しさせていただきます。

日本地図や都道府県の特徴が、見どころ、特産品、グルメなど豊富に紹介されております。クイズが基本3択で掲載されておりまして、児童生徒が社会に興味を持ち、担任やクラスメイトとクイズを出し合ったりしながら、楽しく学習ができるのではないかなと思われました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますか。

宮崎委員 私は国土社の「ルールとマナーを学ぶ子ども生活図鑑」のシリーズ2冊について述べさせていただきます。

まず、「子ども生活図鑑」の家庭生活編は、道徳のほうで申請が挙がっています。こちらは、トイレに行くですとか風呂に入る、お箸と茶わんなど、大変具体的で生活に結びついておりまして、場面ごとに身につけてほしい道徳的なマナーやルールを理解しやすいと思いました。また、今後よりよい生活と将来的な自立のためのベースとなるスキルを小学校の低学年の児童が楽しんで学ぶことができるというふうに思いました。

一方、同じ「ルールとマナーを学ぶ子ども生活図鑑」の地域・社会生活編は、生活・地図・社会のほうで申請が挙がっております。近くに出かける、電車に乗る、飛行機に乗るなどの場面から、子どもたちが地域や社会の一員として生活することを意識づけることができると思えます。また、図書館、映画館、駅などを自分の住んでいる地域に当てはめて考えることができますので、地図を使ったり、地域学習をしたり、社会科見学等の社会科の学習に活用できると思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかある方はお願いいたします。

佐々木委員　それでは、生活・地図・社会の11番「あたまと心で考えよう SSTワークシート社会的行動編」についてですけれども、こちらのほうはワークシート形式になっていまして、こんな場合にはどう言ったらいいのか、どうすればよかったのか。例えば、「順番を決めよう」という部分では、なぜ順番を決めるのか、順番がないとどうなるのか、順番を決めるとどんないいことがあるのかということを担当、大人とやり取りをしながら、考え、学習を進めることができると思います。友達とうまく関わることですとか、それから、みんなと一緒に何かを進めるためにどうしたらよいかということを考えることができるという観点から、生活・地図・社会で活用できると考えます。

以上です。

委員長　ありがとうございます。そのほか。

窪島委員　自分からは、先ほどの柴山委員ともちょっとかぶるんですけれども、ナンバー2の「社会科常識シリーズNew日本列島ジグソー」、それから、ナンバー4「生活図鑑カードのりものカード」、それから、ナンバー8の「くださいな！コンビニあそびレジスター」、そして、生活・理科との複数採択種目でもあるナンバー9の「チャイルドブックこども百科くらしとぎょうじのせいかつ図鑑」、この4つについて話をさせてください。

まず、ナンバー2の「社会科常識シリーズNew日本列島ジグソー」ですけれども、これは先ほどのお話にもありましたけれども、一言で言ってしまえば、日本列島の都道府県のジグソーパズルの形になっています。パズルであることから、全国の都道府県の名前や形、位置、そして県庁所在地などが遊びながら覚えられるようになっていきます。ちょっと情報量が多過ぎるかなという気もしないでもないんですけれども、でも、都道府県の形と位置を覚えるには、目と手で確認していくことができるの

で非常に効果的ではないかなというふうに思いました。

次に、ナンバー４の「生活図鑑カードのりものカード」ですけれども、これはカードの裏に自動車とかタクシーとか書いてあるので、それぞれの乗り物の名前を覚えたり、そして読んでいって行く中で、自然と文字に触れることができるのだろうなというふうに思います。また、カードの裏には、その乗り物の仕組みとか歴史なども書いてあって、知識を広げるにもとてもいいのではないかなというふうに思いました。

続いて、ナンバー８の「くださいな！コンビニあそびレジスター」についてです。これは一言で言っちゃえば、おもちゃ絵本で、コンビニごっこが楽しめるような作りになっているんですけれども、授業で買物体験をする前に、校内で意識づけのために使ったり、また品物を買うときに幾らのお金を用意すればいいかというようなことが計算するためには役立つのだろうなというふうに思います。ごっこ遊びが好きな児童には、これもたまらないだろうなというふうに思いました。

最後に、生活・理科との複数採択種目、ナンバー９の「チャイルドブックこども百科くらしとぎょうじのせいかつ図鑑」についてですけれども、イラストや写真がたくさん使われていて、挨拶や食事のマナーとか、掃除やトイレなどの生活の中の身近なテーマが結構取り上げられています。３部構成になっているので、生活全般のほか、平仮名や片仮名、漢字の成り立ちなども載っているのです、この本の使い方次第になるのですけれども、国語や書写にも利用できるのではないかなというふうに思いました。

以上になります。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。

私は、山田委員からもありましたNo. 3、生活・社会・地図の3番、学研の「なぜ僕らは働くのか」という本についてお話しさせていただきます。

「仕事ってなんだ？」から始まり、「どうやって生きる？」、そして「好きを仕事にする？ 仕事を好きに？」という3章の構成から成っています。この各章の間には、実際に働いている方々の「あなたの仕事はどんな仕事ですか。」「あなたは何のために働いていますか」、「あなたの夢はいつ見つかりましたか」という声が入っております。また、なぜ働くのか、なぜ勉強するのかと子どもに聞かれたときに、頭の中では理解していても、言葉でうまく答えられない、子どもからの質問に対しても、一緒に子どもと考え、自分なりの答えを探すためのヒントがたくさん詰まっていました。これらの内容を文字だけではなくイラストと漫画が多く使われていて、大変読みやすく、分かりやすい構成になっていました。特に、本は苦手だけれども、漫画は好きという子どもには、あっという間に読めて、しっかり頭に入ってくるだろうなというふうに感じました。

我が家には、大学1年生の娘と中学校3年生の娘がおりますが、高校受験を控えている中3の娘は、何でみんな学校に行くんだろうとか、大学生の娘は、ずっと学生でいたい、どうして働くんだろうというのを最近口にします。世代的なものなのか、もしくは時代的なものなのか分かりませんが、自分が子どものときには、何で働くんだろうなんて疑問を持ったことがなく、学校を卒業したら働くことが当たり前というふうに思っていたんですが、そう思うと、時代的なものなのか、多様性というものが大いに尊重される世の中になっているんだろうなというふうに感じました。

そして、不登校経験のある人のライフスタイルも載っており、学校に行かなくても生きていく道はあるというふうになっているんですが、そこでは終わっておらず、学校に行かない時間も

大切な時間、その大切な時間を有意義に過ごすという具体的な説明も記されておりました。

就職したらそこがゴールではないというところから、子どもたちにはもちろんですが、この先、自分も何度も読み返せる本だなというふうに思い、早速、自宅用に購入いたしました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いします。

平林委員 私は、No. 4 の生活・理科の 9 番「小学館の図鑑 NEO の科学絵本宇宙探検えほん」と 3 番の「学研の図鑑 LIVE (ライブ) 地球」、それから、8 番の「小学館の図鑑 NEO 野菜と果物」について述べさせていただきます。

9 番の「小学館の図鑑 NEO の科学絵本宇宙探検えほん」は、ところどころに、タブレットのカメラを向けると動画や 3 D C G が見られるような仕組みが掲載されており、子どもたちが視覚的に学べるような配慮がされています。大学生が学ぶような専門的な内容も掲載されていて、地球科学に興味のある子どもたちのもっと学びたいという意欲が高められると思います。また地球温暖化、大気汚染、砂漠化などの地球規模の課題も掲載されていて、子どもたちなりの意識を高めたり、行動の変容の動機づけにもつながると思います。

3 番の「学研の図鑑 LIVE (ライブ) 地球」は、附属の DVD でオーロラやいろいろな気象現象の動画などを見られるようになっていて、より子どもの興味関心を高められるように配慮されていると思います。

8 番「小学館の図鑑 NEO 野菜と果物」は、「やってみようコラム」や「ものしりコラム」の関連情報は、学習の動機づけにもなると思います。また、学校での栽培方法がイラスト入りで詳

しく掲載されており、すぐに活用できると思います。食育用の教材としても効果が期待できます。ニンジンの花やキャベツの花など、植物として見たときの野菜の写真があり、教師も興味深く学べると思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

藤内委員 同じく生活・理科の5番「めくって学べるからだのしくみ図鑑」について述べさせていただきます。

この本は、体の仕組みについて、大きな仕掛けイラストや詳しい解説と分かりやすい図で、子どもの「なぜ?」「どうして?」に丁寧に答えてくれる図鑑となっています。大きな体のイラストは、気になったところを感覚的に指でめくって確かめることができ、さらに知りたいと思ったときには、その先に大変詳しい説明が3Dイラスト、写真とともに書かれています。人間の体に対して関心を高め、疑問に思ったことを追求する力をつけるのに適していると感じました。また、この本は保健体育の1番としても希望が上がっている本ですが、健康や病気についても学習意欲を高めながら学ぶのに適していると考えました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますか。

平林委員 藤内委員がめくって学べるというところで、私から10番の「動く写真で見る野生動物の世界しかけえほんサファリ」について述べさせていただきます。

写真を自分の興味関心によって、速くも遅くも動かすことができ、目と手の協応の発達に寄与するとともに、動物の生態についての子どもたちの気づきを促すことができると思いま

す。難点は、やや価格が高価であることと、一緒についている文章の文字がやや小さいなと感じました。内容は専門的で、大人とともに学ぶことができると思います。

以上です。

委員長 ほかにご意見ある方。

藤内委員 生活・理科の1番「なぞなぞあなあきえほん6たべものかくれんぼ」についてですが、この本は子どもが興味を持ちそうな食べ物についてのなぞなぞ、その答えのヒントが穴の中に見えるような作りになっていて、穴の向こうにある食べ物について考え、わくわくしながらページをめくることで、食べ物への関心が高まり、また、知っている食べ物が増えることで、食に関する安心感の高まりも期待できます。低学年の児童が楽しみながら学習することができる絵本であると思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますか。

繁里委員 私は、生活・理科、④「学研の幼児ワーク3～4歳こうさく」と6番の「こうさく3はじめてのかみこうさく2集」について意見を述べさせていただきます。

いずれのワークも、はさみとのりを使って、切る、折る、貼るといった作業で紙工作を作ります。単純な作業のように聞こえますが、細かい作業や複雑な作業など集中力や手先の器用さがより求められるものもあり、難易度に幅があります。このため、毎回新鮮な気持ちで自分に合ったものを選びながら意欲的に授業に取り組めると思います。

2つとも、今回は図工から生活・理科の種目替えの使用として挙げられておりますが、作り方の説明を読んだり、理科の教

材を作ったり、組み立てたりすることに通ずるところも多いのではないかと思いました。

以上です。

委員長 そのほかございますか。

平林委員 私は、生活・理科の12番の「でんじろう先生のおもしろ科学実験室2ふしぎ実験」について述べさせていただきます。

安全、簡単、安価な材料でできる実験手順が写真つきで子どもたちにも分かりやすく解説されています。理科的な解説もあって、大人にも勉強になります。実験のまとめ方の解説もあり、遊びで終わらせないような配慮もされていると思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。ほかにご意見のある方はお願いします。

山田委員 私からは、図工・美術のナンバー3「こどもの図鑑Mio1むし」について述べさせていただきます。

この本は、虫の暮らしやその仲間を写真とイラストで詳しく解説しています。「カブト・クワガタをさがせ大作戦」など、子どもたちの興味と関心を引き出す内容が満載です。工作や折り紙、絵画の参考図書として適していると思います。

次に、ナンバー4の「色えんぴつでイラスト12色ではじめる色あそび」について述べさせていただきます。この本は、色を楽しむことにこだわり、色鉛筆でイラストを楽しく描けるようになります。色数を絞った簡単でかわいいイラストから始めて、色鉛筆と仲よくなりながら、次第に気になるモチーフを描くための色選びも分かり、どの発達段階においても粘り強く作業に取り組めると感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほか。

平林委員 私は、図工・美術領域の1番と2番「小学館の図鑑NEOのクラフトぶっく」について述べさせていただきます。

はさみを使わず、手で抜けるミシン目入りで、子どもたちにも簡単に抜くことができます。のりも極力使わない仕組みでありながらもリアルな仕上がりなので、クラフトを作りながら、魚や商用車の知識も身につきます。また、出来上がった後に達成感を得られます。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますか。

越委員 No. 5、音楽・器楽の2番の東京書店の「わくわく音あそびえほん新装版ドンドコドンドンたいこであそぼ」と8番の三起商
行の「ポカポカフレンズのおんがくえほんピアノ」についてお話しさせていただきます。

指で触って音が出て、一緒に歌ったり踊ったりできる本は、子どもにとっては大変魅力的なものだと思っております。以前は音を押すと曲が流れる本が主流でしたが、最近は、音に合わせてピアノを弾けたり、太鼓をたたくことができる体験型の本がたくさん出ております。

朝日新聞社の「光る★音でる♪知育絵本リズムにのってぽんぽんたいこ」の本では、録音した声が、例えば先生や保護者の方の音が太鼓の音になるという点が大変いいと思いました。

三起商行の「ポカポカフレンズのおんがくえほんのピアノ」のほうでは、光る鍵盤で興味を引き、曲のテンポまでが変えられます。そういったことから、童謡や音楽を親しむきっかけに

なる大変いい絵本だというふうに感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いします。
ます。

小澤委員 音楽の種目で、3者についてお話をさせていただきます。

 音楽の4番、コスミック社の「いっばいうたおう！どうようえほん」と5番、新星出版社の「おとのでるえほんたのしいてあそびうた」、それから、7番、ベネッセ「しまじろうの歌えほんしまじろうどうようえほん」についてお話しをさせていただきます。

 3者とも、童謡として知られている曲がたくさん収録されていました。モジュールつきで、ボタンを押すとスピーカーから楽しい歌が流れる絵本になっています。歌のお手本入りバージョンとかカラオケバージョンの2通りで収録されていたり、音の強弱ボタンもついていて、使い勝手がいいように工夫されているなと思いました。歌詞とイメージイラストを掲載して、手遊びの説明が丁寧に紹介されています。それから、五感を刺激するまねっこ遊びの歌とか、音感、リズム感を育むことができる内容だと感じました。

 以上です。

委員長 ありがとうございました。そのほかご意見のある方。

藤内委員 音楽・器楽についてお話をさせていただきます。

 先ほど2番の「ドンドコドンドンたいこであそぼ」のお話もあって、これもとってもいろんな音があってすてきだなと思ったんですけれども、私のほうからは3番の「光る★音でる♪知育絵本リズムにのってぽんぽんたいこ」、こちらは、ばちを使わ

ないで、手でポンポンとたたくことで音を鳴らすことができます。音楽に合わせて感覚的に手で太鼓をたたくことで、よりリズムを体感できるのではないかと考えました。入っている曲も、体を動かしながら楽しめるような曲になっています。

それから、ピアノの本で、さっきは8番「ポカポカフレンズ」のお話があったんですけども、私のほうから、6番の「たまひよ楽器あそび絵本すてきなピアノえほんDX」、こちらもピアノの本なのですが、メロディーを流して楽譜を見ながら弾いてみたり、いろんな遊び方ができるようになっていて、特にピアノや鉄琴の音が選べるだけではなくて、ドレミモードにすると、鍵盤を押すと、ドレミとドとかレとか、そういった形で音が鳴るようになっています。楽譜のドレミと合わせて楽しく弾くことができます。たくさん曲が入っていて、速さも調節できるので、自分のペースで学習を進められると感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますか。

澤野委員 越委員、藤内委員も少しおっしゃっていましたが、私も音楽の2番「わくわく音あそびえほん新装版ドンドコドンドンたいこであそぼ」について述べたいと思います。

まず、開いた途端、やってみたいというふうに思わせる1冊です。太鼓などの打楽器は、例えば音色を奏でる鍵盤楽器等に比べますと、様々な発達段階の子どもたちが楽しむことができます。右手と左手を別々に動かすことが難しいという子でも、付属のばちを使って楽しみながら太鼓をたたく経験になります。本の指示どおりにたたくことができるようになったら、自分で工夫しながら、たたいていくというような発展的な学習にもつながると思います。採用されている童謡ですとかアニメソングも、今の子どもたちに合っているなというふうに感じまし

た。多くの子どもが発達段階に応じた学習を行うことができますので、教科用図書としてふさわしいと思いました。

以上です。

委員長 そのほかご意見のある方はお願いします。

宮崎委員 音楽の1番「歌でおぼえる手話ソングブック」について述べさせていただきます。

イラストと解説が大変分かりやすく、指導に当たる大人もとても活用しやすいと思いました。子どもたちと一緒に手話で歌いながら、自然に手話に親しむことができます。また手話であれば、発語がちょっと難しいお子さんにとっても、手や体を動かしながら音楽を楽しむことができます。全部オリジナルソングであるので、日常によく使われる手話表現が繰り返されていて、歌いながら覚えて、すぐに使えるように工夫されているというふうに思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いいたします。

各委員 なし。

委員長 よろしいでしょうか。

それでは、ここで10分間ほど休憩を取りたいと思います。事務局よりご連絡をお願いいたします。

事務局 それでは、傍聴者の皆様にご連絡いたします。傍聴者の皆様は、後ろの扉を出たところにあるお手洗いをご利用ください。14時27分までが休憩となりますので、24分にはお席に戻

るようによろしくお願いいたします。

それでは、休憩といたします。

午後 2 時 1 6 分 休憩

午後 2 時 2 6 分 再開

委員長 それでは、審議を再開させていただきます。

最後に、No. 7 の家庭・職業家庭のところから、一番最後、No. 10 の道徳の教科領域で申請が上がっております 29 冊の図書についてご意見をお伺いしたいと思います。先ほどの教科領域で申請されている図書も含まれておりますが、加えてご意見等がございましたら、よろしくお願いいたします。

では、ご意見のある方は挙手をお願いいたします。

窪島委員 自分は、No. 10 の道徳の中のナンバー 14 「こころのふしぎなぜ？ どうして？」とナンバー 15 「ともだちのつくりかた」についてお話しさせていただきたいと思います。

まず、14 の「こころのふしぎなぜ？ どうして？」についてです。心って何だろうと考えてみても、なかなか僕も答えは見つからないんですけれども、でも、誰もが持っているもの、大切なもの、人の気持ちや願い、思いといったものを考えてみるきっかけになる本なのかなというふうに思います。誰もが自分を振り返ってみるよいきっかけになるんじゃないかなというふうに思いました。

次に、ナンバー 15 の「ともだちのつくりかた」についてなんですけれども、友だちってどうやってつくるのって、これも答えるのは簡単じゃないんだろうなというふうに思うんですね。子どもたちにとっては、入学のときであるとか、それからクラス替えがあるときに、人間関係で最初の試練、一大事と言えるのがこの友だちづくりなのかなと思うのですが、この本の

巻末には、書き込みができるワークシートがついています。そして、自分のことを振り返る、どうやったら誰かと友だちになれるかとか、人間関係の基本的なルールなどがゲームのように楽しみながら学べるようになっていきます。友だちは一生の財産です。この教科書をきっかけにして、よい友達がたくさんつくれるとよいなというふうに思いました。

以上です。

委員長 そのほかご意見のある方はお願いします。

楢委員 私もNo. 10、道徳の2番と3番、それから生活・地図・社会の領域の1番でも上がっている旺文社の「学校では教えてくれない大切なこと」シリーズで、「(12) ネットのルール」、「(9) ルールとマナー」、「(16) 考える力の育て方」の3冊についてまとめて述べさせていただきます。

この3冊は、生活の教科領域の観点から考えても、楽しい漫画を継続して読みながら、社会生活に必要なルールやマナーの知識を身につけることができますと思います。例えばネガティブに捉えやすい情報モラルや生活のルールについてですが、漫画を読むと、その具体的な場面が想像しやすく、分かりやすく説明されており、この本を読むことで自然と情報モラルや社会生活のルールやマナーの知識を身につけることが期待できます。また、「(16) 考える力の育て方」では、悩み、葛藤しながらも納得解を自分自身が生み出していく大切さを登場人物が理解していく、そんな姿から、深く考えることが不得意な子どもたちでも、道徳の授業で身につけたい考える力を育むことも期待できるのではないかと思います。

以上です。

委員長 そのほかご意見のある方はお願いします。

小澤委員　　私は、道徳の種目として3者についてお話をさせていただきます。

4番の偕成社、「日本の絵本いちばんはじめのマナーえほん」については、1つのマナーのタイトルに対して複数の場面を提示して、効率よくその場面での振る舞いが分かるように構成されていました。

それから、12番の小学館の「マンガでわかるよのなかのルール」、これは本のタイトルにあるように、マナーよりもルールに寄った内容になっているなど感じましたが、タイトルどおりなんです、見開き2ページで、左のページには分かりやすく場面の違った4コマ漫画を2つ載せて、理解が深まるように工夫されていました。

それから、16番の日本図書の「おやくそくえほんはじめての『よのなかルールブック』」も、これも見開き2ページで構成されていましたが、文字の量とか配置がシンプルというか見やすくなるように構成されていて、分かりやすいなど感じました。
以上です。

委員長　　ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いします。

宮崎委員　　道徳の5番「こどもせいかつ百科」ですが、具体的な表現とイラストで日常生活に必要な動作について、どんな道具を使って、どのように指先を動かして、そして、支援者がどのように働きかけていけばよいかということを変分りやすく紹介しています。「かさをさそう」などの動作を実践しながら、マナーやルールを身につけ、生活場面と道徳的な学びを結びつけて習得することができると思います。また、児童がこれならやってみようという意欲、そして、やってみたらできたという達成感

を持つことができ、将来的な自立につながると思いました。

もう1点、道徳の10番「かおノート2」ですけれども、こちらは自分や相手の気持ちを考えるのに大変適しています。クッキーの写真、ピーマン、湯飲み、テニスボールなど、様々な土台に、目、鼻、口、ひげなどのパーツのシールを自分で貼っていくという過程で、これはうれしい顔、笑った顔、困った顔、照れた顔などのいろいろな顔があることや、そこから表情を読み取ったり、相手の気持ちなどに気づいたり、想像したりする力を養って、人との関わり方、あるいはコミュニケーションを豊かにする効果があると思いました。

以上です。

委員長 そのほかご意見のある方はお願いします。

佐々木委員 それでは、道徳のところ、私から4冊についてお話をさせていただきます。

まず、1番の「マナーと敬語完全マスター！3町のマナーと敬語」についてですけれども、イラストや吹き出しから、その場面にふさわしくないマナーを見つけるという構成になっています。ただ、ふさわしくないものだけではなくて、よい部分、ここでは「あっぱれマナー」と名づけられていましたけれども、それを見つけることも課題として取り組むことができるようになっています。いろいろな場面を想定しながらのやり取りを通して、どのような行動や言動がふさわしいかを楽しく学ぶことができるのではないかなというふうに思います。

それから、7番の「イラスト版子どものソーシャルスキル友だち関係に勇気と自信がつく42のメソッド」は、自分の思いをどのように伝えたらよいのかを学んでいくことができます。自分を見つめたり、友だちと関わるきっかけを見つけたり、友だちに自分の思いを伝える方法を、担任とやり取りをしたり、

ほかの児童とロールプレイをしたりして学ぶことができると思います。

それから、8番の「イラスト版コミュニケーション図鑑」は、子どもにとって身近である様々な場面が取り上げられています。その場面でどのようにコミュニケーションを取ればいいのかイラストとともに掲載されています。場面ごとのテーマが豊富なので、子どもの抱えている課題に沿って取り組むことができるのではないかと思います。場面ごとに大人とやり取りをしたり、ロールプレイをしながら、多様な学習形態も考えられます。その中で、話す力や聞く力、話し合う力を伸ばしていくことが期待できると思います。

最後に、13番の「あたまと心で考えようSSTワークシート自己認知・コミュニケーションスキル編」についてです。先ほど生活・地図・社会のところで話をしました「あたまと心で考えようSSTワークシート社会行動編」と同様に、ワークシート形式になっています。自分自身を見つめながら、相手との関わり方について、担任とやり取りをしながら学習を進めていくことで、集団や学校生活の中で望ましい関わり方を繰り返し学ぶことができる本だと考えます。

以上です。

委員長 ありがとうございます。では、そのほかご意見のある方はお願いいたします。

岡村委員 私は、No. 10の道徳の中から2冊についてお話をさせていただきます。

私も、まず4番の「日本の絵本いちばんはじめのマナーえほん」についてですが、子どもの毎日の生活習慣と日常の大切なマナーがイラストで分かりやすく紹介されていて、子どもと周りの大人とで一緒に学んでいけると思いました。自分で身につ

けていく習慣やマナー、お友だちや人との関わり方も身につけていけるような教材だと感じました。

次に、5番の「こどもせいかつ百科」についてですが、生活の基本を身につけられるように、順を追って丁寧にイラストで説明されているので視覚的にも分かりやすく、本文は平仮名と片仮名が大きめに書かれているので、文字も読みやすい工夫がされていると思いました。項目がたくさんあり、長く自立に向けて取り組める教材だと思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

越委員 No. 9の英語、4番の「小学生の英語絵ずかん〈しゃべるペン付き〉」についてお話しさせていただきます。

低学年、中学年、高学年の学年層で分けられていて、子どもの成長に合わせた場面の設定と単語が選別されています。また、単語だけではなく、大人が子どもに話しかけるときの表現や答えるときの表現も記載されていて、幅広く学べる本だなというふうに感じました。そして、付属のしゃべるペンでタッチをすると、発音、会話を聞くことができます。英語は好きだけでも、単語をあまり理解していない子どもでも自主的に単語の学習ができ、学習をする意欲が出てくる1冊だなというふうに感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いします。

藤内委員 No. 7、家庭・職業家庭の4番「料理はすごい！シェフが先生！小学生から使える、子どものためのはじめての料理本」につい

て述べさせていただきます。

この本は誰が見ても分かりやすい作りになっており、説明の漢字には全てルビがついています。また、調理の手順が見開き1ページにまとまっており、完成までの見通しが持ちやすい作りとなっています。調理に慣れていない生徒でも、基本の道具の使い方や作り方のポイント、工程写真が示されていて、教師と一緒に調理するとしても、生徒が主体となって実習を進められるような本になっていると考えます。

以上です。

委員長 そのほかご意見のある方はお願いいたします。

佐々木委員 それでは、同じく家庭・職業家庭のところから3冊について話をさせていただきます。

まず、2番の「こどもりょうりのことば絵じてん」は、食事の重要性、マナー、準備や片づけに関わること、道具の使い方や食材、料理について、多くのイラストとともに示されています。食に興味を持ち、大人とのやり取りをしながら、自分にできそうなことを考えてみたり、調理実習をしたり、買物学習の事前準備に活用したりすることもできると思います。学校での学習にはもちろんのこと、家庭での生活、お手伝い等、考える場面等にも生かされるのではないかなと思います。

次に、3番の「小学館の図鑑NEOまどあけずかんたべもの」です。食べ物について、食材や食べる場所、場面、お店にはどのような商品が置いてあるのか、メニュー、仕組みが学べるようになっています。例えば、「なかみ」というページでは、仕掛けをめくることによって、その食べ物の中身がどうなっているのかを知ることができます。興味を持って学べるようになっていると思います。また、めくるという動作が繰り返されるようになっていて、指先を上手に使う練習にもつながると考えます。

最後に、1番の「イラスト版子どものアンガーマネジメント 怒りをコントロールする43のスキル」についてです。家族とよりよい関係を築くことや地域との関わりを深めていく上で、自分の感情をどのようにコントロールしていくのかということは大切なことだと思います。この本は、自分の怒りについて理解、具体的な場面でどのように対応したらよいのかなどを大人とのやり取りをしながら学習を進めることができるようになっていきます。これまで道徳での採択でもありましたけれども、社会の一員として、様々な生活の場面で生かせるので、家庭・職業家庭での活用もできると考えます。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いいたします。

澤野委員 私も家庭・職業家庭の3番「小学校の図鑑NEOまどあけずかんたべもの」についてお話ししたいと思います。

身近な食べ物を扱っているので、子どもの興味を引きやすいのがよいというふうに思いました。とにかくたくさん窓があります。佐々木委員もおっしゃったように、指先を使って全ての窓を開けるということも学びですし、めくったら、そこにどんなことが書かれているのかなということを想像するというのも、また学びになると思います。場面や場所のイラストは親しみやすく、かわいらしいものなんですけれども、食べ物のページは写実的に描かれ、バックの色は1色になっています。説明文も最小限に抑えてあるので、イラストに集中しやすい作りになっているのもよいと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

山田委員 私からは、No. 8、体育・保健体育のナンバー3「ちょうしんきつきからだのずかん」について述べさせていただきます。

この本は、聴診器つきの子ども向け絵本です。ポップアップ式の仕掛け絵本と聴診器で体の様々な名前、仕組みを楽しく学習できます。ポップアップはめくる楽しみがあり、何が出てくるのかわくわくします。ごっこ遊びが好きな児童が聴診器を使って体の名前や仕組みについて楽しく興味を持って学べるため、体育・保健体育の学習に適していると思います。

以上です。

委員長 ほかにご意見のある方はお願いいたします。

佐々木委員 では、私も体育・保健体育の2番「自立生活ハンドブック4からだ！！げんき！？」について話をさせていただきます。

この本は、体の仕組みについてイラストで示されております。また、生活習慣病や心の不調、病気などにも触れられていることで、自分自身の体や病気について興味深く学ぶことができるようになっていきます。指導者とのやり取りをしながら、自分の体の大切さについて学んでいくことができると考えます。これまで理科で採択をされていたところですが、保健に関する内容も充実しており、体育・保健体育での活用もできると思います。

以上です。

委員長 そのほかご意見のある方はお願いいたします。

澤野委員 私も体育・保健体育の2番「自立生活ハンドブック4からだ！！げんき！？」について意見を述べさせていただきます。

子どもたちが健康的な生活を送るためには、体づくりや体力づくりが大切です。健康な体づくりの基礎となるものに食事が

あります。特に特別支援学校や特別支援学級には、偏食のある子どもや口の中の感覚が過敏なために食事に課題があるという子が少なくありません。苦手なものにもチャレンジして食事をしっかり取ることが生活習慣病などの病気の予防につながるということが学べる1冊です。少し難しい内容かなとも感じたんですが、イラストや手書きの文字で親しみやすくしていることと、それから白黒の2色刷りで見やすいというのがよいというふうに思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見ある方はいらっしゃいますか。

柴山委員 No. 7、家庭・職業家庭の1「イラスト版子どものアンガーマネジメント怒りをコントロールする43のスキル」について述べさせていただきます。

自分の感情をコントロールするのは大人になっても難しいなと感じますが、怒りのコントロールをいろいろな事例を踏まえて自分でどのように対応したらよいか、また、どのように捉えたらよいか、考えることができ、佐々木委員もおっしゃっていましたが、今後、社会に出る上でとても必要なスキルだなと感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いいたします。

大石委員 それでは、英語の種目で3つについてお話をさせていただきます。

まず、英語のナンバー2「エリック・カールのえいごがいつ

ぱい」について意見を述べさせていただきます。

こちらは生活・理科のナンバー2でも希望が挙がっているものになります。この本は、エリック・カールの鮮やかな色彩のイラストとともに、生き物、食べ物、乗り物などたくさんの身近な英単語を扱っていて、まず、子どもの興味を引くと思えました。また、カテゴリーごとに単語がまとめられていて、子どもが単語を関連づけながら理解しやすい作りになっていると感じました。特に生き物については、動物や鳥だけでなく、虫や海の生き物など、たくさんの英単語を掲載しておりまして、理科や生活科の学習にも適していると考えます。また、子どもに人気の「はらぺこあおむし」を出版しているエリック・カールの絵を用いることで、いろいろな生き物を身近に感じ、関心を持つようになるのではないかと思います。

次に、英語のナンバー3「めくりしかけえほんたのしいabcのえほん」とナンバー5の「はじめてのさがしておぼえるえいごのことば」についてお話をさせていただきます。

「めくりしかけえほんたのしいabcのえほん」は、アルファベットの文字や子どもにとって身近な英単語を文字や絵をめぐりながらクイズ感覚で学習できるため、子どもの興味を引くとともに、楽しみながら取り組めると思いました。また、絵と単語の頭文字のアルファベットの音が関連づけながら提示されているため、文字と音との関係にも気づいて学習を深めていくことが期待できます。

そして「はじめてのさがしておぼえるえいごのことば」ですけれども、身近な場所や物、シーンがイラストとともにカテゴリーごとに分かれて提示されているため、整理をしながら学習を進めやすいと感じました。さらに掲載されている単語の量が多く、二次元コードを読み取ることで、実際にネイティブな発音も確認できるため、英語に興味関心が高い子どもにとってはより意欲を持って取り組めると思います。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方。

澤野委員 先ほど大石委員もおっしゃっていましたが、私も英語の2「エリック・カールの絵本エリック・カールのえいごがいっぱい」についてお話しさせていただきます。

子どもたちはエリック・カールの絵本が大好きです。ところどころに「はらぺこあおむし」が登場しているのも、この本の魅力の一つです。青虫はキャタピラーっていうんだねなんていうふうに、大人と一緒に単語を発音しながら、どんどんページをめくりたくなるような本です。発達段階によっては、まず日本語の単語を覚えることから始めてもよいと思います。楽しみながら英語に親しむことができるこの本は、教科用図書にふさわしいと感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。

山下委員 私もNo. 9、英語の分野のところから、1番の「ペンがおしゃべり！ベビー&キッズえいご絵じてん500新装三訂版」と、そして、4番、東京書籍「小学生の英語絵ずかん〈しゃべるペン付き〉」についてお話しさせていただきたいと思います。

1番の旺文社「ペンがおしゃべり！ベビー&キッズえいご絵じてん」は、指定のペンで絵や文字をタッチするだけで、その音声の本から流れてくる仕組みの本、さつき越委員もそのようなお話しをしてくださったかと思いますが、ペンが普通のペンではなく、ちょっと太くて重いのですが、音が出るのが楽しいものですから、タッチペンを持つこと、押すことという動作が難なくできるというか、手や指の操作機能を高めることにもつながる、そういうお子さんもいらっしゃるのではないかなと

思います。また、ソングブックもついておりまして、「森のくまさん」などの耳慣れた音楽を英語で歌うようにできる、そういうことも魅力の一つかなというふうに思います。

また、4番の東京書籍「小学生の英語絵ずかん」も、しゃべるペんで絵や文字をタッチすることで音声が出てくる本となっております。日常の生活に即した内容となっております。例えば、朝、学校に登校して、夕方、帰って、家でゆっくりするまでの1日の流れであったり、また、校外学習や行事など身の回りのことを表現できるように工夫されています。こちら音が出る楽しさから、自主的に楽しく学ぶことができるのではないかなと思います。

また、1番も4番もそうなのですが、どちらも意図を持って英語を片仮名で表記しないとしております。なので、文字からではなくて、イラストと音声から英語を学ぶことができるのではないかと考えます。高価、ちょっと高いお値段ではあるかなと思いますが、卒業した後も長く自宅で主体的に学習できるのではないかなと考えます。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はいらっしゃいますか。

各委員 なし。

委員長 よろしいでしょうか。

では、No. 10の最後まで行きました。ありがとうございます。ここまで一般図書につきまして皆様の意見を伺ってまいりましたが、子どもの実態や発達段階に応じて幅広く一般図書の採択が可能となりますように、昨年度まで採択されている一般図書は、「●」の発行者による供給が困難になった図書を除いて

引き続き使用できること、今回審議を行った教科用図書として使用したいと考えている新規図書や複数種目で希望のある一般図書は、いずれも適切であることということによろしいでしょうか。

各委員 はい。

委員長 ありがとうございます。それでは、ほかにご意見がないようですので、議題1「令和7年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書について」の審議につきましてはここまでとしたいと思います。

続きまして、議題2「令和7年度使用藤沢市教科用図書に関する審議結果の答申について」の審議を行いたいと思います。

前回、つまり令和2年度に行われました中学校の採択替えの答申については、各議題の審議結果をまとめた審議のまとめを作成し、会議録を添付資料としておりました。今回の答申をどのような形にするか、ご意見がある方はお願いしたいと思います。どなたかありますでしょうか。

大石委員 前回の審議結果のまとめを拝見させていただいたんですけれども、とても分かりやすいと思いました。前回と同様、審議をまとめたものを答申とする形がよいと思います。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方。

平林委員 答申は、審議の結果が分かりやすく示されることが大切だと思います。私も同様に、審議をまとめたものを答申とし、参考として会議録を添付するのがよいと思います。

委員長 ありがとうございます。そのほかよろしいでしょうか。

各委員 なし。

委員長 それでは、今お話しいただきましたように、答申につきましては、審議の内容をまとめたものを作成し、会議録については参考に添付するという方向でよろしいでしょうか。

各委員 はい。

委員長 それでは、答申については、2回目の中学校用教科用図書の審議、並びに3回目の特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用の教科用図書についての審議を審議の結果としてまとめ、答申するとともに、また資料として会議録を添付することといたします。

改めて、議題2「令和7年度使用藤沢市教科用図書に関する審議結果の答申について」確認いたします。

1点目の第2回審議委員会における議題「令和7年度使用中学校教科用図書の審議について」は、審議してきた結果を種目ごとにまとめた資料を私のほうで作成しまして、それをもって答申とすること、また、審議の会議録を参考資料として添付して、答申とすることにしりたいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員 結構です。

委員長 また2点目といたしまして、本日の議題1「令和7年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書について」は、子どもの実態や発達段階に応じて幅広く一般図書の採択が可能となるように、昨年度まで採択されている一般図書は引き続き使用できること、今回審議を行った教科

用図書として使用したいと考えている新規図書や複数種目で希望のある一般図書はいずれも適切であることと考える旨を答申したいと考えておりますが、皆様いかがでしょうか。

各委員 結構です。

委員長 ありがとうございます。

なお、会議録につきましては添付資料としまして、私と署名委員の佐々木委員で確認をした後に答申するようになりたいと思いますが、それも併せてよろしいでしょうか。

各委員 結構です。

委員長 ありがとうございます。

では、ほかにご意見がある方がいらっしゃればお願いいたします。

各委員 なし。

委員長 よろしいですか。それでは、議題2についての審議も終了いたします。

以上で予定されていた議題に関する審議は終わりましたが、全体を通して皆様から何かご意見等あればお願いいたします。

各委員 なし。

委員長 よろしいですか。

事務局から何かあればお願いします。

事務局 ありがとうございます。それでは、今後の予定について説明

いたします。

事務局といたしましては、今後、本審議委員会の会議録を作成いたしまして、審議委員長に確認をいただきます。審議委員長におかれましては、ただいまの審議の結果を踏まえて答申を作成いただき、会議録を資料として添付し、委員長と署名委員の佐々木委員に確認をしていただきます。その後、審議委員長から教育長への答申を後日行うこととなりますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

委員長

ありがとうございます。

それでは、これもちまして全ての審議を終了しましたので、第3回令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会を閉会とさせていただきます。本日はありがとうございました。

この会議の結果の記載に相違ないことを、確認する。

署名委員

中学校用

(令和7・8・9・10年度用)

『 調 査 資 料 』

2024年(令和6年)6月

藤沢市教科用図書採択審議委員会

目 次

国 語 (国 語)	東京書籍・三省堂	1
	教育出版・光村図書	2
国 語 (書 写)	東京書籍・三省堂	3
	教育出版・光村図書	4
社 会 (地理的分野)	東京書籍・教育出版	5
	帝国書院・日本文教出版	6
社 会 (歴史的分野)	東京書籍・教育出版	7
	帝国書院・山川出版社	8
	日本文教出版・自由社	9
	育鵬社・学び舎	10
	令和書籍	11
社 会 (公民的分野)	東京書籍・教育出版	12
	帝国書院・日本文教出版	13
	自由社・育鵬社	14
社 会 (地 図)	東京書籍・帝国書院	15
数 学 (数 学)	東京書籍・大日本図書	16
	学校図書・教育出版	17
	啓林館・数研出版	18
	日本文教出版	19
理 科 (理 科)	東京書籍・大日本図書	20
	学校図書・教育出版	21
	啓林館	22
音 楽 (一 般)	教育出版・教育芸術社	23
音 楽 (器楽合奏)	教育出版・教育芸術社	24
美 術 (美 術)	開隆堂・光村図書	25
	日本文教出版	26
保健体育 (保健体育)	東京書籍・大日本図書	27
	大修館書店・Gakken	28
技術・家庭 (技術分野)	東京書籍・教育図書	29
	開隆堂	30
技術・家庭 (家庭分野)	東京書籍・教育図書	31
	開隆堂	32
外 国 語 (英 語)	東京書籍・開隆堂	33
	三省堂・教育出版	34
	光村図書・啓林館	35
特別の教科 道徳 (道 徳)	東京書籍・教育出版	36
	光村図書・日本文教出版	37
	Gakken・あかつき教育図書	38
	日本教科書	39

・QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

・表記は、教科書及び趣意書に書かれている表記となっています。

発行者の略称	東書	三省堂
書 名	新編 新しい国語	現代の国語
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3領域とも「てびき」で学習の見通しから振り返るまでを示すことで、何に注目して学習を振り返れば良いか、生徒が主体的に学べるような構成になっている。 ・ 3年生のデジタルコンテンツでは、自分の思いや考えを表現するための語彙を1870語掲載している。また、言語能力のポイントを「言葉の力」として明示し、汎用的に学べるよう工夫している。 ・ 「読書案内」が年間3回設定されており、テーマごとに様々な種類の本の紹介文を示すことで、読書活動の充実を促すようになっている。 ・ 1年生の古典の導入で「浦島太郎」を扱ったり、折り込みの資料を設けたりすることで、生徒が古文の学習への関心や意欲を高める工夫がされている。 ・ 「未来を考えるための9つのテーマ」を設け、学習を通して自分や社会の課題を認識できる構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読むこと教材の「学びの道しるべ」で学習のプロセスを示したり、どのように読めば力がつくのか、読みの方略を図解で示したりすることで主体的な学びを促す工夫をしている。 ・ 各教材の「語彙を豊かに」では、文中に出てきた言葉に関連した他の例や似ている言葉などを学ぶことができ、語感を磨くための様々なテーマが設定されている。 ・ 「私が選ぶこの一文」「ビブリオバトル」「ブックトーク」といった読書活動が設定されているほか、「読書の広場」に複数の教材が配置され、生徒が興味をもって読書に親しめるような構成になっている。 ・ 1年生の「竹取物語」で絵巻物を掲載し、生徒の視覚から古典の世界へ誘う工夫がされている。また、時代背景を捉え、考えを深められるよう歴史教材に年表が付いている。 ・ 平和や環境に関する題材を取り上げ、学習を通して国際社会について考えられるような構成になっている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・ ページの右端に領域ごとにテーマカラーの帯がつけられており、活動の区切りが明確になるよう工夫されている。 ・ 資料編で、本編に掲載している古典に関連する教材を取り上げ、本編教材と併せて読むことで、作品への理解が更に深まるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挿絵や写真を大きく配置している。誰にでも見やすく学びやすい配色で内容を視覚的に捉えることができる工夫がされている。 ・ 資料編は、約100ページで「読書」「社会生活」「参考資料」に分けて掲載しており、広い知識を身につけられるようになっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的なテーマを示すことで、根拠を吟味しながら説得力のある文書を書くことができる学習活動が設定されており、論理的思考を育成できる構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の資料や文章を元にして自分の考えをまとめ、根拠を明確にしながら文章を書くことができる内容が掲載されており、思考力を高められる構成になっている。

発行者の略称	教出	光村
書 名	伝え合う言葉 中学国語	国語
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・教材を読み深めていくための視点 「学びナビ」が教材文の前に設けられ、生徒が学びへの明確な視点を持ち学習に取り組むとともに、主体的な学びを促す工夫をしている。 ・文章の中の情報を理解したり、語彙を豊かにしたりするための言葉や表現を「言葉・情報」として教材末に取り上げており、生徒の考えの形成に生かせる着目点が示されている。 ・単元ごとに「広がる本の世界」を設けており、約10冊ずつ紹介している。また、学校図書館を利用し、その機能の活用を図ったり読書交流を行ったりする教材により、読書活動の充実を促している。 ・1年生では親しみのある昔話「桃太郎」と古典とのつながりが導入として扱われ、生徒が古典作品の学習を通して言語文化を楽しむことができるような構成になっている。 ・SDGs教材を設け、社会や日常生活の中から課題を見つけて解決のためにできる取組について考えを深められるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3領域共通で、見通しから振り返りまでの学習の流れと学習のポイントを「学びへの扉」と「学びのカギ」として明示し、主体的な学びを促す工夫をしている。 ・各学年の「語彙を豊かに」で系統的に語感を高める方法を学び、さらに巻末の「語彙ブック」で語彙を提示し、主体的に語彙を増やすことができる構成になっている。 ・年間2か所に読書案内が設定されており、3ページにわたって複数の本を外国文学、戦争・平和など多様なジャンルごとに紹介し、読書への関心を広げる工夫をしている。 ・1年生で「竹取物語」を扱うほか、解説や観音開きの図版資料を提示し古典の世界に親しめるような工夫をしている。口語訳が本文の左に記載されて生徒にとって分かりやすい紙面構成となっている。 ・各学年の巻頭「学習の見通しをもとう」で他教科やSDGsとの関連を一覧に明示しており、教科横断的に学びを深められるよう促している。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・教材ごとに領域や学習の重点を示すアイコンやマークがページ右上に配置されており、内容の把握が容易となる工夫が見られる。 ・巻末の見返しに『「ふるさと」を巡る』を設けており、各都道府県を代表する作家と作品を写真とともに紹介し、興味や関心を高めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図表は色に頼ることなく形や線の種類、濃淡等で識別でき、誰にとっても見やすいものとなっている。 ・資料編には、身につけた力を確認する「学びのカギ」一覧や、書いたり読んだりするときには手がかりとなる資料を掲載し、学習理解を深められるようになっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な題材を例に自分の考えを持ち、根拠と反論を入れた説得力のある文章を書くことができるような構成になっている。また、思考の方法が図式化されており、思考力を高める工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・領域を超えて資質・能力を活用できるよう「読むこと」と「書くこと」のバランスを考えて教材が配置されている。また「思考のレッスン」で論理的思考の基礎を学べるよう工夫されている。

発行者の略称	東書	三省堂
書 名	新編 新しい書写	現代の書写
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・硬筆で課題を共有し、毛筆で確認後、再度硬筆で定着を図ることで、毛筆と硬筆の関連を意識できる構成になっている。 ・行書の特徴を理解しやすいよう、初めにポイントが短くまとめられ4つの行書の動きを生かして他の文字も書けるような工夫がされている。 ・日常の学習や生活に役立つよう、各学習内容の「生活に広げよう」や巻末の「書写活用ブック」に様々な書式の例が掲載されている。 ・主体的・対話的で深い学びを実現させるために「1. 見つけよう」「2. 確かめよう」「3. 生かそう」という項目を通して、生徒に考えを促す問いを投げかけ、自ら考えることができるような工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・硬筆で形を捉えてから毛筆に入ること、毛筆で学んだことを、硬筆で書く際にも生かせる構成となっている。 ・行書と楷書の特徴を順番にまとめている。また、書く場所が豊富で硬筆で繰り返し書くことにより、学びが確かなものに行けるよう工夫されている。 ・「書いて身につけよう」の項目では、普段の文字に生かせるよう、多様な場面を想定し、自発的に練習できるつくりとなっている。 ・主体的・対話的で深い学びを実現させるために「書き方を学ぼう」「書いて身につけよう」の順で見通しを立てて学習に臨み、硬筆で書いて確認できるような構成になっている。また、「振り返ろう」では学習の前後を比較できるような工夫がされている。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な単語やポイントを太字にして、必要な情報が理解しやすくなるようにつくりとなっている。 ・多くのページで教科書の向きを変えずに手本が見えるような構成になっており、行書では注意点や筆順が色や数字で分かりやすくなるよう示されている。 ・生活に関わる写真が掲載されており、実生活でどのように使われているか生徒が理解しやすくなる工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書き方のポイントや学習すべき内容と、実際に書く文字のフォントが区別しやすいように分けられている。 ・多くのページで教科書の向きを変えずに手本が見えるような構成になっている。また、学ぶページと書き込むページがわかりやすくなるよう色分けされている。 ・資料の写真が、掲載のねらいが伝わりやすくなるような工夫がされている。
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードから毛筆教材の運筆動画等を確認できる。 ・1年で「身につける」2年で「使い分ける」3年で「使いこなす」という段階が明示されており、学年ごとに何を学ぶのかわかりやすい構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書き方のコツが簡潔に矢印で示されており、課題が明確に表現されている。また、二次元コードから詳しい説明を確認できる。 ・説明のページと書くページが分かれており、構成が分かりやすく示されている。

発行者の略称	教出	光村
書 名	中学書写	中学書写
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「硬筆での試し書き→毛筆→硬筆」の構成となっており、毛筆の学びを硬筆に生かせるようになっている。 ・朱筆で書いた写真により、筆脈が視覚的に分かりやすく示されており、行書特有の筆使いの習得が図れるようになっている。また、「気づき」や「まとめ」を書く欄があり、身についた能力を確認できるような構成になっている。 ・日常生活に生きてはたらく書写力を育み、主体的な文字の使い手になるような構成になっている。 ・生徒が自分の課題を解決していくためのヒントとして「目標→考えよう→生かそう→振り返ろう」という段階が設けられており、主体的・対話的で深い学びを実現させるような工夫がされている。また、話し合い活動や気づいたことをメモする欄が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆と同じ学習要素をもつ硬筆課題が豊富に設定されており、毛筆での学びを硬筆へと生かせるようなつくりになっている。 ・行書の学習の初めに、行書の特徴を4色の行書スイッチとして示し、生徒が主体的に学ぶきっかけを作っている。また、行書の特徴を確認しながら練習できるような工夫がされている。 ・学校生活や日常生活に紐づけた題材が設定されており、書写の基礎基本を身につけられる構成となっている。また、別冊があることによって、繰り返し練習することができるようになっている。 ・「1. 考えよう」「2. 確かめよう」「3. 生かそう」という段階を設けることで、生徒が見通しをもち、主体的・対話的で深い学びにつながるような工夫がされている。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行間や空間に余裕があり、文字が見やすくなっている。 ・多くのページで教科書の向きを変えずに手本が見えるような構成になっているとともに、朱筆の手本による筆脈の動きを分かりやすく図示してある。また、毛筆と硬筆が見開きで学習できるつくりになっている。 ・半紙形の紙面が教材文字のみになっており、取り組みやすいつくりになっている。後半は説明やコラムの写真資料が豊富で、わかりやすくなるようなつくりになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて色やフォントを使い分けており、生徒が見やすくなるような構成となっている。 ・多くのページで教科書の向きを変えずに手本が見えるような構成になっているとともに、毛筆の手本は見開きを使って大きく示されており、実物大で練習しやすいよう工夫がされている。 ・情報が伝わりやすくなるような資料の配置になっている。後半には漫画が挿入されていたり資料として写真が多く掲載されていたりするなど、視覚的な工夫がされている。
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目次に二次元コードがあり、毛筆教材の運筆動画やワークシートなど学習に役立つ情報が豊富に用意されている。 ・「試し書き」と「まとめ書き」の欄があり、学習前後の比較、振り返りができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各ページの二次元コードを開くと動画が斜めから撮られており、筆使いを確認できる工夫がされている。 ・別冊では硬筆を主に扱い、本冊は毛筆に重点を置くことで、学習を進めやすい構成になっている。

発行者の略称	東書	教出
書 名	新編 新しい社会 地理	中学社会 地理 地域にまなぶ
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「地理を学ぶ5つのミカタ」を示し、地理的な見方・考え方が働くように工夫され、各学習内容やまとめではマークで視点を例示している。 ・「みんなでチャレンジ」で主体的・対話的な活動を行い、多様な意見にふれながら多面的・多角的に考察ができるような工夫がある。 ・持続可能な社会の実現を意識できるよう全体を5つのテーマで貫き、「未来にアクセス」や「もっと知りたい」を設け、より広い視点で学習課題に迫れるような工夫がある。 ・北方領土および竹島に関しては、不法に占拠、尖閣諸島については、日本が有効に支配しているため領土問題はないと明記されている。 ・各単元の導入部に小学校の既習内容を振り返るページが設定され、オリジナルのQRコンテンツで既習事項や関連事項を確認できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「地理的な見方・考え方」を5つ示し、学習内容ごとに地理的な見方・考え方が身につくような「学習課題」を提示している。 ・各章や編の「学習のまとめと表現」で多面的・多角的な考察を促す問いや、グループでの対話的な活動ができるような課題がある。 ・持続可能な社会の実現を視点に学習できるよう、特設ページ「クロスロード」を設けるほか、「地理の窓」のコラムで、人権尊重や多文化共生の内容もあるなど、視点を変えて課題に迫れるような工夫がある。 ・北方領土および竹島に関しては、不法に占拠、尖閣諸島については、日本固有の領土であり、日本が領有し、有効に支配を続けてきたと明記されている。 ・地理・歴史・公民の学習の連携を意識できるよう巻頭で相互の関係を示し、頁の下部には、学習内容と関連する他分野の学習が示されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・難しい用語を解説する「もっと解説」のコーナーに加え、巻末に用語解説がまとめて掲載され、QRコンテンツ「社会科用語マスター」においても詳しく解説されている。 ・小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し、読み取りやすいゴシック体のふりがなを採用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・側注解説により、本文の記述や言葉を補足し、詳しく解説したものが記されており、巻末にも用語の解説が豊富に掲載されている。 ・文章は、中学生の発達段階を考慮した、平易な表現になっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードから、単元学習を予習・復習できるコンテンツ、ワークシート、映像資料にアクセスし、学習に活用できるような工夫がある。 ・学習の流れが可視化され、単元を貫く「探究課題」を立て、それを解決するために必要な学習プロセスがわかるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードから、「役立つリンク集」や動画、クイズにアクセスし、学習に活用できるよう工夫されている。 ・見開きごとに「学習課題」と、それに対応する「確認!」「表現!」を設け、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。

発行者の略称	帝国	日文
書 名	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	中学社会 地理的分野
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に「地理的な見方・考え方」を5つ示し、見方・考え方を働かせながら章や節を貫く問いの解決に向けて取り組めるよう1単位時間ごとに問いを示すとともに、毎時の学習課題が設定されている。 ・ 各章や節末の「学習を振り返ろう」では、個人やグループで多面的・多角的に考察し、表現する活動がある。 ・ 持続可能な社会に向けた行動を促す工夫として、特設ページと本文ページに「未来に向けて」のコラムを設け、未来の社会をつくるための具体的な取組を確認しながら、学習課題に取り組めるよう工夫がある。 ・ 北方領土および竹島に関しては、不法に占拠、尖閣諸島については、日本固有の領土であり、解決すべき領有をめぐる問題はないと明記されている。 ・ 見開き頁の下部に小学校での学習や他分野・他教科と関連のある題材に関連を示し、既習事項をふまえて学習できる工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に「地理的な見方・考え方」がイラストを用いて解説され、1単位時間ごとに見方・考え方を使った問いが設けられている。 ・ 章や節の導入で問いとともに、地域学習では、自ら問いを立てる学習が設定され、章末や節末の「学び合い」には、主体的・対話的な活動を通して、多面的・多角的に考察を促す学習課題がある。 ・ 持続可能な社会について考えることができるよう、巻頭に「持続可能な社会と私たち」、地域学習で「持続可能な地域をめざして」のコラムなど、教科書全体を通して教材が扱われている。 ・ 北方領土および竹島に関しては、不法に占拠、尖閣諸島については、日本固有の領土として管理されてきており、領土問題は存在していないと明記されている。 ・ 頁下部に小学校や、他分野との学習の関連を示したコーナーを設け、既習事項や他分野に関連する事項を確認、活用できるようにしている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 難しい用語について、見開きページ内に「解説」が設けられ、学習しているページを開いたまま確認できるよう工夫がある。 ・ 重要語句を示すゴシック体で記された用語にはルビがふられ、見やすさにも工夫が施されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 難しい語句の解説が、巻末の「用語解説」にまとめて記載されている。 ・ 小学校6年生以上で学習する漢字の初出箇所と、すべての重要語句にルビを付けて、読み取りやすい工夫がされている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ QRコードから学習内容とリンクした動画、スライド、ワークシートの利用ができ、学習の定着を図る工夫がされている。 ・ 「学習を振り返ろう」では、問いの解決に向けて必要な「見方・考え方」が示され、学習の参考にできるよう工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二次元コードから、動画や確認テスト、確認小テストなどのコンテンツの利用ができ、生徒の個別学習に対応できる工夫がある。 ・ 学習の見直しをもてるよう「章・節の問い」、毎時の「学習課題」を章末等の「まとめとふり返り」が設定されている。

調 査 資 料

教科：社会

種目：歴史的分野

NO. 1

発行者の略称	東書	教出
書名	新編 新しい社会 歴史	中学社会 歴史 未来をひらく
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的な見方・考え方を働かせながら、課題解決的な学習のために必要な技能を身につけられる活動コーナーが多数取り入れられている。 ・「みんなでチャレンジ」では、対話的活動を促すコーナーを設け、多様な意見に触れながら考察できるようになっている。 ・現代的な諸課題を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の5つのテーマで捉え、持続可能な社会の形成を意識しながら学習を進められるようになっている。 ・本文に加え、特設ページなどで、同和問題や、アイヌ民族、琉球王国の歴史等について扱い、人権尊重・多文化共生の意識を高められるよう工夫されている。 ・各単元の導入部に、小学校社会科で学習した内容を用語や写真で振り返るページを設けて、小・中の学習のつながりが円滑となるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・章の最後に「学習のまとめと表現」を設け、基礎基本の定着を図るとともに、歴史的な見方・考え方を働かせられるよう考察し、表現する学習活動が設けられている。 ・特設ページで、視点を変えて捉え直すテーマを設定し、生徒にとって身近な話題と照らし合わせることで、多面的・多角的に考察できるようになっている。 ・特設ページにSDGsの目標と関わりが深い学習内容についてマークを配すほかに、「歴史学習の終わりに」で、これまでの学習を生かして現代の課題についてSDGsの視点から問いを立て調査・考察、発表・交流する活動を取り上げている。 ・沖縄と北海道の歴史について調べ学習ができる構成となっており、人権尊重・多文化共生に向けた意識を高められるよう工夫されている。 ・小学校で学習した人物にマークを配したり、そのページの学習内容と関わりのある他分野の学習内容を示したりしている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・A B版である。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用し、多くの生徒にとって見分けやすいよう配色にも配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A B版である。 ・紙面でもデジタル画面でもユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインに基づく配色をしている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「一遍聖絵」「後醍醐天皇」の肖像画の所蔵場所として、本市にある清浄光寺が掲載されており、地域の歴史への関心を高めさせるものとなっている。 ・QRコンテンツを用いて、既習事項の振り返り、動画視聴など、個人に合わせた学習ができるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「一遍上人絵伝」「後醍醐天皇」の肖像画の所蔵場所として、本市にある清浄光寺が掲載されており、地域の歴史への関心を高めさせるものとなっている。 ・二次元コードからコンテンツの種類（リンク、動画、クイズ）がマークで表示されており、視覚的な工夫がされている。

調 査 資 料

教科：社会

種目：歴史的分野 NO. 2

発行者の略称	帝国	山川
書 名	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	中学歴史 日本と世界 改訂版
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との 関連 内容・構成 教科・種目別の 観点	<ul style="list-style-type: none"> 各時代のはじめに「タイムトラベル」を設け、イラストの読み解きや「見方・考え方」を働かせる活動を通して、生徒が学習する時代の見通しを立てられるような工夫がされている。 「地域史」や「歴史を探ろう」などのコーナーで、具体的なテーマを設定し、様々な視点から考察し社会の多様性を認める態度の育成を図ることができるよう工夫されている。 「環境・エネルギー」「防災」「人権・多文化」「平和・安全」「情報・技術」「伝統・文化」の6つのテーマで持続可能な社会の視点を養う「未来に向けて」を設け、より良い未来を創造するための知識と態度を育める配慮がされている。 より良い未来を創造するために人権などに関するコラムを設け、生命や個人の価値を尊ぶ態度を養えるよう工夫されている。 「小・地・公の関連アイコン」などを示すことで、既習事項を踏まえて物事を多面的・多角的に捉えることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 因果関係を重視した本文の記述に加え、写真や図絵、資料などに多くの発問を設けることで、歴史的な見方・考え方が身に付けられるようなつくりになっている。 「ステップアップ」や「章のまとめ」に、様々な立場や出来事から多面的・多角的に考察できるような工夫がされている。 世界と日本の歴史との関連や、現在の国際情勢との関連を踏まえた叙述になっており、グローバル化が急速に進む社会を生きる生徒を育てる工夫がされている。 男性中心に偏りがちな歴史における女性の活躍が学び取れるよう、女性を取り上げた人物コラムを設け、男女の平等を重んずる配慮がなされている。 第1章1節で小学校で学習する人物を取り上げ、第5章以降で「近代化」など高等学校での学習でも求められる概念を盛り込むなど、小・中・高の円滑な接続ができるよう工夫されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> A B版である。 ユニバーサルデザインフォントを使用し、多くの生徒にとって見分けやすいよう配色にも配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> A B版である。 ユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインに基づく配色をしている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> 「一遍上人絵伝」「後醍醐天皇」の肖像画の所蔵場所として、本市清浄光寺を掲載するほか、参勤交代の道のに藤沢の記載があり、地域の歴史への関心を高めさせるものとなっている。 学習内容の習得や調べ学習を支援するQRコンテンツが掲載され、生徒の個別最適な学びを支援するようにつくりになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「一遍上人絵伝」「一遍」「後醍醐天皇」の肖像画の所蔵場所として、本市にある清浄光寺が掲載され、地域の歴史への関心を高めさせるものとなっている。 二次元コードを用いて、画像を拡大して見たり、動画で理解を深めることができるようになっている。

調 査 資 料

教科：社会

種目：歴史的分野

NO. 3

発行者の略称	日 文	自 由 社
書 名	中学社会 歴史的分野	新しい歴史教科書
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との 関連 内容・構成 教科・種目別の 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・本文ページに「見方・考え方」コーナーが毎時間設けられており、学習課題の解決に向けての手掛かりとなるような工夫がされている。 ・「チャレンジ歴史」では、複数の資料を用いて、考えたり、対話したりするなど、多面的・多角的に考察できるような工夫がされている。 ・「先人に学ぶ」や「チャレンジ歴史」をはじめとしたコラムや特設ページ等を設けるなど、現代的な諸課題について歴史的・国際的な視点を踏まえて学習に取り組めるよう工夫されている。 ・本文ページのほかに、「歴史を掘り下げる」で、現代に続く課題の歴史的背景から今日までの取組を学ぶことができる教材を掲載している。 ・命の尊さや伝統・文化などをテーマに据えたコラム「先人に学ぶ」などを設置して、道徳教育との関連を充実させるなどの工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各章末に時代の特徴を考えるページを設けて、時代を比較するなど、歴史的な見方・考え方を働かせる学習ができるよう工夫されている。 ・「外目の目から見た日本」など外国人から見た日本や日本人の姿を取り上げ、外からの客観的視点から多面的・多角的に考察できるように工夫されている。 ・他国、他民族を尊重するなど国際友好の大切さを感じることができるコラムを掲載している。 ・近代日本女性の教育に生涯を支えた人物を取り上げ、外国人の客観的視点から、日本社会で日本の女性が高い尊敬を受けていることを紹介するなどの工夫がされている。 ・各章の「登場人物の紹介コーナー」の年表を使って小学校での既習事項や人物の確認ができるなど、小学校での学習事項との接続に配慮している。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・A B版である。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインに基づく配色をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A B版である。 ・本文の文体を、親しみやすい「です・ます」体になっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「一遍上人絵伝」「一遍」「後醍醐天皇」の肖像画の所蔵場所として、藤沢市清浄光寺の記載があり、地域の歴史への関心を高めさせるものとなっている。 ・QRコンテンツを使用することで、各自の学習進度に合わせた教材を選択できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「一遍上人絵伝」「一遍」「後醍醐天皇」の肖像画の所蔵場所として、本市にある清浄光寺の記載があり、地域の歴史への関心を高めさせるものとなっている。 ・各章末に復習問題ページを設けて、基本事項の定着をはかるための工夫がされている。

調 査 資 料

教科：社会

種目：歴史的分野 NO. 4

発行者の略称	育鵬社	学び舎
書 名	新しい日本の歴史	ともに学ぶ人間の歴史
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「年代や時代区分の表し方」、「歴史的な見方・考え方を働かせる」で時代や年代、推移、比較、相互の関連、現在とのつながりといった歴史学習に必要な「社会的事象の歴史的な見方・考え方」の具体例を挙げて説明している。 各章末に「学習のまとめ」を設け、各時代の人物や生活、文化などについての資料を複数掲載することで、多面的・多角的な視点で考察が深められるようになっている。 現代社会における日本や世界の諸課題において、日本の果たすべき役割を考える課題を設定するなどの工夫がされている。 主体的に社会の形成に参画できるよう、男女の平等、自他の敬愛と協力など、先人の取り組みの資料やコラムを掲載している。 「歴史の流れと先人の活躍」で小学校で学んだ歴史上の人物について、いつの時代にどのような活躍をしたか確認できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各時代の章のはじめに、各地域の生活や世界のつながりを視覚的にとらえられるようにし、生徒の課題意識を育成できるよう学習課題を明示し多面的・多角的に考えられるような工夫がされている。 章末に学習のまとめなどを設けて、推移に着目し、歴史的な見方・考え方を働かせる学習ができるような工夫がされている。 世界史教材を多く設定することで、共存や連帯の意識を生み出し、自国や地域を主体的に認識しようとする姿勢を育む配慮がされている。 女性の生きる姿や沖縄、アイヌの人びとの取組を具体化するなど、主体的に社会の形成に参画しようとする態度を培う工夫がされている。 「歴史を楽しく学ぼう」で小学校の学習をふりかえり、調べ学習の方法を体得できるような構成になっている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> A B 版である。 ユニバーサルデザインフォントを使用し、多くの生徒にとって見分けやすいよう配色にも配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> A 4 版である。 地図やグラフをカラーユニバーサルデザインに基づく配色にしている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> 「一遍上人絵伝」「後醍醐天皇」の肖像画の所蔵場所として、本市にある清浄光寺の記載があり、地域の歴史への関心を高めさせるものとなっている。 各章の導入にある二次元コードを用いて、学習内容に関連した動画視聴、情報収集をして、自主学習ができるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「一遍聖絵」の所蔵場所として、本市にある清浄光寺の記載があり、地域の歴史への関心を高めさせるものとなっている。 生徒が問いや疑問をもてるよう、興味のわくタイトル、関心を引き出す学習課題が設定されている。

調査資料

教科：社会

種目：歴史的分野 NO. 5

発行者の略称	令書	
書名	国史教科書 第7版	
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・「国史を学ぶにあたって」で、歴史的な見方・考え方を働かせるための視点として、年代と時系列、推移、比較、関連、現在とのつながりについて説明されている。 ・歴史上の様々な事象に疑問を持ち、自ら探究できるきっかけとなるコラムを、多数配置する工夫がされている。 ・持続可能な社会の実現のために、国際社会における日本の役割についての学習課題を設けるほか、他国との助け合いの歴史を記述し、国際的な相互理解の重要性に気付かせるような工夫がされている。 ・アイヌ文化を紹介したり、明治・大正期の沖縄や北海道を、年表をつけて紹介したりするなど、人権尊重・多文化共生へ配慮した構成となっている。 ・「歴史カードを作ってみよう」で、小学校で学んだ学習の振り返りとして、人物と文化について、調べ学習をする構成になっている。 	
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・A5版である。 ・縦書きで表記されていることで、読書をするように読むことができる構成になっている。 	
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・一遍の中心寺院や「後醍醐天皇」の肖像画の所蔵場所として、本市にある清浄光寺の記載があり、地域の歴史への関心を高めさせるものとなっている。 ・二次元コードで、漫画『承久の乱』を読むことができるようになっている。 	

発行者の略称	東書	教出
書 名	新編 新しい社会 公民	中学社会 公民 ともに生きる
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> 各章の「探究のステップ」で探究課題の解決を助ける問いが設定され、課題解決に向けた思考力・判断力・表現力を育む工夫がなされている。 選挙権年齢と成年年齢の満18歳以上への引き下げに対応して、実際の選挙の流れや契約における注意点を理解できる「18歳へのステップ」を設け、主権者意識を高める工夫がされている。 「ちがいのちがい」で身近な事例から人権が守られる社会を創るために、どのように社会に関わるか考えられるよう工夫されている。また、持続可能な社会の実現に向けて「人権・平和」などの多様な側面から考えられるよう工夫されている。 領土をめぐる問題やパレスチナ問題と中東和平、沖縄復帰50周年など平和に関する課題を複数掲載し、国際平和のために解決すべき課題を考えられるよう工夫されている。 各章の始まりで、小学校で学習した語句や写真が掲載され、章末の「もっと知りたい」で関連する教科、分野、ページが表記されるなど、学習内容と関連付けて考えられるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元を通して課題解決的に学習を進められるよう、追究する問いを明示し単元の終わりにはまとめのページを設け、思考力・判断力・表現力を培いながら多面的・多角的に考察できるように工夫されている。 選挙制度や消費者の権利と責任などについて理解を深め、18歳に向けて社会に参画していく意識が高められるよう工夫されている。 日本における人権をめぐる課題や解消に向けた取組を紹介している。また小学校での学習や他教科、SDGsなどを軸に学習が展開できるように工夫されている。 領土問題のほか、特設テーマを設け、その中で異常気象、戦争や紛争の今日的な課題などを扱い、平和的解決に向け主体的に考えられるように工夫されている。 章の冒頭で、給食を例に挙げたり、欄外に小学校6年生の学習とのつながりを設けたりするなど、身近な事例から主体的に考えられるような工夫がされている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> 1つの単元を見開き2ページでおさめ、学習計画が立てやすくなるよう工夫されている。 ユニバーサルデザインフォントを使用するとともに、グラフや地図などで配色に配慮し、誰もが学習しやすくなるような工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開き2ページで1単位時間を原則としており、整理・考察しやすい分量や配分になっている。 ユニバーサルデザインフォントを使用し、本文や資料をフォントやポイントの違いで区分するなど、視認性が高まるよう配慮をしている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> 全ての単元にQRコンテンツが掲載され、導入・展開・まとめなど授業内で活用できるようになっている。 「探究課題」、「探究のステップ」、「学習課題」の3段階の問いが学習の流れを可視化し、考えを整理、表現できる構成となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードから各種コンテンツにアクセスし、学習に活用できるようになっている。 「学習課題」、「確認」、「表現」を設け1時間ごとの追究課題を提示し、自分の言葉で表現できるよう構成されている。

発行者の略称	帝国	日文
書 名	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	中学社会 公民的分野
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・「アクティブ公民」を設け、様々な立場を踏まえて議論を進め合意形成を目指す活動を通じ、現代社会の見方・考え方を働かせ課題に取り組めるよう工夫されている。 ・特設ページ「18歳への準備」で、18歳に向けて身につけたいメディアリテラシー、契約、ライフプラン、金利などの実践的な知識や技能を習得し、主権者として社会参画を促す工夫がされている。 ・人権に関する中学生の作文や、差別をなくす様々な取組の事例を通じ、「個人の尊重」の重要性が理解できるよう工夫されている。また、巻頭でSDGsの目標と実現に向けた各地の取組を紹介し、本文では持続可能な社会に向けて主体性を養えるよう工夫している。 ・「領土をめぐる取り組み」のほか、ロシアによるウクライナ侵攻を掲載し、紛争の背景と平和構築の課題について考えられるよう工夫されている。 ・部の冒頭とページ下部に小学校、他分野、他教科との関連事項が記載され学びのつながりを図る工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティビティを設けるなど、主体的・対話的で深い学びを実現できるよう見方・考え方を働かせて学ぶことができる工夫がされている。 ・「明日に向かって」のコーナーで契約やキャリア教育など18歳成人に関わる内容を取り上げ、主体的に社会に参画する意識が高められるような工夫がされている。 ・人権について、従来及び現代における様々な課題が掲載され、点字加工ページを設け実物に触れられるなど、具体的に捉えられるよう工夫されている。また、巻頭や本文ページで、持続可能な開発目標に関わる現代的な課題を考えられるよう工夫されている。 ・「日本の領土をめぐる問題」や、コラムで「パレスチナ問題」、「ロシアによるウクライナ侵攻」、写真で「アメリカ同時多発テロ」、「シリアの紛争」など平和について考える学習課題や資料を取り上げている。 ・章の冒頭に「小学校で学習した内容」が掲載され、学びのつながりを図る工夫がされている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・1見開き1時間での授業を原則とし、学習計画を立てやすくなるよう工夫されている。 ・図版に背景色や囲み線を入れることや、ユニバーサルデザインフォントを採用し、重要語句を示すゴシック体の太さやルビを工夫するなどの配慮をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1授業時間を見開き2ページでまとめ、授業計画を立てやすくなるよう工夫している。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用し、小学6年生以上で学習する漢字の初出箇所などにルビを付けるなど工夫されている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・QRコンテンツを活用することで、主体的に学習内容を深めることができるよう工夫されている。 ・章・節の冒頭で問いを示し、末尾に課題を設けることで学習の見通しと振り返りができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・QRコンテンツを活用することで、各自の進め方に合わせて学ぶことができるよう工夫がされている。 ・章・節の単元を貫く問いを示し、まとめと振り返りで章の問いを改めて考えられるよう工夫されている。

発行者の略称	自由社	育鵬社
書 名	新しい公民教科書	新しいみんなの公民
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・「アクティブに深めよう」で、課題について生徒同士で話し合う活動が設定されており、主体的・対話的で深い学びにつながるよう工夫されている。 ・本文中の主権者としての学習のほか、「もっと知りたい」では「選挙制度と政治参加」が設けられ、選挙制度と政治の関係についての課題が記載されている。 ・人間の尊重について、基本的人権を中心に深め、「もっと知りたい」では「権利の平等に関する問題」など、発展的に学習ができるよう工夫がされている。また、学んだことをいかして持続可能な日本と世界が形成されるよう「課題の探求」などで学習が深められるよう工夫されている。 ・領土問題や拉致問題等を扱ったり、ウクライナ紛争、パレスチナ問題など世界の対立・紛争地域を紹介したりするなど、世界平和について学ぶことができるよう工夫されている。 ・働くこと及び「職業」の意味について理解できるようにするなど説明が工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「やってみよう」で、学習した知識をもとに複数人で意見交換しながら課題解決について考えることができるよう工夫されている。 ・章末の「これから」を考えるワークシートで、主権者として未来の姿を構想できるよう工夫されている。 ・「憲法の入り口」のコーナーを設け、基本的人権に関する憲法の条文と現代社会の事例を照らし合わせ、人権を尊重するために憲法がどのように保障しているかを考える工夫がされている。また、持続可能な社会の形成について、教材を紹介するなど、生徒自身が考えられるよう工夫されている。 ・「拉致問題と私たち」、「日本の領土をめぐる問題」を大きなコラムで特集し、日本人としてどの様に向き合っていくかをキャラクターが発問するなど、互いの利益が一致しない中でどの様に共存していくかを考える工夫がされている。 ・章の入り口でキーワードの語群と写真を掲載し、小学校の学習を振り返り、これまでの学習とのつながりを意識できるよう工夫されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・1授業時間で見開き2ページ程度でまとめられている。 ・各単元の重要語句はゴシック体の太字になっており、大事な語句を意識できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1つのテーマについての学習内容が1授業時間で見開き2ページにまとめられている。 ・ユニバーサルデザインフォントを採用し、ふりがなにゴシック体を用い、読みやすくなるよう工夫されている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の探求などで、インターネットを活用して情報を収集することなどが記されている。 ・「やってみよう」や各章末の「学習のまとめと発展」で学習が深められるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードで学習内容に関する動画を閲覧でき、より理解が深まるよう工夫されている。 ・「課題」「確認」「探究」を設け、学習内容の見通しとこれまでの学習を深められるよう工夫されている。

発行者の略称	東書	帝国
書 名	新編 新しい社会 地図	中学校社会科地図
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特徴を捉える上で必要な主題図だけでなく、グラフ等も複数の資料を組み合わせ掲載されており、生徒が多面的・多角的に考察できるような構成になっている。 ・日本の統計の人口構成割合や産業別割合がグラフ化されており、生徒にとって視覚的にわかりやすい構成になっている。 ・断面図を掲載している地点が線で示されており、生徒が高低差等の地形がイメージしやすくなる工夫がなされている。 ・日本の自然災害や防災施設の例、ハザードマップを掲載する等し、様々な災害や防災への取組を学べるよう構成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な主題図が掲載されており、各図の要素を比較していくことで、思考力・判断力・表現力を養えるよう工夫されている。 ・グラフのタイトルにイラストを併設する等、どの生徒にとっても視覚的に分かり易い工夫がなされている。 ・主題図と鳥瞰図を併設する等、生活・文化・産業等、様々な特色が視覚的に読み取れ、生徒の興味・関心を高め、地理的な見方・考え方を身に付けられるよう工夫されている。 ・日本の自然災害について日本列島周辺の地形と関連付けて掲載され、災害と防災に関する主題図を掲載し、防災への意識を高められるよう工夫されている。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真資料が新旧の比較ができるよう配置されており、多面的・多角的に考察できるような工夫がされている。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用したり、グラフや地図等では、文字に縁どりを出したりする等、情報を読み取りやすくする工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真資料は、生徒が既存の知識で理解できるものや新しい学びにつながるもの等が掲載されており、興味・関心を引き立てるような構成になっている。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮し、地図帳の国名や都市名は赤字を白字で縁どり、識別しやすくする工夫がなされている。
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道路線が詳しく記載されているため、東京通勤圏である藤沢の位置や交通の便について理解しやすい構成になっている。 ・日本列島を見開きで確認することができ、北海道から沖縄までを別枠にすることなく、見ることができるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢周辺の交通の便や東京近郊の市街地の広がり理解しやすいよう構成されている。 ・日本列島全体を4ページにかけて掲載することにより、南西諸島を細部にわたって読み取ることができるようになっている。

発行者の略称	東 書	大日本
書 名	新編 新しい数学	数学の世界
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> 問題発見や解決の過程を意図した「深い学びのページ」がほぼ全ての章に設けられ、論理的に考察し、考えを表現する機会が多く設けられている。 単元を貫く題材の設定がしてあり、ストーリー性のある題材構成で学ぶ意欲を高め、導入の題材を本文の中で解決したり、さらに深めたりできるようにしている。 「深い学びのページ」を中心に、日常生活や社会の事象に関わる問題発見・解決の過程に沿った活動が多く、数学と生活が密接な関係であるということを学ぶことができるような構成になっている。 導入をアニメーションで表現した動画や関数領域、図形領域を中心に考察を深めるためのシミュレーションなどのデジタルコンテンツが用意されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 章や節の導入では、様々な問いを設けることで問題発見・解決の流れを意識できるつくりになっており、その中で、論理的に考察する力と考えを表現する力が身につくよう工夫がされている。 問題発見・問題解決の流れを示した活動では、自ら問題を見だし、解決の方法を考えて実行し、振り返ることができるような構成になっている。 「発見！仕事のなかの数学」では、実社会で活躍する人物による数学の活用を紹介し、自らの学習と職業及び日常生活との関連を重視できるようにしている。 ウェブコンテンツを使って学習を深めることができる場面にマークがついている。また、数学の世界を広げる読み物をさらに詳しく紹介するウェブコンテンツなどが用意されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> 節ごとに「基本の問題」があり、「補充の問題」では、少し難しい問題も扱いながら、段階的に力が身につくような構成になっている。 カラーユニバーサルデザインにより、色彩に配慮されたデザインになっている。 吹き出しや補助発問に「同じように考えると」や「それなら」という文言をつけ、学びのつながりを生徒が意識できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 適用問題「Q」を補充するため、適宜「プラス・ワン」を付属させ、習熟度に応じて取り組める構成になっている。 重要な部分を強調するレイアウトの工夫や、ユニバーサルデザインフォントの使用により、読みやすさに配慮がある。 使用する文字の大きさや表現方法を1年と2、3年で変えており、小学校・高校との円滑な接続を図れるよう配慮されている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> 「問題をつかむ」「見通しをたてる」「問題を解決する」「ふり返る」「深める」の過程と、問題解決の進め方の例が明示されている。 「学び方のページ」では問題解決の進め方を意識し、「深い学びのページ」統合的・発展的に考えられるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「伝えよう」では、数学の言葉や図などを使って、数学的に表現する力を養えるような構成になっている。 めあてをはっきりさせており、「活動」→「例」→「例題」→「Q」を適切に配置し、流れをわかりやすく示している。

発行者の略称	学 図	教 出
書 名	中 学 校 数 学	中 学 数 学
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学的活動のページ」では、数学の学習過程のイメージを具現化し、1つの課題に対する問題発見から解決までの過程が見える構成になっており、深い学びにつながるような工夫がされている。 ・「Q」では、解決方法を予想したり話し合ったりしながら学習の目標を立てることで、対話的な学びが実現できるように工夫されている。 ・「深めよう」や「さらなる数へ」、「T e a B r e a k」、「数学へのいざない」など、学習したことを活用したり、深めたり、数学の世界が広がるよう工夫されている。 ・デジタルコンテンツがあることを視覚的にわかりやすく判別できるようになっている。また、それぞれのデジタルコンテンツがどのような内容なのかがわかるように言葉で示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能を活用する場面で「問題を見いだす→問題をつかむ→見通しを立てる→問題を解決する→振り返る→深める」といった学びのプロセスを示し、問題発見・解決の過程を意識できるよう工夫されている。 ・問いを持って学習を進められるよう、本文は「学習過程で生じる生徒の疑問→学習してわかったこと→新たな疑問」というつくりになっている。 ・「章とびら」では実社会や日常生活、先端テクノロジーなどの数学に関わる話題を取り上げ、数学を学ぶことの必要性が感じられるようになっている。 ・デジタルコンテンツ「まなびリンク」が用意されている。動的・立体的な表現や実験映像などを見ることができるアニメーションや映像、試行錯誤的な操作が可能なシミュレーションなどがある。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・「計算力を高めよう」では家庭学習や計算練習で活用できるようにつくりになっており、取り組みやすい内容・分量となっている。 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れるほか、章ごとに青とオレンジの2色で分けられていて、ページが見分けやすく、「Q」の見出しも探しやすいようにつくりになっている。 ・「ふりかえり」のページがあり、小学校の内容を復習し、スムーズに学習に入れるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「例（例題）」と「問」の間に「例（例題）」に類似した問題である「たしかめ」を設けており、段階を踏んで取り組めるようにつくりになっている。 ・章とびらでは、見やすさ、読みやすさに配慮し、ユニバーサルデザインを取り入れ、歴史的な写真や身近な風景を大きく掲載することで、数学を身近に感じることができるようにつくりになっている。 ・「○章を学習する前に」や「もどって確認」などで、適宜小学校の既習内容を振り返ることができる構成になっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「Q」の数学的活動の例では、問題解決に向けて見通しを立てて論理的に考察できるように示している。 ・生徒どうしの話し合いにより協働的な学習を促すような工夫がみられ、新たな問題の提示により深い学びつなげられる構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びのプロセスページ」を設け、問題発見・解決の過程を生徒が意識できるよう工夫されている。 ・各章の終わりを「学習のまとめ→たしかめよう→力をのばそう→学んだことを活用しよう」という構成にすることで、基礎基本を確認しながら学習を深めることができるようになっている。

発行者の略称	啓林館	数研
書 名	未来へひろがる数学	これからの 数学
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップ方式の「〇〇の利用問題」では、解決の過程を振り返り、新たに発生した疑問とそれを数学の問題として設定した「深める例」を示すことで、考えを深められるような工夫がされている。 ・単元末の「〇章のあしあと」では、わかったこと、できるようになったこと、さらに学んでみたいことをまとめる場面があり、生徒が自らの学びの深さを確認して次の学びに進むことができるようにしている。 ・すべての節の先頭にある「節のとびら」では、その節の学習を進めれば解決できる身のまわりの問題を取り上げ、学ぶ楽しさや意義を実感できるようになっている。 ・動画など動きをともなって学習内容の理解を助けるコンテンツや節の導入の場面理解や数学的活動をサポートするコンテンツ、自学の際に役立つ問題の考え方や解説動画が用意されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対話形式で掲載される題材が多く、「同じように考える」、「具体的な数で考える」といった考え方を何度も示すことで、自然と数学的な見方・考え方が身につくようになっている。 ・「Q」や「TRY」といった数学的活動の中で、キャラクターの対話をきっかけに、授業の中で生徒の深い学びに繋がる問いを投げかけることができるようになっている。 ・「やってみよう」や「TRY」では数学を活用して身のまわりの問題を解決する課題や、社会とのつながりを連想させる話題を通じて、数学の有用性を感じられる構成になっている。 ・補充・イメージ・資料・考察・探究の5種類のコンテンツがあり、生徒の特性や習熟度に応じた個別最適な学びの実現をサポートできるようになっている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・「例」や「例題」では、基礎・基本を含めた複数の問題が掲載されており、取り組みやすい構成になっている。また「例」や「例題」の直後には、それにならって解くことができる「問」も配置されている。 ・UDフォントを使用し、誰もが読みやすいようにしているほか、章の導入では、見開き左側に課題の場面設定、右側に解決の手立てがあるため見通しを立てて考えやすい。 ・既習事項と関連する箇所に「ふりかえり」があるため確認しやすい構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「確認問題」や「問題A」「問題B」など、教科書の内容を補充できる問題を豊富に掲載している。 ・ユニバーサルデザインの視点に基づき、より多くの人々が利用しやすいように配慮している他、グラフや図をかく問題では、小口（本の外側）に図を配置して扱いやすい。 ・1年生では問いかけ文を、「〇〇しましょう」という表現を用い、中学校の学習への接続が円滑になるような配慮がされている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「ステップ方式」を導入し、数学的な問題発見・解決の過程を意識できるようにしている。 ・「〇〇の利用」の節では、学んだ数学を利用して、その問題を解決する力が育まれるようにつくりになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「TRY」のコーナーでは「方法の説明」などを設け、伝え合う力が高まるようになっている。 ・「やってみよう」「調べよう」など活動的な課題を設け、興味・関心に応じて学びを深めることができるようになっている。

発行者の略称	日文	
書名	中学数学	
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学びを振り返る活動を重視し、生徒の変容を捉えることができるよう工夫されている。また、巻末に「振り返りシート」が用意されており、学びを深められるような工夫がされている。 ・問題解決型の授業展開を明示した小節である「学び合おう」には、話し合いを通して学びを深めていくための「対話シート」が用意されている。 ・「数学のたんけん」や巻末の「SDGsと数学」、「数学を仕事に生かす」、「数学研究室」、「プログラムと数学」など、数学が活用されていることを知ることのできる構成になっている。 ・理解を助けるアニメーションや動画、考察を深めるシミュレーションなどが用意されている。初見の生徒でも迷わず扱うことができるよう、操作しやすいような画面表示となっている。 	
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「基本の問題」「章の問題」「とりくんでみよう」を設け、幅広く多彩な問題が掲載されている。 ・より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しているほか、色だけで情報を伝えないように、線の種類を変えたり、文字や形などの情報を付加したりしている。 ・「めあて」では「○○しよう」「○○になろう」の表現で、本時の目標に向けて、意欲的に取り組めるよう配慮されている。 	
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「説明できるかな？」を設け、「理由」や「方法・手順」などを数学的な表現で説明する力を養えるようにしている。 ・写真やイラストを使った楽しい巻頭見返しや章の扉により、興味を引き付け、疑問を解決につなげられるようになっている。 	

発行者の略称	東書	大日本
書 名	新編 新しい科学	理科の世界
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 『「探究」の流れを確認しよう』で探究のステップを示し、誰もが探究的な学習に取り組めるようにすることで、学習の流れやポイントが「見える化」できるようになりつつある。 「学びを生活や社会に広げよう」や「社会につながる科学」等では、学びを生活や社会に広げるページを設定し、身のまわりの生活や他教科とのつながりを意識できるようになりつつある。 ファシリテーターキャラクターを配することで、理科の見方・考え方が見えるように工夫されている。 「理科室の決まり」が巻頭や巻末に掲載されている。「観察・実験」ごとに注意マークが表示され、特に注意する点は、朱書きで分かりやすいように示されている。 ICTの活用ができるように「二次元コード」を付し、科学的な概念形成などつまづきやすい内容には、シミュレーションを用意するほか、巻末にはデジタルコンテンツの活用法がまとめられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 科学的に探究するために必要な資質・能力が育成できるよう、巻頭の「理科の学習の進め方」や巻末の「探究の進め方」のページで、探究の過程を具体的な課題をもとに示している。 「つながる×Science Press」では、単元での学習内容が他分野や他教科へとつながる内容となっている。 「探究活動」で、これまでの学習で身につけた見方・考え方を使い新たな問題を解決することにより、さらに学びが深くなるよう構成されている。 「理科室のきまり」、「基本操作」では、安全に実験できるための注意事項や器具の基本操作がまとめてある。器具によっては、操作方法の動画のコンテンツも用意されている。 動画やウェブに繋がる「二次元コード」が対応するページに掲載されており、学習内容を確認できる作りになっている。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本文の側注幅を第1学年よりも小さくすることで、文章の情報量を増やし、文章による理解が図れるレイアウトになっている。 ユニバーサルデザインフォントが使用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年の本文資料は2、3年よりも大きな文字を採用して、小学校からの接続に配慮された作りになっている。 ユニバーサルデザインフォントが使用されている。
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> 横浜ベイブリッジや横浜市の火力発電所、小田原市の露頭の写真が教材として掲載されている。 身近にみられる教材が大きく掲載されており、探究的な学習のサポートとしてQRコンテンツが用意されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 江の島や横浜港、よこはまブルーシアが理科に関する身近な施設として掲載されている。 「くらしの中の理科」では、身のまわりと関連があるもの、科学への興味・関心をもてるようなものが掲載されている。

発行者の略称	学 区	教 出
書 名	中学校 科学	自然の探究 中学理科
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・「探究のページ」には、科学的探究の過程を分解して示すことで、探究の進め方を理解しやすくなるようまとめている。 ・学習内容が日常生活に生かされている例を紹介する等、日常生活が科学の知識と考え方によって成り立っていることや社会に役立っていることが実感できるような構成になっている。 ・探究の考え方を説明するコラム「理路整然」を掲載し、どのようにその考えが日常に役立っているか等、科学的な考え方の理解につながるようなつくりとなっている。 ・巻末に理科室の使い方やガスバーナー等の基本操作が提示されており、各実験のページには黄色と赤色を用いて注意すべきことが示されている。 ・各ページのQRコードからアクセスできる「ミライ教科書」で、動画や基礎問題、最新版に更新される科学ニュース等が利用でき、生徒がICT機器を活用して学習を進めることができる工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「探究の進め方」を折り込みで設け、本文ページを開いた状態でも探究の過程全体を確認できるようになっている。 ・紙面の生徒キャラクターの対話によって、理科の見方や考え方を働かせていることに気がつけるよう工夫されている。 ・「ハローサイエンス」などのコラムを活用し、日常で見られる具体的な事象・現象と関連づけながら学習を進められるような工夫がされている。 ・「基礎技能」で、理科室のきまりや薬品の扱い方、応急処置等が記載されており、各実験操作の部分は黄色いマークで注意事項が示されている。 ・「二次元コード」から「まなびリンク」にアクセスでき、Webずかん、学習ツール、動画などICTを使用して学習を広げられるよう工夫されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書全ページをウェブページ化することで、母国語が日本語以外の生徒に向けて、教科書の文面を多言語化している。 ・ユニバーサルデザインフォントが使用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面と二次元コードを結びつける形で、紙面で伝えられなかった情報を提供している。 ・より多くの人が識別しやすいように読みやすいUDフォントが採用されている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎市の高炉や横浜市の雷、横浜市の水質調査施設の写真が掲載されている。 ・身近にみられる理科に関わる写真が掲載されている。QRコード先のインターネット教材は、動画や基礎問題にアクセスできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市の火力発電所・風力発電所や鎌倉市の踏切、川崎市の工業団地の写真が掲載されている。 ・「学習前の私」と「学習後の私」を設け、日常と関連づけ、自らの学習を深められるよう工夫されている。

発行者の略称	啓林館	
書 名	未来へつながるサイエンス	
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の把握、追究、解決を具体例で見える化し、探究の流れをイメージできるようにつくりになっている。 ・科学コラムの「部活ラボ」「深めるラボ」「お仕事ラボ」「お料理ラボ」等で、身のまわりの科学が生活とつながる話題が示されている。 ・領域ごとの特徴的な「理科の見方」で事象を捉え、探究の過程の中で比較や関連づけるなど「理科の考え方」をはたらかせるよう工夫している。 ・「実験を正しく安全に進めるために」では、中学校理科全般にわたって必要な注意点やスキルを丁寧に示し、実験で特に注意すべき点は「注意マーク」、安全に配慮すべき点は8種類の「安全マーク」で示されている。 ・紙面に「二次元コード」を掲載し、「協働的な学び」をサポートするシミュレーションや、動画・WEBリンク、「個別最適な学び」をサポートするCBT問題などのデジタル教材が用意されている。 	
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元に1つある「探Q実習」で、探究の足場かけとなるヒントが示され、一連の探究の過程に沿って取り組めるよう配慮されている。 ・UDフォントが使用されている。 	
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・三浦市、小田原市の露頭や横浜市の遊水地、港の写真が掲載されている。 ・各章の導入には、QRコンテンツ「?はてなスイッチ」があり、動画と紙面の写真で探究へ向けて興味を引き出す工夫がされている。 	

発行者の略称	教出	教芸
書 名	中学音楽 音楽のおくりもの	中学生の音楽
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・「Active!」では、学習指導要領で示されている〔共通事項〕を手がかりに、主体的・協働的な学習となるよう、教材と学習の進め方を提示する構成や配列となっている。 ・表現教材と鑑賞教材が、別々に掲載されており、相互のつながりが見開きで示され、見通しをもって学べる配列となっている。 ・日本各地の伝統芸能・祭りについて、写真入りで紹介し、その特徴・役割を解説することで、それぞれの表現の違いを考える学習が設定されている。 ・2・3年生上巻の巻頭「音楽はメッセージ」では、笙奏者から伝統文化との関わり方についてのメッセージが掲載され、我が国の伝統音楽に愛着が持てるよう工夫されている。 ・「リズムパターンをつくろう」では、基本のリズムを変化させ、違いを感じ取り、段階をおって学べるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びのコンパス」では、学習指導要領で示されている〔共通事項〕を「注目するポイント」とし、学習の手順を示すことで、主体的・協働的に学習できるよう工夫されている。 ・表現教材と鑑賞教材は、関連のある同じ系統の曲を順番に掲載し、見通しをもって学べるよう配列されている。 ・諸民族の音楽の特徴やよさについて、考えを伝え合う学習が設定され、主体的に学習できるようキャラクターが学びをサポートするなどの工夫がされている。 ・中学生が伝統文化や祭りを体験する様子や、体験を通して感じたこと、学んだことが紹介され、我が国の伝統文化や祭りのよさに触れることができるよう工夫されている。 ・「リズムゲーム」「リズムアンサンブル」「リズムチャレンジ」では、リズムの組み合わせを工夫するポイントが記載され、生徒の思いや意図を生かすような工夫がされている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱、鑑賞、創作のページが、それぞれ基調となる色で分けて配色されており、各単元の構成がわかるよう配慮されている。 ・各教材では、精選した学習内容が記載され、楽譜や解説などが、見開き2ページの中に配置されており、学習の見通しをもって学ぶことができるつくりになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材では、学習内容が要点をまとめて記載されており、生徒が学習をスムーズに進められるような分量となっている。 ・各教材では、楽譜や解説などの情報の配置の仕方を工夫し、見やすく、スッキリとした紙面になっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・2・3年生上巻の「浜辺の歌」では、林古溪が幼少期を過ごした富士山の映る辻堂海岸の写真や解説が掲載され、生徒に親しみをもてるよう配慮されている。 ・「劇場・音楽堂へ行こう!」のコーナーで神奈川県立音楽堂が取り上げられており、本市の生徒も興味をもって学習できる内容となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の「浜辺の歌」では、解説と江の島が映る辻堂海岸が掲載され、本市の生徒が親しみをもてるよう配慮されている。 ・「オーケストラの演奏」では、横浜シンフォニエッタの演奏写真、神奈川フィルハーモニーの方々の楽器紹介写真が掲載され、生徒にとって、オーケストラに対する関心を高めることにつながる。

発行者の略称	教出	教芸
書 名	中学音楽 音楽のおくりもの	中学生の音楽
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各教材では、学習指導要領に示されている[共通事項]をよりどころとした題材が提示され、生徒が見通しをもち、主体的・協働的に学ぶことができるよう工夫されている。 活動のポイントが明記されたり、各楽器の楽譜の運指が増えたり、学習を積み重ねていくことができるよう、各教材が系統的に配列されている。 「発展」では、様々な楽器を比較し、楽器の背景にある文化や伝統、楽器の構造について関連させながら学習できるよう工夫されている。 「表現の仕方を調べてみよう」では、楽器の特徴について個人で調べる表と、「話し合おう」でグループの意見をまとめる欄が掲載され、主体的・対話的な学びにつながるよう工夫されている。 「音のスケッチ」では、「基本形」と「オプションパート」があり、全体の構成を工夫しながら、即興的に旋律を創作できるような配慮がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学びのコンパス」では、学習指導要領に示されている[共通事項]が記載され、生徒が課題意識をもって主体的・協働的に学習できるよう配慮されている。 楽器の奏法や基本的な技能を学習した後、巻末の楽曲において演奏実践ができるなど、学習を積み重ねていくことができるよう、各教材が系統的・発展的に配列されている。 和楽器の単元では、各地に伝わる郷土の祭りや芸能が紹介されるなど、身の回りの生活や社会と関連させながら学習ができるよう工夫されている。 「マイメロディー」では、キャラクターによる吹き出しなどで生徒の思考や判断を例示することにより、生徒の思いや意図を生かしながら主体的・対話的で深い学びにつながるような工夫がみられる。 曲の構成にあった音色を自分たちで考え、楽器を選択できるようなアンサンブル曲が掲載されており、多彩なジャンルの音楽に触れられるよう工夫されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> 豊富な写真やキャラクターにより、分かりやすく整理されたデザインとなっており、演奏方法も丁寧に記載されている。 奏法に関する（構え方、押さえ方など）写真については、前方向からと横方向から2つの写真が記載され、演奏しやすいよう掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> たくさんの写真や図版を用いて、演奏方法や楽器について記載されている。 各楽器の奏法について視点を変えた写真で示されている。また、奏法について、端的な文書で示されており、その後に具体が示されている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> 「名曲旋律集」では、幅広いジャンルの名曲を掲載し、音楽の多様性を感じとれるような工夫がされている。 一般の教科書における掲載曲との関わりをもたせた楽曲が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校でも学習したことのある音楽が掲載されており、生徒が親しみを持てる楽曲が多く扱われている。 各楽器の冒頭ページでは、楽器の特徴や種類などが示され、生徒が興味をもてるよう工夫されている。

発行者の略称	開隆堂	光村
書 名	美術	美術
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2・3年「物語だから動かしたい」で絵巻物・漫画・アニメーションを鑑賞し、さまざまな表現を見つけることができるよう工夫されている。 ・案内役のキャラクターを配置し、学びのポイントを示すことで、生徒の学習を効率よく展開できるよう工夫されている。 ・題材にあわせて「知識・技能」「発想・構想」「鑑賞」の掲載順が変わることで、学習の広がりや深まりが工夫できる構成となっている。 ・「作者のことば」を載せて制作意図や思いを示すことで、鑑賞活動等において、他者との意見交換を促す工夫がされている。また、キャラクターのことばが、学習の進め方のヒントやポイントとなっている。 ・図画工作と美術の違い、発展性について、わかりやすく提示し、学習意欲を高める工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2・3年「漫画表現を楽しむ」で作品ごとの表現の違いを探して考えることができる構成になっている。 ・「みんなの工夫」を設け、中学生が試行錯誤しながら作品制作する様子から、自分ならどのように表現するか、生徒自身の発想・構想を促すつくりになっている。 ・全ての題材において鑑賞と表現を一体的に学べる紙面構成となっており、適宜、「POINT」の吹き出しを入れ、生徒が造形的な視点を意識できるよう工夫されている。 ・作品と別のページに解説を掲載することで、生徒は作品に集中して鑑賞し、他者とも意見交換しやすい構成になっている。 ・図画工作との接続を意識したオリエンテーションのページが用意されている。社会科や国語科など、他教科と関連させて考えることができるようなつくりになっている。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の質感を感じ取れる表紙、折り込みページを効果的に活用し、興味や関心が高まる構成となっている。 ・1年でのマークの制作が、2・3年のピクトグラムやポスターの学習につながるよう、デザインの学習など、配分が工夫されている。 ・巻末に「学びの資料」として知識の具体的な事項などが集約されており、生徒が必要に応じて学習内容を確認できるつくりになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真が大きく明るく鮮やかに掲載されている。学習のポイントがイラストや写真から吹き出しの形で読みやすく示されている。 ・1年で工夫した写真撮影を考えることで、2・3年での映像作品へとつながるようなつくりになっている。 ・別冊資料は画材や素材の説明から作り方、道具の説明がまとめられており、生徒が参照しながら進められるような工夫がされている。
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で活用できるデジタルコンテンツや、導入に使える「はじめに」という動画が用意されている。 ・導入として神奈川県出身の岡本太郎の言葉や、ピクトグラムの題材として横須賀美術館が紹介されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「体感ミュージアム」など、デジタルコンテンツを利用して多角的な視点で鑑賞できる構成になっている。 ・神奈川県出身の岡本太郎を詳しく紹介している。県内の美術館にある作品が掲載されている。

発行者の略称	日 文	
書 名	美術	
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2・3年下「芸術としての漫画表現」で古い時代の漫画と現代の漫画を比較したり海外の漫画との表現の違いを考えたりすることができる構成となっている。 ・ 表現活動を後押しする発想・構想の手立てを配置し、「表現のヒント」を設置して表現題材すべてに発想・構想を促す工夫をしている。 ・ 題材ごとに「鑑賞の入り口、表現のヒント、造形的な視点」を提示し、生徒が学習内容を理解して、学習活動に向かえるよう配慮されている。 ・ アイデアを出し合う活動の例示があり、対話を通して思考力を働かせ、学びを深めることができるような工夫がされている。 ・ オリエンテーションで造形的な見方・考え方を示し、3年間の学習をイメージする工夫がある。また伝統の継承など、道徳と関連して学ぶことができる構成になっている。 	
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作家と生徒の作品を分けずに掲載することで、作品本来のよさを感じ取ることができる構成になっている。 ・ 1年で墨による表現の効果をとらえることで、2・3年で墨などの特性を生かして表現することにつながるようなつくりになっている。 ・ 巻末に「学びを支える資料」を設け、発想・構想する上での思考の過程や取り組み方などを例示し、制作の助けとなるよう工夫している。 	
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒はQRコンテンツ「学びのはじめに」を活用し、何を学ぶ題材かを確認できるつくりになっている。 ・ 葛飾北斎「神奈川沖浪裏」や神奈川県出身の岡本太郎を詳しく扱い、地域の歴史や文化に関連した学びができるよう構成されている。 	

調 査 資 料

教科：保健体育

種目：保健体育 NO. 1

発行者の略称	東書	大日本
書 名	新編 新しい保健体育	中学校保健体育
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末スキルブックでは、実生活に即した生涯にわたって必要な健康、安全に関する20のスキルがまとめられており、適切な方法を理解することができる構成になっている。 ・各單元には、「活用する」や「広げる」が設定されており、習得した知識・技能を活用して深く考えたり、自分の生活に当てはめて考えたりするなど、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて工夫されている。 ・細かいステップで発問が設けられており、思考力・判断力・表現力を働かせながら学習を進めることができるような配慮がされている。 ・「熱中症」は発展的な内容として見開きで取り上げられており、発症の要因やその予防などを複数の資料を用いて取り扱われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育の学習が豊かな生活につながっていることを巻頭で掲載されている。 ・「学びを活かそう」では、その章で学習したことをより深く理解するための課題を示し、学んだことを生かして取り組める工夫がされている。 ・小單元ごとに「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」が設定されており、学習を重ねることで思考力・判断力・表現力が身につくようなつくりとなっている。 ・発展的な学習内容として「熱中症予防と応急手当」が扱われ、熱中症の疑いがある際の対応のチャート図が示されている。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各ページの紙面構成が左側本文、右側資料となっており、学習の流れがつかみやすい構成となっている為、見通しをもって学習ができるようなつくりになっている。 ・犯罪被害の危険を予測する際、立体的に見える資料が掲載されており、生徒が視覚的に理解しやすくなるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見開き構成を生かし、確実に身につけたい学習内容は左ページの本文にまとめ右ページには、本文に対応した理由・資料を配置し、本文を裏付け、知識を深めることができるよう構成されている。 ・心肺蘇生法の手順の折り込みが採用されており、教科書を広げて、実習の流れ全体を確認しながら学習を進めることができるような工夫がされている。
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を補完するためのQRコンテンツが掲載されており、生徒の理解度を高め、学習を深めることができるような構成になっている。 ・住んでいる地域のハザードマップから、気象災害時の危険や避難場所、避難経路を調べ、自分の防災タイムラインを作ることができる構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習をより理解したり、広げたりすることができるよう、デジタルコンテンツが設けられており、補助資料映像やまとめ問題が掲載されている。 ・自然災害に対する備えと共に、命を守るためにどのように行動すればよいかについての記述が記載されている。

調 査 資 料

教科：保健体育

種目：保健体育 NO. 2

発行者の略称	大修館	G a k k e n
書 名	最新 中学校保健体育	新・中学保健体育
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の口絵で運動やスポーツの経験が生涯にわたってスポーツを実践するための土台となり、将来の生活を豊かなものにつながるといったイメージを持つづくりとなっている。心身の健康を保持増進させるためのスキルを習得できるようなつくりになっている。 ・「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」という学習の流れが示されているため、見通しをもって学習に取り組むことができるづくりとなっており、学んだことを生かし、深められるよう工夫されている。 ・「コラム」や「事例」が豊富に掲載されており、生活に関連した内容を学ぶことで、知識を実生活に生かせるような工夫がされている。 ・発展的な学習内容として、特集資料「熱中症の予防と応急手当」が設定され、熱中症対応フローを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「よりよく生きる・よりよく生きる世界をつくる」では、保健体育で学ぶことを踏まえながら幸せだと感じた体験を集めていくことが提案されており、ウェルビーイングについての理解が進むようなつくりになっている。 ・1単位時間を「ウォームアップ→エクササイズ→学びを生かす」という流れで学習を進めることで、生徒自ら学びを工夫しながら進めていくことができるようなつくりとなっており、課題を解決する学習過程を身に付けられる構成となっている。 ・「エクササイズ」は、学習の課題に関連した課題に取り組むことができる内容となっており、学習した知識や情報を基に考える活動が設定されている。 ・発展的な学習内容として、「熱中症を疑った時の対応」が設けられ、チェックに従って対応を考えられるようになっている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての章のとびらに「小学校で学習したこと」「この章で学習すること」「高校で学習すること」が明示されており、系統性をもって学習することができるようなつくりとなっている。 ・見開きを1単位時間で構成し、見通しをもって学習できるような配慮となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間見開き2ページを基本構成としており、見通しをもって学習できるような配置となっている。 ・生徒と共に学習を進めていくキャラクターが設定されており、随所に問いを投げかけたり要点についてまとめたりするなどして、生徒の学びを深める手助けをするような配慮がされている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・各ページの右下にQRコードが記載されており、その単元の「保体クイズにトライ!」に取り組むことができるなど、デジタル教材を効果的に活用できるような工夫がなされている。 ・自然災害から命を守るための行動の仕方や、情報の活用方法が充実しており、防災意識を高める工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードから、各章に関する動画コンテンツを確認することができ、生徒自身が必要なものを判断して組み合わせながら、より広く深く学ぶことができる工夫がされている。 ・防災について危険を予測して回避することを重視した学習教材が設定されており、自然災害から身を守るための行動についても詳しく掲載されている。

調査資料

教科：技術・家庭

種目：技術分野 NO. 1

発行者の略称	東書	教図
書名	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> 各節に「学習課題」を示すことで見開きで何を学習するかを明確にし、「始めの活動」「まとめの活動」を設け、生徒が主体的に取り組むことができるような構成になっている。 生活の中で起きうる問題を生徒が発見し、課題として設定できるよう動機づけとなる漫画を各節で掲載している。 「最適化の窓」や技術の見方・考え方に関連する「マーク」が随所に用意されているため、課題解決が意識しやすい作りになっている。 材料の「切断」の動画コンテンツでは、生徒の目線で撮影されていたり、左利きの切断場面が確認できるようにしたりするなどの個に応じた学習につなげる工夫がされている。 「作業を楽しく安全に進めよう」を設け、安全な作業の例を示している。ヒヤリ・ハット体験の資料も掲載されており、重大な事故が起きないような配慮がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各節に「見つける→学ぶ→振り返る」という学習の流れを示し、身近な問題と知識を結びつけ、それを設計・計画にいかせるような構成になっている。 「未来をつくろう」では、社会の課題を自らの課題にするためにプラス面とマイナス面を掲載し、主体的に問題を発見させる工夫をしている。 生徒にとって身近なものを例として挙げ、技術における見方・考え方を働かせた課題解決に取り組めるよう工夫されている。 別冊スキルアシストにおいて、動画コンテンツがあり、道具の持ち方や動作の確認ができるようになっている。また、持ち運びできるよう薄い冊子となっている。 「3つの心得」として安全について、授業場面を例に基本事項をわかりやすくなるよう示している。各学習場面においても注意が必要な事項に目立つマークが用いられている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> 書体はUDフォントを使用するとともに配色とデザインにも配慮し、生徒にとって認識しやすいものとなっている。 教育漢字以外にはふり仮名があり、特別支援教育で推奨されている丸ゴシック体が用いられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用書体はUD書体を使用し、カラーバリアフリーの観点から色のみでしか判断できない表現は避け、文字や模様、記号で識別できるよう配慮されている。 学習漢字以外にはふり仮名を付け、多様な生徒が平等に学べるように配慮されている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> 蒸気機関車やスマートシティは横浜市、「技術の匠」の「はやぶさ2」は相模原市が掲載され、身近な地域が確認できるつくりになっている。 本市で生育している乳牛やブタ、ニワトリのライフサイクルが掲載されているなど、本市の産業に関わる内容になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 伝統工芸である寄木細工では、箱根町、太陽光パネルでは川崎市など、周辺地域を取り上げている。 本市でも栽培されているトマトや小松菜の栽培方法について掲載されているため、本市の産業と照らし合わせて考えることができる内容となっている。

<p>発行者の略称</p>	<p>開隆堂</p>	
<p>書名</p>	<p>技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて</p>	
<p>編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各節に「基礎・基本」「問題解決」「技術と私たちの未来」という学習の流れがあり、知識技能を習得し、それを働かせ、概念を深めていくような構成になっている。 ・「技術分野の学習の流れ」では、問題解決能力が高まるよう、四コマ漫画を横に並列し、流れに沿って問題を発見し、課題を設定できるような工夫がされている。 ・「ガイダンス」では、冷蔵庫を例に挙げ、技術の見方・考え方について、視点をもって学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ・二次元コードが全体を通して配置されており、自学自習が行えるワークシートや資料が確認できるようになっている。 ・「作業の安全」など安全に特化したページや安全のマークがあり、生徒自ら事故防止に取り組めるようなイラストで作業場を想定した配慮がされている。 	
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・UDフォントを使用している。文の行末を、極力単語の途中で改行しないように調節されている。また、色によって受ける情報に差が出ないようにつくりになっている。 ・文書と図版のバランスを取り、随所で文字の太さをかえ、見やすくなるよう工夫されている。 	
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パンジーの主産地（神奈川県）や11階建ての木造建築ビル（横浜市）など周辺地域に関わることが取り上げられている。 ・生物育成の技術では作物だけでなく、水産物や動物の飼育に関しても8ページにわたり紹介され、本市の産業と照らし合わせて学習ができる内容となっている。 	

発行者の略称	東 書	教 図
書 名	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活の課題と実践」では、課題の決め方、計画の立て方、実践等が示されており、生活に始まり、生活に返す学習の流れで課題を解決する道筋が見える構成となっている。 ・小学校で学習した内容を各編の導入で示すなど、小学校との系統性、他教科との横断的な学習につながるよう工夫されている。 ・巻頭に「実習を楽しく安全に進めよう」を設け、実習の注意事項をまとめて示したり、ページに「安全マーク」や「衛生マーク」をつけたりするなど、安全面・衛生面を意識できるよう配慮されている。 ・「災害への対策」では、住まいの地震対策等、日常生活での備えを学ぶ内容について、イラストを使うことで災害にあった生徒に配慮できるような構成となっている。 ・雑煮文化圏マップに角もち丸もち分岐ラインが示されているほか、「和食」や「日本の衣服の文化」など、日本の伝統文化を実感できるよう「伝統文化マーク」を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活の課題と実践」では、問題の発見から課題の解決、次の課題へつなげる6つのステップで統一され、課題解決学習の流れで構成されている。 ・生徒が見通しをもった学習ができるよう、領域ごとに小学校の学習との繋がりや中学校等での学びを「関連」マークで示している。 ・巻頭の「実習は安全に取り組もう！」では、実習時や調理における食中毒予防など、注意点が掲載されているほか、「安全」・「衛生」のマークをつけて安全に取り組めるよう工夫されている。 ・「災害に備えた安全な住まい方を考えよう」では、非常用持ち出し袋の中に入れるものについて、詰め方の工夫がイラストとチェック項目とともに掲載され、日常生活に生かせる内容となっている。 ・だしの材料の例や地域の伝統的な器が掲載されているほか、「伝統文化」のマークを配置することで、日本の伝統文化を考えることができるような内容となっている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・写真やイラストに登場する男女の比率や役割に配慮するとともに、服装や外国籍の生徒など、多様な生徒の姿を示している。 ・カラーバリアフリーの観点を取り入れ、誰もが見やすいような配色の構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・性別や人種、年齢や障がいの有無などに関わらず、協力・協働していくことができるよう、イラストや写真等工夫されている。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮して、誰もが見やすいような配色の構成になっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ロゴマークを示した教材では、学習に関連するQRコンテンツを用意し、実習の手順を確認する等、個に応じた学習が進められるよう工夫されている。 ・地域の食材として神奈川県三浦大根が紹介されているほか、横浜市の防災訓練の写真が取り上げられ、本市の生徒が身近に感じるような内容となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コード先の栄養計算のコンテンツでは食事を選ぶと自動的に栄養計算され、限られた時間の中で学習する生徒にとって学びやすくまとめられている。 ・神奈川県「かながわブランド」マーク、本市の郷土料理の紹介では「しらす丼」がそれぞれ紹介されており、本市の生徒にとって地域を知るための手がかりとなっている。

発行者の略称	開隆堂	
書名	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ	
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活の課題と実践」の進め方では、生活を見つめて課題設定をするところから、実行・実践、ふり返り・評価によって、自分ごととして課題解決に取り組むことができるつくりになっている。 ・「他教科」や「小学校」のマークを配置することで、小学校の学習をふり返り、他教科との関連について、考えられるよう工夫されている。 ・「楽しく安全に実習しよう」では、実習時の安全、衛生面についてQ & Aで具体的に解説しているほか、「安全」・「衛生」のマークで安全に実習するよう工夫されている。 ・「わたしたちの防災」として、8ページにわたって掲載し、過去の災害から学び、生活を見直し、改善していくことができるよう工夫されている。 ・和食と洋食それぞれの食文化の違いを学び、改めて日本の食文化のよさを知ることができる内容となっている。 	
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・写真・イラストは、男女の平等、高齢者や障がいのある人、外国籍の人などに配慮がなされている。 ・カラーユニバーサルデザインの視点からデザイン・配色することで、できるだけ多くの生徒が見やすくなるよう配慮されている。 	
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・QR資料として、幼児の成長の様子や調理・製作実習等、学習場面で効果的に活用できる動画が掲載されており、学びを深めることができるような工夫がされている。 ・地域の郷土料理として「けんちん汁」が掲載されている。「地域の取り組みガイド」では、川崎市の企業が紹介され、地域理解を深め、自立と共生を目指せるようまとめられている。 	

発行者の略称	東書	開隆堂
書 名	NEW HORIZON English Course	Sunshine English Course
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元末活動を重視した作りとなっており、各 Unit の最後には4技能5領域に渡って、そのUnitのトピックについて相手に伝えられるよう、活動が工夫されている。 ・ 聞く→読む→表現練習→Activityを基本的な構成とし、Unit Activityにおいて様々な方法で自己表現活動ができるよう設定されている。 ・ 題材や人物の出身国をできるだけ多様な世界の国々から設定しているので、ダイバーシティを意識しやすい構成となっている。また、ダイバーシティメモという欄を設け、多様性への気づきを促す工夫が見られる。 ・ 二次元コードを活用する際、動画、文字、速度調整機能がある。音読練習をする機能が豊富で、個に応じて練習することができる構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Programを複数終えたあとにパフォーマンス活動 Our Project を設けており、そこまでのProgramで培った力を統合的に使えるよう工夫されている。 ・ 聞く→話す・書くで、新出表現の導入→読む→Review & Retell→自己表現を基本構成としている。 ・ 様々な国を各 Programで扱うとともに、他国の自然や動物、環境、平和、人権、共生などに関わる話題にも触れ、多角的に他文化についても考えられるような配慮がされている。 ・ 二次元コードを活用する際、動画、文字、速度調整機能がある。Listeningや単語チェックなど、各自で練習ができる構成になっている。Our Projectの発表の見本動画を見ることができる。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・ A4版 ・ 紙面上の要素のデザインや配置が統一されており、生徒が学習の流れを見通すことで、安心して学習に取り組めるような配慮がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ A4版 ・ 親しみやすいマンガを取り入れたり、題材に関連した写真を多用したりすることで、視覚的にイメージしやすい工夫がなされている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文構造、文法を知識としてだけではなく、活用できるコミュニケーションの力として育成されるような構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各プログラムに small talk のコーナーがたくさんあり、繰り返し行っていくことで、即興でのやり取りや表現する力が身につくような工夫がされている。
デジタル教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 該当箇所のポップアップ画面から、音声を聞いたり、行間を広くしたりして文字を書き込む機能がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文と同じ画面に操作ボタンがあり、文字を書き込んだり、タイマーを使ったりする機能がある。アイコンから別ページに飛び、音声を再生できる。

発行者の略称	三省堂	教出
書 名	NEW CROWN English Series	ONE WORLD English Course
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼすべてのレッスンに Small Talk Plus があり、既習事項を生かして相手と意見を交わすことで、より深いコミュニケーションが図れるよう工夫されている。 ・概要を聞く→練習で聞く・話す→読む→話す・書くの組み合わせを基本的な構成とし、Goal Activity で読んだことを話したり書いたりする活動をレッスンのまとめとしている。 ・英語圏に限らず様々な国を取りあげ、人権や環境、平和などを題材にすることで、多角的に国際理解を深められるよう工夫されている。 ・二次元コードを活用する際、動画、文字、速度調整機能がある。発音確認や英和辞典など生徒の学びを深める機能が豊富である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の冒頭に内容理解の目標や活動の目標をそれぞれ示すことで、生徒自身が見通しをもって学ぶことができるようになっている。 ・読む→基礎練習→聞く→応用練習→目的に沿った読みを行い、Task で自己表現、やり取りの練習をまとめの活動とする構成になっている。また、Project で統合的な発表ができるようになっている。 ・生徒に身近な世界の行事や、世界で活躍する日本人を読み物に入れることによって、どの生徒にとっても身近に世界が感じられるよう工夫されている。 ・二次元コードを活用する際、まなびリンクを通して、ワークシートや活動用動画を使い、個別最適な学びにつなげられる工夫がされている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・A4版 ・見開き構成で教材の配列もパターン化されおり、学習に集中できるような配慮がなされ、学習内容が明確になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・AB版 ・思考力、判断力、表現力を育成する言語活動の時間を考慮できるような学習内容の構成になっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・習ったばかりの表現について、ペアの相手を変えながら即興で話したり書いたりして、やりとりをする場面がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で考え、表現する活動を積み重ね、思考力、判断力、表現力を段階的に養うことで、実際のコミュニケーションに生かせる英語力が身につけられるような構成になっている。
デジタル教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・該当箇所のポップアップ画面から音声を聞いたり、行間を広くしたりして文字を書き込む機能がある。本文や文法解説の動画に直接アクセスし、再生できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーディングのアイコンをタッチすると、本文が拡大され、カラオケ表示やスラッシュ、録音など様々な方法で音読練習ができる機能がついている。

発行者の略称	光村	啓林館
書 名	Here We Go! ENGLISH COURSE	BLUE SKY English Course
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の目標を明記し、Unit ごとにインプット、アウトプットを繰り返す中でコミュニケーション能力の確実な定着を図ることができるような構成になっている。 ・多くの Unit で、全体を聞く→読む→聞く練習→話す→書くを行った後、目的・場面・状況が設定された Goal の活動でまとめが行えるような構成となっている。 ・World Tour のページでは、実写映像を用いて、世界の中学生を取り扱ったり多様な文化や価値観を学ぶ場面を設けたりすることで、生徒がより身近に国際交流について考えられるよう工夫されている。 ・二次元コードを活用する際、動画、文字、速度調整機能がある。各 Unit の冒頭で実写ドラマを視聴することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各 Unit の見開きに目的・場面・状況に応じた言語活動が 4 技能 5 領域に渡って掲載されており、バランスよくコミュニケーション力をつけられるよう工夫されている。 ・テーマについて聞く→読む→聞く・話す・書く練習→自己表現を基本的な構成とし、Part のあとに 4 技能を組み合わせた統合的な活動が設定されている。 ・各 Unit では 1 つの国を扱うだけではなく、テーマで国ごとを比べることで、生徒がそれぞれの国の文化や背景の違いについても考えやすいような工夫がされている。 ・二次元コードを活用する際、動画、文字、速度調整機能がある。Target の解説動画や本文を画面に表示し、音声を聞くことができる。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B 版 ・帯教材や巻末付録が充実しており、生徒が使いやすいように学び方が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ A 4 版 ・効果的にイラストや写真を掲載することで、生徒が学習しやすいような工夫がされている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・帯教材の Let's Talk! や Story Retelling に継続的に取り組むことで、即興力や自分の言葉で話す力が身につくようなつくりになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・即興的なやり取りや自己表現を行う題材を設定し、アウトプットの練習を集中的に養えるようなコーナーが設けられている。
デジタル教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・画面左下の「きく」ボタンを押し、画面の文をタッチするとその音声流れる。また、指定の文のみを再生、速さの調整、文と文との間隔などを指定できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「お道具箱」に二次元コードやタイマーなどのツールがある。また、アニメーションやスライドショーの映像の音声の再生速度や位置を自由に変えることができる。

発行者の略称	東書	教出
書 名	新編 新しい道徳	中学道徳 とびだそう未来へ
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>「特別の教科道徳」に係る観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「道徳科とは」「道徳科の授業はこんな時間に」で、自身の心をみつめ、人間としての生き方を考えられるよう道徳科で学ぶことと学び方を示している。 ・各教材の最後に、中心発問となる「考えよう」、教材から離れて自分を振り返る「見つめよう」、そして2つの設問をさらに深める「ぐっと深める」が設定されている。 ・教材文の一場面を役割演技する学習があり、学習したことを広げたり深めたりできるよう工夫されている。 ・巻末の付録には、環境や地球温暖化など、現代的な課題について考える教材がある。また、各付録はSDGsと関連する教材として設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「さあ、道徳を始めよう！」で、活発に深く話し合うためのポイントが明記されており、人間としてよりよい生き方について考えられるようになっている。 ・教材末の3つの発問を活用することで、道徳的価値についての問い、多面的・多角的に考える問い、自己を振り返り考えを深める問いの順番で示され、段階的に深められるような構成となっている。 ・ロールプレイなど演劇的な要素を取り入れた体験的な活動を設定することで学びを深める工夫をしている。 ・「持続的な社会の創り手」となる意識を高められるよう、複数教材とコラムからなるユニットを設定し、現代的な課題を考え、学びをより深められる工夫がある。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・A B判サイズで、各教材が考え議論する1時間となるよう、学習のテーマ・つぶやき・考えよう・みつめようで構成されている。 ・道徳科で学習する4つの視点マークの1つが示されており、内容項目が理解できるよう示されている。また、教材に関係する漫画の一コマが提示されている教材もあり、わかりやすいつくりになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・B 5判で扱いやすく、ほとんど教材が見開きで書かれており、内容が把握しやすいよう短めの教材を掲載している。 ・すべての教材に道徳科で学習する4つのアイコンが記載されて、学習テーマを意識しやすくなるよう示されている。また、学習の見通しをもちやすいよう、内容項目が問いとなって記載されている。
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材に二次元コードがついており、興味・関心を喚起する資料や映像、朗読音声など用意されている。 ・2年生では、本市にゆかりのある杉原千畝を題材にした教材が掲載されており、国際理解や人権について学ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードから教材解説や動画、外部リンクなどのデジタルコンテンツにアクセスすることができる。 ・学年間の学習の繋がりが意識されており、小学校から中学校、中学3年間とスムーズな接続を意識した学習活動が配置されている。

発行者の略称	光村	日文
書 名	中学道徳 きみがいちばんひかるとき	中学道徳 あすを生きる
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 「特別の教科道徳」に係る観点	<ul style="list-style-type: none"> ・「道徳の学習を始めよう」で、道徳科を学ぶ心構えをつくれるよう三つのポイントを示すほか、学習テーマとの関連や道徳での学びの過程が丁寧に解説されていて、学習の見通しをもちやすいつくりとなっている。 ・題材の前に学びのキーワードを示すとともに、教材末に付随する問いが2つある。さらに「見方を変えて」や「つなげよう」といったトピックがあり、より深く主題に迫ることができるよう工夫されている。 ・「演じて考えよう」や「考えよう」などが設けられ、道徳の学びと生徒の生活のつながりを意識し、考えを深めることができるつくりになっている。 ・SNSや人工知能など、現代的な問題解決的内容が掲載されている。また、教材の巻末には教材別テーマ一覧が掲載されていて、各教材とキーワードとの関連を確認できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「道徳科での学びを始めよう！」で、対話的な学びについてマンガ形式で示されており、道徳の学習の進め方について理解しやすい構成となっている。 ・教材の最後に「考えてみよう」、「自分にプラスワン」が設けられていることで、各教材に登場する人物や出来事について、自分ごととして捉えて考えられるよう工夫されている。 ・道徳的な問題について対話しながら学ぶことで、考えや議論がより深まるよう工夫されている。 ・情報モラルやI P S細胞など、現代的な課題について考えられるようになっている。また、巻末にある教材一覧には、各教材と内容項目等との関連がわかりやすく示されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・B5判変型判で、目次ではテーマをもったユニット別に構成されていることが一目でわかるよう配慮がされている。 ・4つの視点マークの1つが教材タイトル冒頭に記載されているとともに、よりよい生き方を学ぶ「道徳で学ぶ22のキーワード」が示されていて、学習内容がわかりやすく提示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・B5判サイズとなっており、分量をおさえるほか、目次で色別にユニットを示して見やすくなるよう工夫されている。 ・4つの視点マークの1つが内容項目とともにタイトル右側に提示されている。また、作者の教材に込めた思いや考えを明日へのメッセージで知ることによって、道徳的価値に向き合いやすいつくりになっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードには朗読の音声の流れるコンテンツのほか、関連資料を閲覧できるよう工夫されている。 ・付録の「まなびの道具箱」では、自分の考えを広げたり分類整理したりするのに役立つ思考ツールが何点か紹介されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての教材とコラムにデジタルコンテンツがあり、生徒が興味・関心をもてるよう工夫されている。 ・別冊ノートは1教材につき1ページで構成されており、発問部分は空欄で、自由に考え等を書き込むことができる。

発行者の略称	Gakken	あか図
書 名	新版 中学生の道徳 明日への扉	中学生の道徳
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>「特別の教科道徳」に係る観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「道徳科で学ぶこと 考えること」では道徳を学ぶ目的がイラストとともに示され、「考えを深める4つのステップ」に沿った授業の流れを提示している。 ・教材の最後に設定された「クローズアップ」や「深めよう」は、多面的・多角的に考える機会となっており、学習内容を自分ごととして捉えたり多様な意見に触れたりできるつくりとなっている。 ・自分の生き方に向き合うきっかけとなる発問が、教材の最後に「考えよう」として2つ提示されている。 ・3年間を通して「SDGs・多様性・キャリア」がユニット学習として設定され、内容が異なる複数の教材を連続して学ぶことで、テーマについて考えを深めることができるつくりになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の見開きで、各学年の発達段階に応じた学習について記載があり、1年間で学ぶ内容の見通しをもつことができるつくりになっている。 ・各教材の発問は3つに整理されている。特に3つ目として設けられている「自分との対話」では、教材での学びを踏まえて、自分自身や道徳的価値についてより深められるような発問が用意されている。 ・「マイ・プラス」では、生徒が様々な立場から多面的・多角的に考えられるようなつくりになっている。 ・SNS、いじめなど、現代的な課題に関連する教材が取り上げられている。また、道徳的な価値に照らして考えられるようまとめられている。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・A B判で、全ての教材が見開きから始まっている。また、視覚情報によって教材ごとのページ数が分かるような工夫がされている。 ・4つの視点マークの1つが教材タイトルの上に提示されている。また、タイトル下にキーフレーズや関連する学びを示すマークが記載されていて、授業へのスムーズな導入を促す工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・B 5判で、各教材が見開きで書かれており、内容を捉えやすくする工夫がされている。 ・4つの視点マークの1つが教材タイトルの上に提示されているほか、物語形式の教材には、登場人物挿絵形式で1ページ下段にまとめられており、視覚的に捉えやすいような構成になっている。
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学研教科書サイトでは、教材に関する動画や音声などから、学びがより充実するよう工夫されている。 ・野口聡一や、杉原千畝、渡部成俊など、神奈川県にゆかりのある人物を扱う教材が多く、興味・関心をもって学べるよう構成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードのある教材には、動画を中心に教材を理解しやすくする資料が用意されている。 ・野口聡一を扱う教材から、身近なところから宇宙飛行士が誕生した点で生徒が親しみをもって学習に取り組める。

発行者の略称	日科	
書 名	道徳 中学校 生き方	
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との 関連 内容・構成 「特別の教科道徳」 に係る観点	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスのみならず「道徳授業」を創り出そうと、授業の進め方が示されているほか、短い読み物教材が掲載されており、学習の動機づけとなるよう工夫されている。 ・各教材の最後に「①考えよう」「②深めよう」という発問がそれぞれ示され、道徳的価値を多面的・多角的に考え、深められるよう構成されている。 ・より具体的にするために、4コマ漫画の扉を配置するなど、各視点に関わって考えを広げられるよう工夫されている。 ・情報モラルの問題や、生命尊重、環境問題、SDGsなど、問題解決的な学習につながる現代的な課題を数多く取り上げている。 	
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・A B判サイズ紙面にすることで、生徒が読みやすいよう配慮されている。 ・道徳科で学習する4つの視点ごとに教材がまとまっている。また、生徒自身が内容項目に基づき、自分たちのよりよい在り方を主体的に考え、探究することができるような工夫がされている。 	
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・教材に関連する資料動画や、教材をより深く理解するための関連資料へのページリンクが提示されている。 ・巻末付録のウェルビーイングカードを活用することで、カードをきっかけに論点を明確にした議論ができるようになっている。 	

令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会調査員一覧

教科	種目	氏名	所属	氏名	所属	人数
国語	国語	佐藤 健太	大清水中	手島 淑子	第一中	4
		中田 真由美	鵠沼中	松永 実紅	明治中	
	書写	東海林 元	善行中	山本 陽介	滝の沢中	3
		荒川 翔	秋葉台中			
社会	社会 (地理的分野)	服部 和人	羽鳥中	有留 志保	秋葉台中	4
		長島 瞳	高倉中	若林 拓弥	明治中	
	社会 (歴史的分野)	宇田川 慎一	大庭中	中村 雄伴	湘南台中	4
		浅井 めぐみ	村岡中	巨海 亮二	滝の沢中	
	社会 (公民的分野)	黒田 洋平	藤ヶ岡中	宇梶 正章	片瀬中	4
		兼岡 里衣	高浜中	木戸岡 直史	六会中	
	地図	田畑 颯太	大庭中	橋本 和樹	藤ヶ岡中	3
		伊豆原 かおり	村岡中			
数学	数学	桃原 享祐	羽鳥中	村田 真美	鵠沼中	4
		濱本 英樹	高浜中	杉山 賢太郎	湘洋中	
理科	理科	成川 玲也	御所見中	池田 太理	第一中	4
		小原 元樹	高倉中	大野 寛子	六会中	
音楽	音楽(一般)	寺島 達空馬	鵠沼中	池上 喬之	明治中	4
	音楽(器楽)	引間 さやか	第一中	中村 賢作	六会中	
美術	美術	赤木 明子	藤ヶ岡中	永井 博	滝の沢中	3
		関 藍	高倉中			
保健 体育	保体	大竹 春美	大清水中	清川 裕也	長後中	3
		東原 千浩	湘南台中			
技術 ・ 家庭	技術・家庭 (技術分野)	近藤 暢一	村岡中	市丸 祐介	湘南台中	3
		山田 幸太朗	羽鳥中			
	技術・家庭 (家庭分野)	飯田 祐里	湘洋中	三浦 利絵	六会中	3
		鈴木 楓	第一中			
外国 語	英語	内田 万起子	湘洋中	渡部 奏華	滝の沢中	4
		秋田 祐希	善行中	池谷 陽子	片瀬中	
道徳	道徳	公文 真奈	大庭中	足達 航	鵠沼中	4
		石井 正宏	御所見中	川寄 康弘	長後中	